日本外交文書大正四年第一冊日附索引	附 録
	一七
亡命印度人ノ追放問題一件	六
露国内政関係雑纂	五.
附 呼倫貝爾ニ関スル露支取極	
外蒙古ニ関スル露支蒙三者協定関係一件	四
露国皇族「ジョルジュ、ミハイロヴィッチ」太公訪日一	$\equiv$
朝鮮宣川基督教徒ノ陰謀事件関与等ニ関スル件	
「アルゼンティン」移民関係雑纂	
「ブラジル」移民関係雑纂	$\overline{}$

#### 事項 米 国 = 於 ケ ル 日 間 題

## 一月一日 加藤外務大臣宛(電報)在桑港沼野領事代理ョ

# 「アリゾナ」在留日本人等八割法ニ付試訴提

## 起ノ新聞報道ニ関スル件

記一 大正三年十二月十六日沼野総領事代理発加 藤外務大臣宛機密公第一○四号 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法ニ関スル

- 加藤外務大臣宛公第四〇八号 大正三年十二月二十四日沼野総領事代理発 同州労働派ノ提出趣意書写送付ノ件 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法調査報告
- Ξ 関スル外務省調書 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法ノ発布ニ

書進達ノ件

### 第一号

Riach 事件ニ対シ temporary injunction ヲ発シタル由委 ラス取調中尚ホ Tucson Federal Court ハ十二月三十日 ン合同シテ八割法ニ対シ試訴ヲ提起シタリトアルモ確実ナ(誰) 新聞電報ニ依レハ 「アリゾナ」在留日本人支那人メキシカ

### 細精査中

註 参照又 Riach 事件ニ就テハ附記三ノ末尾参照 「アリゾナ」州ノ八割法ニ就テハ次ノ附記一、 二及三文書

#### 附 記

大臣宛 大正三年十二月十六日在桑港沼野総領事代理発加藤外務

州労働派ノ提出趣意書写送付ノ件 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法ニ関ス ル 同

機密公第一〇四号 (大正四年一月六日接受)

大正三年十二月十六日

### 在桑港

#### 総領事代理 沼 安 太 郎 印

## 外務大臣男爵 加藤高明殿

用セラルル外国労働者中墨西哥人・伊太利人・墺匈国人等 今般制定発布セラレタル「アリゾナ」州外国人雇傭制限法 ノ数極メテ多キタメ是等外国労働者ノ雇傭ヲ制限セントス ハ元来同州労働派ノ提唱ニ係リ主トシテ砿山・鉄道等ニ使

### 附属書

一 労働派首領趣意書写 一通

本信写送附先 在米大使

(別 紙)

ARGUMENT IN FAVOR OF THE EIGHTY PER CENT CITIZENSHIP BILL

This is an act intended to protect citizens of the United States in their employment, known as the

of cofiscating their labor power has lost none of its often inveigled into this and other states under false law are first, a superior class of citizens for Arizona; ployer of labor in Arizona employing more than five frequently offer. The act provides punishment ing in unlucrative employment which capitalists so this bill is to protect even the foreigner from engageighty per cent citizenship bill. Another object of too frequently after a trial they learn the old process tion is the thing practiced upon them at home. All customed in their home countries to a low standard laborers who possess no high incentive and are acbettering their condition. our shores come only for the purpose of temporarily periods thereafter. pretenses and compelled to act as peons for long next, protection for people of foreign birth who are eighty per cent qualified electors or native born citiworkers at any one time must employ not less than violation of its provisions. of living. The objects to be attained through enactment of this of the United States or some division thereof. Coupled with the low wages paid, exploita-Many emigrants They are usually unskilled It declares that any emlanding upon

sting here in the United States.

A majority of them have no intention of ever becoming citizens in the land of their temporary adoption, but rather to receive a little capital with which to return home and enjoy an easy living. Such a thing is possible because of the greater purchasing power of the dollar in European or Asiatic countries. Exclusion of such emigrants from this country can in no possible way be construed into a violation of treaty rights of favored nations for the reason that no well-meaning nation cares to have its citizens exploited by foreign nations.

Really that is a casus belli in international law. Exploitation of laborers, both native and foreign born is inevitable under the capitalist conditions now prevailing in the United States. But aside from this, it is doubtful whether the federal government had a right under the articles of confederation to either abrogate or set aside in any degree police powers of this or any other state in the Union, which is undoubtedly accomplished by forcing into the several states an undesirable alien population as the outgrowth of treaties in any case.

sage of this law. appear to the people of Arizona and justify the pasin Arizona's elections. cumstances shall many of its employees participate employs 800 men, among whom soulless legal creations doing business in the state in Arizona. is too much practiced by some of our corporations just treatment of Arizona citizens by employers of Evidently this company intends that under no cirtheir standard of living. born citizens, while holding to the purpose of lowering the state and are prone to discriminate against nativelabor who generally enjoy privileges under laws of Last, this bill, if it becomes a law, will insure The writer is informed that one of these Many other good reasons will Unfortunately this system are three citizens.

Bert Davis, President,

Arizona State Federation of Labor

(附記二)

務大臣宛

進達ノ件 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法調査報告書

公第四〇八号 (大正四年一月十五日接受)

大正三年十二月二十四日

在桑港

総領事代理 安 太 郎 印

外務大臣男爵 加藤高明殿

山崎領事官補提出ニ係ル ニ関スル報告書一通別紙 敬具 「アリゾ ノ通差進候間御査閲相成度此段申 ナ」州雇傭制限法ノ影響

附属書

制限法ノ影響調 「アリゾナ」州在留本邦人状況并ニ 同 国 人雇

本信附属書送付先 珍田

傭制限法ノ影響調 「アリゾナ」州本邦人状況并ニ同州外国人雇

第一、「アリゾナ」州在留本邦人ノ状況

凡三百四十及「ウィンスロー」地方ニ凡百二十人合計凡四 百六十名ト算セラル 「アリゾナ」州ニ在留スル本邦人ハ「フィニクス」地方ニ (別表第一参照)

> ト謂フ **積千三百英加毎年産出スル所三十一万弗内外ノ価格ニ達ス** 属スルモ漸次発展ノ状況ニ在リテ今ヤ其ノ耕作スル土地面 ノ二、三戸アリ又農園業者ハ近ク此ノ四、五年以来ノ事 雇傭セラレーケ月四十弗乃至六十弗ノ給金ヲ得ト謂フ商業 人ヲ併セ三十九名)家内労働者凡百六十九名ニシテ在留民 人ヲ併 農園及養豚ノ業ヲ経営スルモノ四十一(共同経営者及使用 其ノ経済生活状況ヲ視ルニ「フィニク ニ従事スル者ノ中米人ノ間ニ伍シ相当ニ営業ヲ為シ居ル ノ多数ヲ占ム家内労働者ハ多クハ米人家庭ノ「コック」ニ 、セ八十九名)商業ニ従事スル者二十一(共同者使用 ス」地方ニ在リテ モ

Round House 従業邦人ハ忠実勤勉加フルニ邦人ノ特長ト 人ノ間ニ伍シ相当ニ営業ヲ為シ居ルモノ二戸アリ 名ナリ商業ニ従事スル者十一(使用人ヲ併セ十四名)内米 Fred Harvey Restaurant 会社ニ雇傭セラルルモノ約三十 邦人へ Round House(機関車掃除用車庫)ニ従事スル 鉄道線路上主要ナル「エンジン」継替所タル ノ多数ヲ占メ 「ウィンスロー」地方ニ在リテハ同地カ「サンタ・フェー」 (六十名)又同鉄道沿線ノ「ホテル」業タル ノ関係上在留 而シテ右 モ

居ル 入ト 受クルノ例ナルヲ以テ一ケ月七十弗乃至百二、三十弗 金ヲ受ケ居リ且外ニ毎月十弗乃至二十弗ノ特別賞与手当ヲ ムル所ニシテ彼等ハ毎日二弗以上三弗五十仙最高四弗 テ ナリ其ノ内ヨリーケ年五百弗乃至一千弗ノ貯蓄ヲナ manual works ニ堪能ナル 事実ハ特ニ注目 = 一値スル モノアリトス コトハ同所ノ能ク之ヲ認 (別表第二参 グ収 分給 シ

**一**アリ ´ゾナ 」 州外国人雇傭制限法ノ由来目

ラルヘキコトヲ布告シタルモノナリ 一七票ノ多数ヲ以テ採用セラレタル結果州知事 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法ハ千九百十四年十一月三 規定ニ依リ十二月十四日其ノ同日ヨリ法律ト テ一般投票ニ附セラレー四、三二三票ニ対スル二五、 同州総選挙ニ際シ直接立法案(Initiative Measure) Hunt 憲法 シテ実施セ 0

ニ在リテ 万人ニシテ其ノ天然ノ富源今僅ニ開発セラレ ニ努メツツアリ 「アリゾナ」州ノ全面積十一万三千余平方哩人口凡ソ三百 墺匈国人・英国人 .州官憲及事業家共ニ大ニ移民、来住者ヲ誘致スル 同州ニ於ケル来住者ハ墨西哥人最モ多ク伊 (就中ウェ ルシュ ントスル 人 之ニ次キ ノ時

米国ニ於ケル排目問題雑件

結シテ自家ノ利益ヲ図ルニ努ムル労働派団体ハ同州ニ ニ出テタルモノト謂フベシ ハ本来墨国人・伊国人等ノ労働者ヲ排斥セント ニ基キ終ニ此ニ外国人雇傭制限法ヲ見ルニ至レリ故ニ同 モ亦右ノ事情ヲ看過黙止スルコトナク即チ其ノ テ之ヲ占ムルノ有様ナリ然レバ米国ニ於テ最モ能ク一致団 其ノ従業者凡一万七千人ノ内過半ハ墨国人・伊国人等ヲ以 同州産業中ノ最タル鉱山事業ノ如キニ於テハ鉱山十一ケ所 而シテ是等外国人来住者ハ皆同 トヲ欲セス又比較的低下ノ労銀ニ安ンズル 同州内ニ帰 モノニシテ今ヤ シテ定住スル ·スルノ趣 Agitation 一於テ

斥セラルルノ傾向ヲ認メス 概シテ能ク正直勤勉ナルカ故ニ好感ヲ以テ迎ヘラレ 「アリゾナ」州在留邦人ハ現在ニ於テ其数甚タ多カラズ又 =

留邦人ノ被ル影響如何ヲ察スルニ要スルニ在留邦人ハ同法 ノ為格別不利益ナ タルヘシト為スニ在リ同法ノ実施ニ依リ 同法ノ要点ハ「アリゾナ」州ニ於テ従業者五人以上ヲ有 第三、外国人雇傭制限法ニ依リ在留邦人ノ被ル影響 モノニ在リテハ必ス其ノ従業者ノ八割以上米国市民権 ル影響ヲ受ケ ス同法実施ノ結果本邦人 「アリゾナ州」在

二、「レストラント」木元恕市(高知県

シテ事業経営上直接支障ヲ来タシ又ハ糊ロノ途ヲ失フニ カ如キ実害ヲ被ムルモノナシト認メラル 至

種類ニ付同法ノ適用上実際ニ如何ナル影響ヲ被ムルヘキ ヘタルニ左ノ如シ

五人以上ヲ使用スル事業家

「フィニックス」

定ニ依リ日本人墨国人ノ使用人ヲ減セサルヲ得サル場 国人二名合計九名ヲ雇傭シ居ルモ若シ雇傭制限法ノ規 厚ク取引甚タ盛ナリ現在日本人二名、米国人五名、墨 同人ハ既ニ十数年同営業ニ従事シ同地米人間ニモ信用 .又営業上必スシモ日本人ヲ必要トスル事情ナキヲ以 同法ノ為メ何等直接影響ヲ受クルコト 日本人ト大差ナク之ヲ使用スルニモ別ニ不便ヲ感セ ニハ之ニ代ヘテ米国人ヲ雇傭スヘク米人ノ労働賃銀 ムル 日本人使用人ハ若シ解雇セラルル場合ニハ他 コト困難ナラサルベシト謂 フ ーナシト語 三職  $\bar{\nu}$ IJ

一、果物卸小売商 河津敬蔵(沖縄県人)

ラク無カルヘシト楽観シ居レ 法ノ為メ実際ニ同店ノ営業上支障ヲ来スカ如キコト ルヲ得ヘシト為シ同人ヲ初メ日本人会役員 合ニハ日本人ノ組合組織トナシ現在ノ通リ営業継続ス テ雇傭制限法ニ依リ日本人ヲ解雇セザルベカラストセ シテ日本人五名米人一名墨国人一名会計七名アルヲ以在リ米人顧客ノ種類モ良ク、営業頗ル盛ナリ使用人ト 店ハ古ク日本人ノ始メタルモノニシテ市内枢要ノ地 同人カ同営業ヲ引受ケタルハニ年以内ノコト ハ営業上可ナリ差支ヲ来スニ相違ナカルヘキモ右 ニ於テモ同 ナル [ノ場 モ

<sup>一</sup>ウィ -ンスロー -」ニ於テ

恐

傭制限法ニ依リ日本人・墨国人ヲ解雇セザルベカラザ 同人ハ同営業ニ従事スルコト数年同地ニ於ケル「ラン 本人ト大差ナク又之ヲ使用スルニモ不便ヲ感セサル 人二名他人ノ妻二名外ニ墨国人壱名合計五名ナルモ雇 トキハ米人ヲ以テ之ニ代フベク米人ノ労働賃銀ハ日 リー」トシテ第二位ニ在リテ営業盛ナリ使用人日本 「ローンドリー」(洗濯業)木村宗之(熊本県人) ヲ

以テ同 法ノ為メ営業上別段支障ヲ受クルコ ۲ ナ シト 語

五人以上ヲ使用スル所ニ雇傭セラルル本邦人労働者 「ヘーデン」銅鉱製錬所約十名以内

カ解雇セラルルコトナカルベシト謂フ ムルヲ以テ雇傭制限法ノ適用ニ依リ特ニ本邦人従業者 同製錬所ニハ従業者凡五百人アリ墨国人其 、ノ多数ヲ占

無カルベシト答へタリ、尚 制限法ノ為メ同所ノ日本人ヲ解雇スルカ如キコト先ツ テ且ツ最モ同所 太利人合セテ約廿名アリ日本人従業者ハ忠実勤勉ニシ 名其内市民権ナキ者ハ日本人ノ外ニ「メキシコ」人伊 同所主任者ヲ訪 雇傭制限法ノ適用ニ付テ目下従業者取調中 市民権ヲ有スル者一、六三九市民権ヲ有セザ ゾナ」州内ニ於ケル同会社従業者全数二、六二四其内 「サンタ・フェ」鉄道会社ニ到リ General Manager 「ウィンスロ キ質シタルニ同社ニ於テハ「アリゾナ」 (ノ事業ニ適シ大ニ重用セラレ以テ雇傭 ヒ質シタルニ同所従業者ノ全数三百十 一」Round House 五十四 「ロサンゼルス」ニ於 ナリ「アリ ル者九 州外国人 ハケル

> ルコト Round House 従業日本人へ雇傭制限法ノ結果解雇ス 五ニシテ全数ニ対シ市民権ヲ有スル者ノ割合六二「パ ルモ「ウィンスロー」、「ゼリグマン」ニ於ケル同会社 セント」ナリ日本人従業者ノ数幾人ナルヤ明ナラザ ナカルベシト答へタリ

尚若シ ノ見込尠シトノコト セバ同地方ニ於テハ差当リ他ニ工合好キ職業ヲ得 Round House 従業者中解雇セラルル ナリ コト ・アリ

六、「ゼリグ マ 

七、Fred Harvey Restaurant ニ雇傭セラルル本邦人約

Harvey Restaurant 会社ニ於テハ「メキシコ」人及 右約三十 於ケル同会社従業者ノ全数ヲ知ルニ由ナカリシモ結局 全数ヲ精確ニ取調フルニ由ナク又「アリゾナ」州内ニ ト謂フ同会社各所「ホテル」ニ雇傭セラルル本邦人ノ 「ポーリッシュ」雇傭セラレ居ルモ其数甚タ多カラス 「サンタ・フェー」鉄道沿線ノ「ホテル」業タル Fred 人 (ノ我従業者ハ雇傭制限法ノ為メニ解雇セ ラ

米国ニ於ケル排日問題雑件

## 米国ニ於ケル排日問題雑件

ルコト ナシト認メテ可ナル ベベシ

限法ノ適用ヲ受ベキ訳ナリ 用人ヲ要ストノコトナルヲ以テ右ノ場合ニ外国人雇 モ其ノ植付収穫ノ時季ニ於テハ先ヅ十英加毎ニ五人ノ使 右農園業者ハ常時五人以上ノ使用人ヲ雇傭スル 「フィニックス」地方ニ於ケル農園業者 、モノナキ 備制

ナカ 経営者ハ或ハ種々ノ故障ニ遭遇スルコト無キヲ保セズ然 当ナリ現時「フィニックス」地方ニ於テハ米国人ノ労銀 農園労働者トシテハ米国人墨国人等ヨリモ本邦 際ニ方リ日本人ニ対シ同法ノ適用ヲ励行スルカ如キ シ同法ハ主トシテ墨国人排斥ヲ目的トスルモノニシテ実 レドモ同地農園業者ハ概シテ同法ノ影響結果ニ付キ楽観 米人労働者ノ気勢ヲ強ムルコトニモ成行クトキハ我農園 人雇傭制限法実施ノ結果若シ米国人ノ労働賃銀上リ又ハ ハ本邦人ト大差ナク又之ヲ雇傭スルコト ヘシト観シ居レ 容易ナルモ外国 人最モ滴

#### 第四

施ニ依リ差当リ其ノ不利益ナル影響ヲ受ケサルモノト認メ 要之「アリ ゾ ナ」州在留本邦人ハ同州外国人雇傭制限法実

第二表之一

「アリゾナ」

州「フヰニック

ス

地方各地在留日本人経済生活

職ヲ余儀ナクセラルルニ至ルコトナキヲ保セズ唯タ今ヤ同 Court ニ審理繋属中ノコトニモアリ其ノ審理ノ結果如何 法ニ対スル 本件ノ重大関鍵タリト謂フヘキ歟 ノ事業経営上多少ノ不便ヲ被ムリ又鉄道労働者中ノ幾分転 ルルモ今後或ハ同法ノ結果トシテ本邦人企業家ニシテ其 Test Suit ハ「ロサンゼルス」ニ於テ Federal (終)

#### 第一表

「アリゾナ」州在留日本人調

<b>⇒</b> t.		家	鉄	鉱	商	農	商	養	農			-
計		内	道	Щ	業	業		豚				!
				従	使	使			園			3
		穷	労	業	用	用		鶏				小
		働	働	者	人	人	業	業	業			イド
						١.	=	六	四	戸数	フィニ	フリンラ」州右督日本ノ記
	二九四	五六	約	<u>-</u>	=	八	二七	六	六五	男	フィニックス地方	
	五〇	三					=	=	Ξ	家族	地方	
										戸数	ウヰン	
		約三四	六〇		=		_			男	ウヰンスロー地方	
	_		Ħ.				六			家族	地方	

「 ウ ヰ 「 フ ィ ンスロー」 ニッ クス」 地 方 一 三 四 九 四

○「ユア」Yuma ・ 単 ○「ヘーデン」Hayden ○「プレスカット」Prescott ○「ピアス」Paerce 家 商 家 商 内 労 従業 \_ \_\_ 九 二 約 九 一 <u></u> 約一〇 <u>九二</u> 四六三

 $\overline{\circ}$ 

九二

五二三〇 <u>=</u> 三八  $\equiv$ 〇「ウィ ○「ゼリグマン」Seligman 「ウィンスロー 職 状況調 「アリゾナ」 業使用 ンスロー 働働人業 州 ·」地方 ... ウィ Winslou \_ ンス Ħ 男 一」地方各地在留日本人経済生活 五二二四四四三一 妻 小 児一人員合計 五 一四四九三七

○「フヰニックス」Phoenix 「フヰニックス」地方

業一戸

数

男

妻

小

児 | 人員合計

商 農 内 業 労使使働用用 二 七 五 九

一〇一一 四 〇二六九五三

「メサ」Mesa

Ħ.

Ŧ.

第二表之二

六八\_

 $\equiv$ 

<u>=</u>

三四四

- - - - -0 = 六 0

園使用人

〇「テンピー」Tempe 内 労 業業

○「グレンデ ર ∫ Glendale

○「ッウソン」Tucson

労

約三〇  $\equiv$ 

一 四  $-\Xi$ 

米国ニ於ケル排日問題雑件

九

六

米国ニ
於
ケ
ル
排
日
間
題雑件
雑
件

フレッドハーベー	〇「外こ」	フレッド	○「グランドキャニオン」Grand Canyon	フレッド	○「アシュフォルク」Ash Fork	フレッド ハーベー	〇「ウィリヤムス」Williams	フレッド
- 約一			入 J Grand Canyon	五_	Ash Fork		illiams	땓
t <u> </u>								
<u>-</u>								
- 七三		=		Ħ.		=		四

#### 第三表

外国人雇傭制限法ノ適用ヲ受クル 本邦

第一 五人以上ノ従業者ヲ使用 スル事業家

「フォニックス」ニ於テ

- 果物卸小売商一 使用人 米国人五名墨国人二名
- レストラントー 使用人 米国人一名墨国人一名

「ウィ ーンスロー」ニ於テ

 $\equiv$ ランドリー (洗濯業) 一 使用人将国人一名他人妻二名

「プレスカット」ニ於テ

国人雇傭制限法案ナル モノヲ一般投票ニ附シ同

リタ

千余票ニ対シ賛成二万五千有余ノ多数ヲ以テ可 同法ハ三条ョリ成リ大要左ノ如シ 決セラ  $\nu$ タ

法案ニ対スル

州民ノ意向ヲ問ヒタルカ同法案ハ反対一万四

第一条 以上ノ従業者ヲ雇傭スル場合ニアツテハ事業ノ種類及従 州内ノ会社法人組合又ハ個人ニ シテ一時ニ五人

市民又ハ選挙資格ヲ有スルモノタルヲ要ス

業者ノ男女別ヲ問ハス従業者中八割以上ハ必ス米国出

第二条 ラル 百弗ヲ下ラサル 会社組合又ハ個人ニシテ本法ニ違反シ 罰金及三十 Ħ  $\exists$ IJ 尠カラサ ル 禁錮 タ ル = モ 処ノ

申立ヲナシタル者ハ百弗ヲ下ラサ 第三条 カラサル禁錮ニ処セラル 被傭人ニシテ其出生地又ハ  $\sim$ シ ル 、市民権ニ 罰金及三十日 関 シ 虚  $\exists$ リ尠 偽 ラ

ヤ遅滞無ク賛否ノ票数ヲ掲ケ当該法案カ過半数ニヨリ通過 十日以内ニ票数ノ計算ヲ了シ知事ハ其終了 モノハ知事ニ於テ否認ノ権ヲ有セス州書記官ハ投票後三 シテ資格アル選挙者ノ過半数ノ投票ヲ得テ可決セラ 、ゾナ」州憲法ニ由レハ一般投票ニ附 セ ノ報告ニ接スル ラレ タ ル 法案  $\nu$ タ

米国ニ於ケル排日問題雑件

四 酒場玉突場 調ブルノ途ナカリシヲ以テ「フィニッ クス」日本人会ヨリ取調復報ス 人以上ヲ有スルニ相違ナシト .人ノ営業ハ頗ル盛大ニシテ使用 モ其実際ヲ知悉スルモノ 、ナク之ヲ取 ノコト ルコ 人五 ナ

五人以上ヲ使用スル所 = 雇傭 也 ラル本邦人労働者

Hayden 銅鉱製錬所 約十名

Seligman Round House Winslow Round House 五十四名

Fred Harvey 三十名 六名

第三 英加毎ニ五人ノ労働者ヲ必要トスルトノコトナルヲ以テ 右農園業者四十一戸ハ亦同法ノ適用ヲ受クル 業者ヲ使用スルコト 「フィニックス」地方農園業者ハ常時五人以上ノ従 ナキモ其植付収穫ノ時季ニハ先ヅ十 モノ トス

附 記三

調書(大正四年一月調) 「アリゾナ」州外国 |人雇 傭制限法ノ ,発布ニ 関 ス ル外務省

米国「アリゾナ」 州ハ客年十一月三日挙行 セ ラ  $\nu$ タ ル総選

地方ヲ「フェニックス」(首府)「ユマ」及「ウィ 実ニ此等両国人労働者排斥ニアルコト同 西哥人ニシテ伊太利ノ被害之ニ次クヘク立法本来ノ目的 シ 伊両国大使ハ何レモ米国国務省ノ本件ニ対スル注意ヲ喚起 本制限法ノ実施ニヨリ同州内在留外国人ハ少カラサ 対スル右ノ布告ハ十二月十四日公布セラレ キモ差シタル影響ヲ被ラサ = モノ多カラス而シテ州内ニ於テ本邦人ノ多数集合在住スル  $\nu$ ヲ感スルニ至リ現ニ英国人ノ如 タリト 調査スルニ市内ニテハ果物問屋一店多少ノ不便ヲ感スヘ 」 ノ三市並其附近地方ナリトス今「フェニックス」方面 ハ総計約五百名ニシテ其大多数ハ労働者タリ戸ヲ構フル モ明ナリ本邦人ノ同州ニ在留スルモノハ最近ノ調査ニ依 キモ亦其影響ヲ被ルコト少カラサルヘキ見込ナル ノミニテモ五百名ノ多数ハ直ニ糊ロニ窮スヘク伊国人 コエ ケル本邦人事業家ニ対スル カ イフ而シテ本法ノ為最多クノ影響ヲ被 ナ 1 ル 旨ヲ宣示スルヲ要シ外 土地ヲ耕作 ルヘク市外ニ於テハ総計千三百 セ 新外国 キハ州内鉱山ニ就働 ル農家四十二戸アリ作物植 人雇傭制限法ノ 州官憲ノ説明ニヨ 人雇傭制限 ル 、ヘキハ墨 ンス ル 3 セ リ英 P モ モ

ニ試訴ヲ提起シタルアリ右訴訟要点左ノ如シメルカ本法効力ノ有無ニ関シテハ同州「タクソン」在留域タルカ本法効力ノ有無ニ関シテハ同州「タクソン」在留域タルカ本法効力ノ有無ニ関シテハ同州「タクソン」在留域新外国人雇傭制限法ハ十二月十四日布告ノ即日実施セラレ

第八号電報等ト重複スルニ付省略ス) は (以下ハ後出沼野総領事一月二日発第四号電報一月七日発

第一 原告主張ノ要点ハ該法ハ合衆国憲法修補第十四条

ニ抵触シ同条中ニ保証セル Equal protection of lawsコトトナリ外国人タル故ヲ以テ何等差別的取扱ヲ受ケサコトトナリ外国人タル故ヲ以テ何等差別的取扱ヲ受ケサコトトナリ外国人タル故ヲ以テ何等差別的取扱ヲ受ケサコトトナリ外国人タル故ヲ以テ何等差別的取扱ヲ受ケサコトトナリ外国人タル故ヲ以テ何等差別的取扱ヲ受ケサコト・ナカ条ノ規定ニ反ス

## 第二 一定ノ申立

コト 被告雇主ニ対シ原告ノ一時的及永久的解雇ヲ禁スルニ 被告雇主ニ対シ原告ノ一時的及永久的解雇ヲ禁スルー 該法カ憲法修補第十四条ノ規定違反ナルコトノ判決

得ルコト 本訴ノ審理決定迄 Temporary restraing order ヲ 水久的ニ被告タル雇主ニ適用スルコトヲ禁スル命令 正 被告タル郡及州ノ検事ニ対シ該法ノ規定ヲ一時的及

ス法律上均等ノ保護ヲ保障セリ然ルニ本法ニシテ適法ナラカニ対シ管轄裁判所タル在桑港合衆国巡回裁判所ニ於テーカニ対シ管轄裁判所タル在桑港合衆国巡回裁判所ニ於テー五 訴訟費用決定其他妥当ナル救済ヲ得ルコト

ルキュロナシの結果に帰著スペシト云フニ在リテ毫モ条約関係に言及スル結果に帰著スペシト云フニ在リテ毫モ条約関係に言及スル結果に帰著スペシト云フニ在リテ毫モ条約関係に言及スルチュロナシ

## 一 一月二日 加藤外務大臣宛(電報) 在桑港沼野総領事代理ヨリ

# 起セザル件「アリゾナ」州八割法ニ対シ日本人ハ試訴提

#### 那三号

起シタル日本人ナキ旨回報アリタリ拙電第一号前段ニ関シ「アリゾナ」日本人会ヨリ試訴ヲ提

## 三 一月二日 加藤外務大臣宛(電報) 在桑港沼野総領事代理ョリ

# 「アリゾナ」州八割法ニ対スル Riach 訴訟

## ノ訴状要点報告ノ件

#### **界四号**

及 County Attorney

Riach 訴訟事件訴状謄本本日入手原告

が County Attorney

Riach 訴訟事件訴状謄本本日入手原告

一 米国ニ於ケル排日問題雑件 二 三 四

federal statutes ノ規定ニ反ス 第一原告主張ノ要点 Fourteenth Amendment 就中 equal かけい of laws ニ抵触ス故ニ該法ハ憲法違反ナリ又同法ハ原告其ノ他同一ノ地位ニアルモノカ適法ノ職業ニ雇用ケサルノ権利ヲ侵害スル点ニ於テ Section 1979 revised federal statutes ノ規定ニ反ス

第二一定ノ申立一、該法カ Fourteenth Amendment ノ 別定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノ一時的 規定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノ一時的 規定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノ一時的 規定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノ一時的 規定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノ一時的 規定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノー時的 規定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノー時的 規定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノー時的 規定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノー時的 規定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノー時的 規定違反ナルコトノ判決二、被告雇主ニ対シ原告ノー時的 対方フルを当ナル教済ヲ得ルコト尚拙電第一号ハ右第四項ノ restraining

## 大使へ済ミ

## 四 一月七日 加藤外務大臣宛(電報) 在桑港沼野総領事代理ヨリ

ノ判決アリタル旨報告ノ件「アリゾナ」州八割法ハ米国憲法違反ナル旨

第八号

テ審理中ノ処一月七日朝 unconstitutional ト判決セラ hearing ハ其後変更一月六日ヨリ当地 federal court ニ於 拙電第一号「ロサンゼルス」ニ於テ開カルヘキ 筈ナ IJ V シ

> 候処右審理ノ模様ハ別紙口頭弁論摘録ノ通ニ有之而シテ同 事官補及ヒ当館常傭弁護士「ウエツブ」ヲシテ傍聴セシメ 訴事件ノ裁判本月六日当地ニ於テ開廷致候ニ付当日山崎領

大使済ミ

五 一月七日 加藤外務大臣宛在桑港沼野総領事代理コ

尚本件判決文ハ Judge Sawtelle ニ於テ尚推敲ヲ要スル点

右謄本入手ノ上可及送付候尚原告ノ訴状謄本相添此段及報 アリ二三日以後ニ非レバ出来セサルトノコトニ有之候ニ付 起シタルヤニ被察候

条約トノ関係ニ就テハ言及セス)当地ニ於テ頗ル注意ヲ喚 六日同法カ合衆国憲法違反ナル旨ノ判決言渡ハ(右判決ハ

理及該法ノ合衆国憲法違反ナル旨ノ判決言渡 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法試訴事件審

告候。敬具

附属書

二関シ報告ノ件

附屬書一 原告訴状謄本

= 本件口頭弁論摘録及判決ノ要旨

機密公第一号

(二月一日接受)

大正四年一月七日

在桑港

総領事代理 沼 野 安 太 郎

**印** 

外務大臣男爵 加藤高明殿

「アリゾナ」州外国人雇傭制限法ニ対スル Mike Riach 烒

(附属書!) 原告訴状謄本

本件口頭弁論摘録 原告訴状謄本

通通

FOR THE DISTRICT OF ARIZONA THE UNITED STATES IN AND IN THE DISTRICT COURT OF

Mike Riach,

VS.

IN EQUITY

Plaintiff,

County Attorney of Cochise General of the State of William Truax, Sr. Wiley E. Jones, and W.G. Gilmore Attorney

No.

E-9 (Tucson)

Defendants

COURT AFORESAID: TO THE HONORABLE JUDGES OF THE DISTRICT BILL OF COMPLAINT

of complaint againt said defendants and each of them, and thereupon your orator complains and says: Mike Riach, as complainant, brings this his bill

alien under the laws of the United States of America, limits of the United States of America. habitant and resident of Cochise County, in the State citizen of the United States. tor unless and until he shall have first become a of his status as an alien, become such qualified elec-State of Arizona, and has not, and cannot by reason Arizona, and is Complainant is a native of Austria, and is an not a qualified elector under the laws of the lawfully within the Complainant is an in-Said William territorial

> Truax Sr., the Attorney General of the State of Arizona, and are on the contrary aliens, of the United States, nor qualified electors, but who ness, seven of whom are neither native-born citizens restaurant in and by virtue of the laws of the State of Arizona. their respective capacities named, holding office under County in said State, said last named defendants, in United States of America. workers in the conduct of his said restaurant busi-Arizona, and as such employs nine employees or W.G. Gilmore is the County Attorney of Cochise is the owner and proprietor of a certain the City of Bisbee, That Wiley E. Jones is under the laws of the

- ment being that of a cook. ed at Bisbee, Cochise County, Arizona, such employpast has been in the employ of said defendant William Sr., in his said restaurant business so conduct-Complainant is now and for some time last
- said state, or any officer thereof, in his official capastate and to other things, to attend the Supreme Court of said the duty of the Under the laws of the State of Arizona, it is prosecute or defend all cases to which Attorney General thereof, amongst

service or directed by the Governor, to repair to any cases referred to and mentioned hereinabove. and by said Wiley Jones, as Attorney General in the Attorney, for all prosecutions in said Cochise County, as such is represented by said W.G. Gilmore, County in the name of said State, and by its authority, and tions for public offences under its laws are conducted offences: that under the laws of said State all prosecuon behalf of said state, all prosecutions for public aftend the Superior and other courts, and conduct, duty of said County Attorney of Cochise County to thereof in the discharge of his duties: and county in the state and assist the County Attorney city, is a the party plaintiff in all such prosecutions, and party and when required by the public it is the

4. At an election held in said State on the third day of November 1914, there was, under and in accordance with the provision of Paragraph 3328, Revised Statute of Arizona, 1913, submitted to the qualified voters of said State for their approval or rejection, under what is known as the initiative clause and provision of the Constitution of Arizona, being Section 1 of Article IV of said Constitution, a certain

proposed measure, which is in the words and figures as follows, to wit:

### "AN ACT

TO PROTECT THE CITIZENS OF THE UNITED STATES IN THEIR EMPLOYMENT AGAINST NON-CITIZENS OF THE UNITED STATES IN ARIZONA, AND TO PROVIDE PENALTIES AND PUNISHMENT FOR THE VIOLATION THEREOF. "BE IT ENACTED BY THE PEOPLE OF THE STATE OF ARIZONA:

"Section 1. Any company, corporation, partner-ship, association or individual who is, or may hereafter, become an employer of more than five (5) workers at any one time, in the State of Arizona, regardless of kind or class of work, or sex of workers, shall employ not less than eighty (80) per cent qualified electors or native-born citizens of the United States or some subdivision thereof.

"Section 2. Any company, corporation, partnership, association or individual, their agent or agents, found guilty of violating any of the provisions of this Act shall be guilty of a misdemeanor, and upon conviction thereof, shall be subject to a fine of not less

than one hundred (\$100.00) dollars, and imprisoned for not less than thirty (30) days.

Section 3. Any employed who shall misrepresent, or make false statement, as to his or her nativity or citizenship, shall, upon conviction thereof, be subject to a fine of not less than one hundred (100.00) dollars, and imprisoned for not less than thirty (30) days."

and upon the completion of the canvass the Governor duty of the Secretary of State, in the presence of the State of Arizona it is provided that it shall be section 1, of Article submitted, a majority of the votes cast upon the question so the fact to be, receive in its favor and for its approval, plainant is informed and believes and therefore alleges and to declare the said measure, the same being apshall forthwith issue a proclamation, giving the whole said State, to canvass the votes for and against such Governor and the Chief Justice of Supreme Court of number of votes cast for and against such measure, measure within thirty days after the At said election said measure did, as your comunder the provision of sub-division 13, IV of the Constitution of the said election, the

proved by a majority of those voting thereon, to be the law. Said requirements have been complied with, and said proclamation of the Governor of said State, in accordance therewith, has been made, the proclamation having been issued on the 14th day of December, 1914, and said measure is now a law within and of said State.

- 5. On the 9th day of December, 1914, said Truax did inform complainant that as soon as said pretended law should be proclaimed, and solely by reason thereof, and because he feared to incur its penalties if he should violate the terms thereof, he would discharge complainant from his employment aforesaid. Complainant further avers that said defendant Truax, will, unless restrained by an order of this court, carry out his said intention to discharge complainant, and that such discharge will be made solely for the reason that complainant is neither a native-born citizen of the United States, nor a qualified elector within the meaning of said law, and because he is an alien.
- 6. Complainant further avers on information and belief that but for the passage of said pretended law, and but for its apparant sanction and force as a law

said, and that the services of complainant are entirely discharging this complainant from his service aforeand upon which said defendant Truax will act in aforesaid are the only grounds and reasons existing, for such service, and that the grounds and reasons therein and continue to enjoy his salary and wage thereof will be the srvices satisfactory to said Truax, and that he would in fact turbed in his said employment and would continue fear said defendaat Truax has that the penalties any employer violating the same, and but for the complainant, as herein alleged. to perform the services now being performed by employee it is not possible or practicable to engage Act had not been so adopted, because he would prefer continue complainant in his said employment if such violation thereof, this complainant would not be disof the State of Arizona, and but for the fact that Act by its terms inflicts a heavy penalty upon of complainant to those of any other visited upon him, in case of any

7. Further complaining your orator avers, that he is skilled in the work of his said employment, which skill he has gained by many years of experience

skill and competence now possessed by engaged in the business of a restaurant, that all the of said employment is such that unless the employers up any new branch of work, and that the character services incident to such position and employment, familiarizing himself with the special reason of the many years of his life devoted to therein and that on account of the special nature and rather than a help in gaining other employment. employment in other lines of work, and to a large in the performance of his duties as restaurant cook ploy a large number of workers, and particularly are from whom he may seek employment do in fact emhe has in a large measure unfitted himself to take character of his duties as cook aforesaid, and extent will be a detriment and disadvantage to him will be a little aid or assistance to him in obtaining complainant duties and

8. That by reason of the premises your orator will be in a substantial manner deprived of his right to contract for the sale of his labor as a cook upon the same terms as are permitted to others who are native-born citizens, or qualified electors within the meaning of said pretended law: and his right to

engage freely in said avocation without unjust or illegal discrimination will be taken from him, and that he will by the threatened act of said defendant Truax, if consummated, and by reason of the effect such law will have in coercing other employers of the kind of labor performed by him not to employ complainant in his said occupation, and complainant by reason of the premisses will suffer irreparable injury and damage, and that the amount of damages are now and will be incapable of any exact determination.

9. Further complaining your orator avers, that the said pretended law is unconstitutional, null and void, because the same is repugnant to the Fourteenth Amendement to the Constitution of the United States, and repugnant more particularly to that clause of said amendment which provides, that no State shall deprive any person of life, liberty or property without due process of law, and particularly to that clause of said amendment which prohibits any State from denying to any person within its jurisdiction the equal protection of the laws: that said pretended law is repugnant to and in violation of the provisions of

right to life, and liberty within the meaning of said labor, of the right to certain employment and of the right freely to contract for the sale of their said plainant and all others in like situation with him of spirit calculated to deprive and will deprive this comstitution of the United States in that it is letter and pugnant to the Fourteenth Amendment of the Conalien, to be employed in the lawful employment of privilege and immunity, without discrimination as an and laws of the United States, and immunity secured to him by the Constitution in depriving this complainant of the right, privileges and does colorably warrant the said defendant Truax, in that it pretends to justify the said defendant Truax Sec. 1979 of the Revised Statutes of the United States, defendant Truax. which he is now threatened to be deprived by said Fourteenth Amendment. Said pretended law is further reto wit the

10. Complainant avers, that this suit is authorized by law to be brought by him to redress his deprivation, under the color of a law and statute of a State, of the right, privilege and immunity secured to him by the Constitution of the United States, and by the

Jaws of the United States within the meaning of Sub-Division 14 of Section 24 of an Act of Congress of March 3, 1911, being an Act to condify, modify and and amend the laws relating to the judiciary.

- them all before the Court, for which reason this are so numerous as to make it impracticable to bring mentioned, to which complainant belongs and who of common and general interest to the many persons and that the question to be determined herein is one be enforced, lose their employment by reason thereof, ing of the said pretended law, who will, if said law ing in the State of Arizona who are neither nativemation and belief that there are many persons resid-36 of the United States Supreme Court. with himself, as aforesaid pursuant to Equity Rule Complainant sues for all such persons in like situation constituting such class, being the born citizens, nor qualified electors within the mean-Your complainant further avers, upon inforclass hereinabove
- 12. Further complaining your orator avers that the said Wiley E. Jones, Attorney General of said State, and the said W.G. Gilmore, County Attorney of Cochise County, will, unless restrained from so

incur said penalties will discharge complainant from so prosecuted, said Defendant Truax rather than to of the fear of said defendant Truax that he of said law, and in the event that he refuses to tion said defendant Truax in the event of a violation of said officers to prosecute to judgment and convicthe laws of said State it is made the positive duty against said defendant Truax, in the event of the proceedings in the Courts of the State of Arizona to doing by an order of this Honorable Court, institute his said employment, under color of said law and comply with said pretended law, and that by reason violation of said law by said Truax, and that under enforce said pretended law, and the said W.G. Gilmore Court of the County of Cochise, will and must institute proceedings in the State of Arizona, Superior will be

In consideration whereof and forasmuch as complainant has no adequate remedy at law and can only have relief in a court of equity where such matters are peculiary cognizable, he prays:

FIRST: That the aforesaid statute of the State of Arizona, enacted and to be proclaimed as aforesaid

and hereinbefore set out, be declared to be in violation of and in contravention of the right of this complainant and persons for whom he sues under the Fourteenth Amendment to the Constitution of the United States.

SECOND: That the defendant Truax be temporarily and permanently enjoined from in any way or manner, by reason of the apparent force of said law, discharging this complainant from his service, and from carrying out this intention and threat so to do, already made as in this bill alleged.

THIRD: That the said Wiley Jones, Attorney General and the said W.G. Gilmore, County Attorney of Cochise County, their, and each of their successors, assistants, deputies, agents and employees be temporarily and permanently enjoined from in any way or manner enforcing against said defendant Truax, or attempting to enforce, the provisions of the aforesaid statute, or any part thereof, and from instituting or causing to be instituted any suit, prosecution or proceeding to enforce, as against said defendant Truax, the aforesaid statute, or any of the provisions thereof.

FOURTH: That a temporary restraining order

be granted before the hearing and determination of the application herein made for an interlocutory injunction, because of the fact as alleged herein that irreparable loss and damage would result to this complainant unless such temporary restraining order be granted.

FIFTH: That complainant have such other and further relief as is just and equitable, as well as decree for costs.

such order, direction and decree as may the seal of this Honorable Court, directed to the said against them in the premises, and the complainant the premises, and to stand to, perform and abide by and there to answer, but not under oath (the answer to be and appear before this Honorable Court, said, therein to be named and under a certain penalty aforesaid, and W.G. Gilmore, County Attorney afore-William Truax, Sr., United States of America, grant unto complainant a writ of subpoena of the will ever pray, etc., under oath being expressly waived) all and singular SIXTH: And may it please Wiley Jones, Attorney General issued out of and under Your Honors to then

Williams & Flannigan, Solicitors for Complainant.

County of Cochise State of Arizona

the same are true to my own knowledge, except as plainant in the above entitled bill and am familiar them to formation and belief and as to those matters I believe to those matters therein stated to be true upon inwhich I have read: with the matters and things mentioned in said bill, I, Mike Riach, upon oath says: I am the combe true. I know the contents thereof and

Mike Riach

Subscribed and sworn to before me this 14th day December, 1914. of

P.H. Fitzpatrick, Notary Public.

My Commission expires February 20, 1916.

Gilmore, County Attorney of Cochise County, Defen-Attorney General of the State of Arizona, and W.G. Complainant, vs. for the District of Arizona. Mike In the District Court of the United William Truax, Wiley Riach, Jones,

> certify that the above and foregoing is a true, perfect George W. Lewis, Clerk, by Effie D. Botte, Deputy. District Court for the District of Arizona, do hereby District of Arizona United States of America, dants. I, George W. Lewis, Clerk of the United In Equity, Filed Dec. 15, 1914, at 4:45 P.M.

of Mike affixed hereto at Tucson, Arizona, this 29th day of appears from the original on file and of record in and complete copy of the complaint filed in the case my office. Witness my hand and the seal of said Court Riach, vs. Wm. Truax et al, as

December, A.D. 1914.

George W. Lewis, Clerk, By Effie D. Botte, Deputy

(附屬書二)

外國人雇傭制限法ニ對スル試訴事件口頭辯論 摘錄及判決ノ要旨

訴事件ノ裁判本月六日當地 「アリゾナ」州外國人雇傭制限法ニ對スル Mike Riach 試 Court Rooms of Ninth

ifornia District Court ノ三名立會午前及午後ニ亘ル審理 Arizona Districtc ourt ノ外ニ Judge Morrow of Ninth ニ於テ當事者雙方ノ辯論ノ要旨左ノ如シ Circuit Count of Appeals 及 Judge Van Fleet of Cal-Temporary injunction ョドシタル Judge Sawtelle of Circuit Court of Appeals ニ於テ開廷曩ニ本件ニ關シ

第一席 Rep., page 733 of 1st Fed. page 481) 尚更ニ外国人排斥 合衆国憲法違反ト決定セラレタルコトヲ論シ (2nd Fed. 次ニ法人ノ支那人雇傭ヲ禁シタル加州憲法ノ規定カ同シク 違反ト判決セラレタルコトヲ擧ケ Laundry Case ヲ引用シ支那人洗濯業者排斥ヲ目的トシタ 憲法第十四條違反ナリト而シテ其主張ヲ確ムル 爲 メ 所 謂 雇傭制限法ハ米国及墺匈国間ノ條約ニ抵觸シ且合衆国修正 Atlantic, page 165, State of Idaho where an Act was teeing certain rights Act taxing aliens; State of Maine Provision guaran-ヲ目的トスル各州法律ニ論及セリ San Francisco Ordinance カ合衆国大審院ニ於テ憲法 辯護士 Campbell ハ原告ノ爲ニ辯シテ曰ク外国人 to citizens of that state, 47 (118 U.S., page 256) ( 即 チ Pennsylvania

> or hublished Nov. 14, 1914, by the Supreme Court of 及 B. vs. Western Union Telegraph Co., (124 Fed. 246) U.S.) ヲ引用セリ シ Injunction ヲ求ムルノ謂レ毫モ無シト抗辯シ Case of 雇ノ爲メ損害賠償ヲ要求スルノ權利アリトスルモ該法ニ對 利ヲ有シ其ノ理由ノ如何ヲ間フヲ須ヰズ故ニ原告ハ其ノ解 ニ依リテ雇傭者被告ハ被傭者原告ヲ何時ニテモ解雇スル權 第二席 Mr. Hardy, Assistant Attorney Gen. of Arizona Rep., page 1077; Grice case, 79 Fed. Rep., page 627) passed affecting the employment of Aliens, 116th Pac ハ之ニ對シ原告 Riach及被告 Truax 間ニ雇傭契約アリ之 Case of Mckay vs. A.T. & S.F.R.R. (decided

国市民勞働者ヲ保護シ米国産業ノ發達并ニ一般ノ福利治安 民タルノ考ナシ故ニ之等好シカラザル外国勞働者ニ對シ米 国人ハ低下ノ勞銀ニ甘ンジ永ク米国ニ定住シテ善良ナル市 リー」人、渙洪国人等ノ勞働者甚多數ニ居リ而シテ之等外 産業タル鑛山、鐵道、農業ニ於テ「メキシコ」人、「イタ 該法ノ必要適切ナルコトヲ主張シ「アリゾナ」州ノ最重要 第三席 辯護士 McCleary ハ Labor Union ヲ代表シテ

ヲ圖ルハ今僅ニ發展開拓ノ緒ニ就カント ニ於テハ特ニ緊要ナル旨ヲ述ベタリ スル 「アリ ゾ ナ

U.S. page 110, ト何等相渉ルコト無キ所以ヲ辯シ Case of Scott vs. ス ト外国トノ間ニ於ケル條約カ假令如何ナル條章ヲ存スルト ヲ支持シ本法ハ元來警察法規タルノ性質ヲ有ス從テ合衆国 ルモ苟モ警察ノ目的上必要トスルノ法規ハ條約上ノ規定 Mr. Jones, 167 U.S. Attorney Gen. of Arizona 八本法 page 525) ヲ援用セリ (155)

all persons ノ趣旨ニ反スルコトヲ論セリ 第五席 正憲法第十四條ニ保障スル Equal protection of Laws to テ訴狀記載ノ論旨ヲ敷衍シ該法カ條約違反ナルコト并ニ修 辯護士 William ハ最後ニ原告ノ訴訟代理人ト シ

テ閉廷セリ 辯論終結ノ後判事協議ノ上一月七日判決ヲ言渡ス旨ヲ告ケ

傭制限法ハ合衆国憲法違反ナリ故ニ該法ノ實施ヲ禁スル旨 ヲ保障ス本法ニシテ適法ナリトセバ今後亦九十九「パー ハ米国市民タルト外國人タルトヲ問ハス法律上均等ノ保護 一月七日午前十時前記法廷ニ於テ「アリゾナ」州外国 判決言渡アリ其ノ理由トスルトコロハ修正憲法第十四條 |人雇 セ

> 国人ノ雇傭ヲ禁止スルノ結果ニ歸着スベシト爲スニ在リ尚 右判決ハ條約上ノ關係ニ言及セズ ント」法ニ變更スルコトモ適法ナルベク終ニ實際上全然外 告ノ件 紐育州ノ公共土木事業ニ於ケル外人労働禁止 一月九日 ノ労働法規定ハ無効トノ裁判所判決ニ関シ報 加藤外務大臣宛在紐育中村総領事ヨ

六

附属書 紐育州労働法第十四条

在紐育

公第六号

(二月三日接受)

外務大臣男爵 加藤高明殿

総領事 (印

違反ナルヲ以テ各自之ニ対シ適当ノ考量ヲ加ヘラレ度ク然 ラサレハ自ラ進テ相当ノ手段ニ出ツヘキ旨ヲ通告シタリ右 工事ニ外国労働者ヲ使用スルコトハ紐育州労働法第十四条 ル」氏ハ右工事ノ各請負人ニ対シ突然書面ヲ送リ地下鉄道 ニ至リ当地煉瓦積職工労働組合ヲ代表セル「ジョーン・ギ 外国人殊ニ伊太利人労働者ヲ使用セル処客年十一月十二日 数年以前ヨリ着手セル当地地下鉄道開鑿工事ニハ主トシテ

訴訟ヲ提起スルコト モアリタル所兎モ角共同シテ善後策ヲ講スルコトト為シ会 負人ハ今更ノ如ク狼狽シ中ニハ直ニ工事ヲ中止シタルモノ ラレ居タル由ナルガ前記「ギル」氏ノ書面ヲ受取ルヤ諸請 アルモ該法律ハ十八ケ年以前(即チ一八九七年)ノ制定ニ 紐育州市民ハ優先権ヲ有ス云々」(別紙原文参照)ノ規定 米国人ナラザルベカラズ而シテ右労働者雇入ノ場合ニ於テ 約ヲ締結セル私人ノ「公共事業」ニ使用スル労働者ハ全部 紐育州労働法第十四条ニハ「州又ハ市若クハ之等ト ト等ヲ決定セリ ≒ヲ開キテ⊖右第十四条ノ本件ニ適用ノ有無ニ付キ試験的 いり其後殆ント遵守セラレタルコトナク死文ノ如ク思考セ 台工事ヲ中止セス当分之ヲ続行 ·請負契 ス N コ

線工事ニ適用スヘキニ非ズト判決セリ其理由大要左ノ如シ 定ハ無効ナリ臼仮令無効ニ非ストスルモ同規定ハ之ヲ地下 十二月三十日附ヲ以テ全然第一審ノ判決ヲ覆シ臼同条ノ セラレシガ第二審ニ於テ同 ンティー」法院ニ於テ十二月九日請負人側ノ不利益ニ判決 右ノ結果提起セラレタル試験的訴訟ノ第一審ハ紐育 無効トスル理由 「アペレートディビジョン」ハ 「カウ 規

> ヘキャハ遂ニ之ヲ知ルニ由ナキナリ云々」ト云ヘリ 類似ノ職業ニ従事スルモノ、米国市民タルト外国人タル ヲ望ムヘカラザリシナラン之ニ反シ地下線工事其他之ニ 第十四条ノ規定ニシテ半世紀以前ニ制定実施セラレタリ 種ノ職業ニ従事スル機会ヲ与フルニアリタリ若シ労働法 他州市民ノミナラス外国人ヲモ凡テ之ヲ歓迎シ平等ニ各 無効ト トカ如何ナル影響ヲ公共ノ衛生ト安全ト道徳トニ及 ト云フニ在リ判決文ニハ「紐育州ノ政策ハ従来常ニ米国 セハ世界ニ誇ルニ足ルベキ紐育州今日ノ繁栄ハ到底之 スル 理由ハ要スルニ該規定ハ紐育州 ノ政策ニ反 ホ ス

令有効ナリトスルモ之ヲ本件ニ適用スヘキニ非ス云々 目的トシ市ノ私有財産ニ属スヘキモノナルヲ以テ同法ニ 所謂公共事業ト称スヘキモノニ非ス故ニ右第十四条ハ仮 スルヲ以テ「公共事業」ナルモ前者ハ収益ヲ以テ主タル ヲニ異シ後者ハ収益ノ観念ヲ離レテ専ラ公共ノ目的ヲ有 所地下線開鑿事業ハ学校、監獄、市役所等ノ建設ト意味 労働法第十四条ハ「公共事業」ニ付テ規定セルモノナ

同規定ハ地下線工事ニ適用ナシトスル理由

本件ハ請負人側ニ於テモ労働組合側 ニ於テモ最後迄之ヲ争

米国ニ於ケル排日問題雑件

六

云フニ紐育州控訴院ヲ経テ米国最高法院マテ提出セラルベシトニ紐育州控訴院ヲ経テ米国最高法院マテ提出セラルベシトフ決心ヲ有スル趣ナレハ右判決ハ未タ確定ニ至ラス今後更

内室一弗七十五仙ナリト云フ の至一弗七十五仙ナリト云フ の至一弗七十五仙ナリト云フ の五一弗七十五仙ナリト云フ の五一弗七十五仙ナリト云フ の五一弗七十五仙ナリト云フ の五一弗七十五仙ナリト云フ の五一弗七十五仙ナリト云フ の五一井七十五仙ナリト云フ の五一井七十五仙ナリト云フ

右御参考迄及報告候 敬具

(附屬書)

紐育州労働法第十四条

labor. imprisonment. dollars, or by imprisonment for not less than thirty native shall be set forth whether they are naturalized or nor more than ninety days, or by both such fine and less than fifty dollars nor more than misdemeanor and shall be punishable by a fine of not be open to the inspection of the commissioner or turalization was granted. zations and the name of the court where such nawith, in case of naturalization, the date of naturalicontractor performing work for any city of the first shall keep a list of his employees, in which it A violation of this section shall constitute a born citizens of the United States, Such lists and records shall five hundred , together

# 七 一月十一日 在桑港沼野総領事代理宛(電報)

「アリゾナ」州八割法ニ対スル試訴判決理由

## 概要電報方ノ件

第二号

アリタシ
貴電第八号判決理由ノ概要ヲ電報シ判決書全文写至急郵送

一 米国ニ於ケル排日問題雑件 七 八 九 一〇

## LABOR LAW

of all contractors holding contracts with said cities in all cases where laborers are employed on any such citizens of the United States shall be employed; and and addresses of such new contractors shall likewise into contracts which provide for the expenditure of to the effect that, if the provisions of this section are ruction of public works a provision shall be inserted, state of New York. public works, preference shall be given citizens of the contracting with the state or such municipality, only works by the state or a municipality, or by persons upon public works. In the construction of public addresses of all subcontractors in his employ. labor a contractor shall furnish a list of names of the state. of the commissioner of labor the names and addresses public money on public works, shall file in the office first class of the state, having the power to enter boards, officers, agents or employees of cities of the not complied with, the Article 14. filed. Upon the demand of the commissioner of Preference Upon letting new contracts the names In each contract for the constcontract shall be employment of void. persons Each

## 八 一月十一日 加藤外務大臣宛(電報)

# 「アリゾナ」州八割法ニ対スル試訴判決理由

### 電報ノ件

第一一号

大使ニ電報ス
大使ニ電報ス
大使ニ電報ス

九 一月十二日 加藤外務大臣宛(電報)

## 「オレゴン」州議会開会ノ件

第二号

「オレゴン」州会十一日開会セリ

一〇 一月十二日 加藤外務大臣宛 在桑港沼野総領事代理ヨリ

日本移民禁止ノ為ノ「ギューリック」博士ノ 加州労働組合機関誌 Labor Clarion 掲載ノ

新考案ニ関スル記事送付ノ件

附属書 右記事和訳文

機密公第三号

(二月四日接受)

大正四年一月十二日

在桑港

総領事代理 沼 安 太 郎 印

外務大臣男爵 加藤高明殿

The San Francisco Labor Council and California State ヲ試ミントスルカ如キハ従来ニ見サル新事例ニ 有 之 全 ク ヲ顧ミズ親日派ノ意見ヲ掲載シ之ニ対シ多少真面目ニ詳論 致候 Labor Union ノー機関誌タル同雑誌カ従来ノ行懸リ Labor Clarion ハ「ギューリック」博士カ過日同社ヲ訪問 Federation of Labor ノ機関雜誌(週刊)タル当地 The タル良好ナル結果ノート見ルヲ得ベシト被存候 「ギューリック」博士カ先般来労働派ノ有力者連ヲ遊説シ ルニ関シ其ノ本月一日号ニ別紙切抜ノ如キ記事ヲ掲載

御参考迄ニ妓ニ及送付候条御查閱相成度候 敬具

三 故ニ毎年各国ヨリノ移民敷ハ既ニ同化シタル其国先 來者ニ對スル一定ノ割合(例へバ百分ノ五)ニ限ラ ŋ 習慣思想ヲ了解スル先來者ニ頼ラサルヘカラ 又亞細亞ョリハ單ニ少許ノ移民ヲ許スコトト成ル 全部入国スルヲ得東南歐移民ハ幾分拒絶セラル 国ノ威嚴問題ト調和ヲ保ツコト シ此ノ方法ハ国民中差別的取扱ノ故障ヲ避ケ總テ ルヘカラズ右制限ヲ設クルトキハ北歐ヨリ ・ヲ得ヘシ ノ移民 ス ^

四 渡來者全部ヲ速ニ同化スルノ處置ヲ講セサルヘカラ 錄シ且其ノ市民トナルマテ登錄簿ニ存スヘシ ス從テ移民登錄局ヲ設クル必要アリ外国人ハ總テ登

Æ, 書ヲ作製シ且無料ニテ試驗ヲ施スヘシ 教育局ノ設置亦必要ナリ該局ハ教育基準ヲ定メ教科

七 六 凡ソ新ニ市民タル者ハ米国主權ニ服從スル 書ヲ以テ歸化ノ要件トスヘシ 歸化局教育局 (ノ試験合格證書並ニ登錄局 ノ品 ノ宣誓ヲ 行證 明

八 米国市民權附與ニ付テ ハ個人資格ヲ標準ト シ決シテ

サ、ルヘカラス

單二人種ノ點ヲ條件トスヘカラス 米国ニ於ケル排日問題雑件

附属書

Labor Clarion ノ記事切抜 本信写送付先 珍田大使

註 Labor Clarion ノ英文記事ヲ省略シ添附送附越ノ訳文ヲ次 ニ掲ク

(附屬書)

加州労働組合機関誌掲載ノ記事訳文

日本人問題

客年中同博士ハ日米關係ノ問題ヲ以テ東部及中西部諸州 對シ同一取扱ヲ爲サントスル新移民政策ヲ提唱セ 側ノ要求モ至當ナリト爲シ其ノ解決法トシテ總テノ人種ニ ルト同時ニ不快ナル人種的差別ノ取扱ヲ免レントスル日本 民ノ危嶮ヲ防止セントスル加州ノ要求正當ナル 題解決ノ道アリト信スルモノノ如シ彼ハ夥多ナル亞細亞移 ル「ギユーリック」博士ノ來訪ヲ受ケタリ同博士ハ移民問 本社へ先週日本同志社大學教授ニシテ京都帝国大學講師 コトヲ認ム

間ニ遊説ヲ爲セリ其ノ考案ノ梗概ハ左ノ如シト ス

一、米国ハ其ノ同化シ得ル丈ケノ外国人ハ單ニ移民ト テ各国ヨリ來ルコトヲ許容スヘシ シ

= 同化ノ事タル主トシテ既ニ同化及歸化シ雙方ノ言語

洋沿岸諸州民ガ現下遭逢スル難問題ニ如何ナル効果ヲ與フ 目ニ互リ調査考量ヲ遂ケタル上ニ非レハ該案カ果シテ太平 書閱讀ノ上本件ニ關スル吾人ノ意見ヲ示スヲ得 ニ論究シタル其著書ヲ進呈スルコトヲ約シタルヲ以テ該著 ルヤニ付十分ニ吾人ノ意見ヲ述ヘ難シ博士ハ本問題ヲ詳細 上記「ギューリック」博士ノ考察ハ十分研究ヲ要シ其ノ細 支那ノ興隆ヲ資ケ延テ近キ將來ニ支那及西洋間ニ大 良好ナル關係ヲ確立シ我国際友誼ヲ親善ニスヘク又 本政策ハ以テ紛糾セル日本人問題ノミナラス黄禍論 ニ發達スヘキ商業上我国ノ地位ヲ確保スルヲ得ヘシ 並ニ歐洲移民ニ關スル難問題ヲ併セテ解決スル完全 ナル方法ナリ之ニ依リテ米国ト全亞細亞国ト カ ノ間ニ

一月十三日 加藤外務大臣宛(電報)在ポートランド熊崎領事ヨリ

止法案ニ関スル決議案ヲ提出スベシトノ新聞 「オレゴン」州下院ニ於テ外国人土地所有禁

報道報告ノ件

第三号

当州下院議員 Schuebel (Oregon City 在住弁護士) ナ ル

者人民投票ニ依リ外国人ノ土地所有ヲ禁スル立法ヲ為スヘ 新聞報アリ委細後報 トノ決議案ヲ提出スヘク目的ハ日本人及支那人ナリ

第五号

案セントスル趣意ニ付報告ノ件

結果提案者 Schuebel (Republican) ナルモノハ Uren ナ

往電第三号ニ関シ当地東洋協会会長 Miller

氏ニ問合セ

## 一月十四日 加藤外務大臣宛(電報)在ポートランド熊崎領事ヨリ

## 法案提出ノ件 「アイダホ」州下 院二外国人不動産所有禁止

### 第四号

日本人土地所有者七名地積百二十七エーカー及借地者約二 合い相続後五年間ニ買主帰化スルカ又ハ不動産ヲ売却スヘ 領外国人ニハ自然人法人共不動産ノ所得ヲ禁止シ相続ノ 百五十地積一万八千エーカーナリ ン)ハ十三日外国人不動産所有禁止案ヲ提出シタルカ其要 シト云フニアリトノ新聞報アリ委細後報因ニ同州ニ於ケル 「アイダホ」州会下院議員「アンダーソン」(レ パブリカ 場

云々ト答へタリ依テ「クロフォード」ハ雖然斯ル立法ヲナ

ヲ所有スルハ不都合ナルニ付将来之ヲ禁セントスルニアリ ヲ目的トシタルニアラス一般ニ外国人カ帰化セスシテ土地 提案ノ起リヲ尋ネタルニ

Uren ハ右ハ決シテ特定外国人

洋協会副会長 Crawford 氏個人トシテUren 訪問 Schuebel ノ肝煎ヲナシ居ルコト判明シタルニ付本官ノ依頼ニ依リ東 ルモノト共同法律事務所ヲ経営シ Uren カー切政事運動

大使へ電報ス

特別後援モナキニ独立シテ知事候補ニ立チ贅論ヲ始メ種々

Uren ナル人物ハ少シク常規ヲ逸スル傾向アリ過般モ

モ致方ナシト回避シ夫レ以上別ニ真意ヲ確メ得サリシモ元 シ得サルニ至ルヘシト問詰メタルニ Uren ハ気ノ毒ナル ス時ハ帰化権ナキ外国人日本人等ハ遂ニ全然土地所有ヲナ

奇矯ナル政事論ヲ為シ今回モ Schuebel ヲシテ他ニモ幾多

Ξ 一月十五日 加藤外務大臣宛(電報) 在ポートランド熊崎領事ヨリ

「オレゴン」 州外国人土地所有禁止法案ヲ提

モ考ヘラル、ニ或ハ何等為メニスル所ナキヤ精探中決議案

ノ提案ヲ為サシメ居ルニ付本件提案モ単ニ一個ノ想附キト

へ電報ス 論ナク何等世人ノ注意ヲ惹カズ決議案ハ入手方手配中大使 ハ未タ州会ニ提出セラレス又本件ニ付テハ其後新聞記事評

四 一月十五日 加藤外務. 大臣宛野総領事代理ョリ

Oakland Enquirer 掲載ノ排外的立法不可

論ニ付報告ノ件

附屬書 右論説摘訳

(二月四日接受)

総領事代理 沼 野 安 太

郎

印

在桑港

外務大臣男爵 加藤高明殿

法不可論ト題スル記事掲載候ニ付右新聞切抜一部 客年十二月十九日  $\tilde{j}$ "Oakland Enquirer" 紙ニ排外的立 (摘訳相

**故ニ差進候条御査閲相成度候** 敬具

"Oakland Enquirer" 新聞切抜 部

吾人ノ了解

本信写送行先 珍田大使

米国ニ於ケル排日問題雑件

四

新聞切抜ヲ省略ス

(附属書)

Oakland Enquirer 論説ノ摘訳

テタルモノナルコトヲ會得スルニ至レリ 其杞憂ハ全ク去リ加州カ賢明ニシテ且正當當然ノ措置 敏ト爲リシト雖モ亦タ事實ノ眞相ヲ審ニスルニ及ンテ今ヤ ハ此ノ加州問題ニ基因シタル事態ニ關シ一時甚シク神經過 乃至何等條約上ノ權利モ侵害セラレタルコトナシ中央政府 ヲ受クルコトナク又何国トノ国際關係モ眞實ニ撹亂セラレ 民的僻見ト看做サルルコトナク孰レノ国民モ取別ケ悪影響 有スル爲ニ適當ナル保障規定ヲ設ケタリ而シテ之カ爲ニ国 ハ今日迄既ニ深キ注意ヲ以テ加州ノ土地ヲ吾人ノ手中ニ保 キ凡ソ外国人土地使用排斥ニ關スル立法問題是レナリ吾人 アルハ他ナシ日本人又ハ他ノ国民ノ孰レニモ影響スルカ如 次期議會ニ於テ特ニ立法問題トシテ論議スベカラサル一事 排外的立法不可論 三出

題ヨリモ寧ロ特殊

人種

ニ對スル敵對的意味ニテ通過セラレ

對シ某国カ懷ケル不快ノ念ハ蓋シ同法カ正當ナル政策問

ニシテ誤ナクンバ外国人排斥士地法

「ノ爲ニ加

州

ル疑心へ卽チ不滿ノ念ヲ生スル所以ナリテ更ニ国民的侮辱ヲ與フル他ノ立法ヲ見ルノ先驅ナリトスタリト觀測シタルニ基クカ如シ此ノ必要處置タル立法へ鸵

ケル米国人ノ優越權ハ毫モ傷害ヲ被ラスルヲ見ス同法實施ノ結果或ル特殊ノ階級ニ何等苦痛ヲ與フルヲ見ス同法實施ノ結果或ル特殊ノ階級ニ何等苦痛ヲ與フルヲ見ス同法實施ノ結果或ル特殊ノ階級ニ何等苦痛ヲ與フルヲ見ス同法實施ノ治果或ル特殊ノ階級ニ何等苦痛ヲ與フ

ト欲スルモ能ハズ世界文明国ハ皆此ノ混亂ノ裡ヨリ平和秩ルニ在リ吾人ハ人道ニ對スル大ナル義務ヲ有シ之ヲ避ケンテモ吾人ニ對シ疑心ヲ懷カシムルカ如キ何等ノ行動ヲ避ク今ヤ重大ナル時局ニ際シ最モ適宜ノ措置ハ何レノ国民ヲシ

五 一月十六日 加藤外務大臣宛(電報)

法案ノ成否ノ見込ニ関シ報告ノ件「アイダホ」州議会ノ外国人不動産所有禁止

第六号

Idaho Falls 日本人会ノ報告ニ依レハ「アイダホ」土地案の目本の Falls 日本人会ノ報告ニ依レハ「アイダホ」土地案の目下にに受員所託中ニシテ前期州会ニ於テ外国人土地所の目下下院委員附託中ニシテ前期州会ニ於テ外国人土地所の目下下院委員附託中ニシテ前期州会ニ於テ外国人土地所の目下に表員所託中ニシテ前期州会ニ於テ外国人土地家の目がある。

大使へ電報ス

一六 一月二十日 加藤外務大臣宛(電報)

# 下院通過ノ件「アイダホ」州ノ外国人不動産所有禁止法案

 現七号

電報スでは、土地案ハ二票ノ反対アリタルノミニテ二十日「アイダホ」土地案ハ二票ノ反対アリタルノミニテ二十日「アイダホ」土地案ハ二票ノ反対アリタルノミニテ二十日「アイダホ」土地案ハ二票ノ反対アリタルノミニテ二十日

一七 一月二十日 在桑港沼野総領事代理ヨリ

南加州諸大学ガ今後一切ノ排日法制定ニ反が願々系プ目ダ

附属書 右声明書ノ抄訳

スル親日的声明書発表ノ件

999

公第二四号

E

大正四年一月二十日

一 米国ニ於ケル排日問題雑件 在桑港

六

七

(二月十二日接受)

話 対属

総領事代理 沼野安太郎(

外務大臣男爵

加藤高明殿

グレゲーショナル 署名アルモノナルガ是等各大学ヲ宗派別ニ依ル所属関係ニ ジ」并ニ「レッドランド」大学 モノナル旨ヲ闡明シ「ポモナ」「オクシデンタル」「スロ キ太平洋沿岸ノ思慮アル人士ハ皆此友誼ノ維持ヲ希望スル 意書発表セラレタリ同趣意書ハ日米両国ノ歴史的友誼ヲ説 学長ノ署名ヲ以テ今後一切ノ排日法案制定ニ反対スヘキ趣 本年一月十一日「パサデナ」市ニ於テ南加州各大学総長及 ヨリテ分類スルニ羅馬加特力 一、メソヂスト ・プ」「ロサンゼルス」及「ウキッチャー」ノ各「カレッ ナルヲ示ス 一、バプチスト 及南加大学ノ各校長ノ 一、クエ 1 一、コン カー

附属書籍

右趣旨書要領抄訳添付御参考マデ此段及報告候

一、親日趣意書、抄訳一

本信写送付先 在米大使

### (附屬書)

南加州各大学発表ノ親日的声明書ノ抄訳

認識スル所ナリト信ジ且此ノ認識ハ眞ニ兩國間ノ友誼ガ永 久ニ持續セラル モノナリ ニ多大ノ利益ヲ斎ラスヘキコトハ太平洋沿岸有識者ノ固ク カ如クナルニモ係ラズ其實吾人ハ此ノ友誼ニ依リテ兩國間 驗タリシコト ル眞正ナル好意ノ表彰カ我國際關係史ノ最モ仕合セナル經 米國市民ニシテ且加州在留民タル吾人ハ日米關係ノ特徴タ ノ深キ確信ヲ表示スルモノナリ一見然ラサ ベキ確信ノ基礎タルモノナルコトヲ信スル ル

間ニ流布セラル 法律的制裁アルニ拘ハラズ尚一層重大且ツ油斷ナラサル惡 日本ノ諸友ニ希望スルモノナリ云々 的經綸ノ一タルコトヲ固ク記憶スル所アランコトヲ吾人 ル助言ヲ天下ニ公表スル確乎タル決心ハ尤モ眞正ナル政治 ハ其發顕ヲ見ルコト特ニ遲々タルモノニシテ此ノ賢明ナ :ノ道備ハル所ナキコト並ニ思慮アリ且平和的ナル社會助 (ニシテ且煽情的國際虛說罪ニ對シテハ未タ何等國際的防 ;モ罵詈讒謗並ニ惡意ニ基ケル攻撃的行動ハ反リテ極力世 ルヲ常トシ且ツ各國トモ讒誣ニ對シ各種ノ

> 抄訳送付ノ件 加州社会党領袖「ウヰ 加藤外務大臣宛在桑港沼野総領事代理ョリ ル ジン ノ日米親交論

八

一月二十日

附属書 右抄訳

(二月十二日接受)

公第二五号

大正四年一月二十日

在桑港

総領事代理 太 印

加藤高明殿

度此段申進候 付御参考迄一月十八日発刊「バークレー 至リ候現ニ本年一月十七日桑港「スコチシュ・ライ 会党ノ一領袖ニシテ曽テ排日的言説ヲナシタルコ 前「バークレ ット」所載同氏演説大要抄訳別紙一通差進候間御査閲相成 ノナルカ輓近日米両国ノ親交上寧ロ有利ナル言説ヲナスニ ル」講堂ニ於テ日米関係ト題スル一場ノ演説ヲ試ミ候ニ 敬具 一市長「スチット・ ウヰ ・デー ソン」ハ IJ ĺ ŀ 加州 ・ガ ト・ホ アル ゼ Æ

ウォルソン(旧バークレー ニ関スル新聞記事抄訳一通 市々長) 日米親交演説

加州社会党領袖「ウキ ルソン」 ノ日米親交論抄訳

「日米ノ關係」

東洋ノ市場ヲ獨占シ太平洋ニ優越ノ權力ヲ發輝セント ナカリシニ今ヤ强大ナル商業並ニ强大ナル軍國ト ノ勢ヲ示セリ 一ハ此ノ世界的强國タル日本ヲ了解シ且ツ世界ニ於ケル日 偉業ヲ遂ケタルモノナシ曾テ商業及軍備ノ見ルヘキモノ .本ニ對シ米國人ノ勉ムヘキモノノ内最モ重要ナルモノ 地位ヲ認識スルニ在リ有史以來日本ノ如ク短時間ニ於 - ナリ將來 ス N

露國ヲ仆シ一九〇五年日英同盟ヲ締結シ更ニ日本ハ吾人ノ 國際上ヨリ見レバ日本ハ千八百九十四年支那ニ勝チ次テ又 得シ且其賃銀低廉ナルカ故ニ日本ハ東洋ニ於ケル米國 那若クハ東洋ノ商權ハ専ラ其權内ニ屬スヘシトスルノ確信 布哇領有ニ對シ抗議シ進ンテ我國ニ對シ其住民ノ我國ニ在 抱ケリ ラ遂ケタリ元來日本ノ政治家ハ常ニ殖産興業ニ留意シ支 |ヨリ見レバ日本ハ世界何レノ國モ及バザル程産業上ノ進 モノニ對シ尊敬ヲ佛フヘキヲ强要スルニ至レリ次ニ商業 而シテ國民ハ二十世紀ノ産業上ノ技術ヲ充分ニ會 プ商

> 彼等ノ信仰ナリ日本ハ恰モ東洋ニ於ケル獨逸ノ如シ而シテ 位ヲ占ム加フルニ日本ニ於テハ軍國主義充溢シ忠君愛國ハ 備へ其運送船ハ一擧ニシテ百萬ノ兵士ヲ輸送スルニ足ル而 獨逸ヲ除ク外其ノ優秀ナル點ニ於テ何シモ之レニ比肩スへ 路擴張ニ對シ恐ルヘキ强敵トナレリ尚軍備ニ關シテハ日本 米國ニ於テハ毎年七千人ノ脱走兵アル次第ナ シテ更ニ日本ハ太平洋ヲ支配スルニ戰術上最モ恰好ナル地 キモノナシ又海軍ハ吾人ノ海軍ョリモ一層强大ナル大砲ヲ ス軍隊内ニ於テ脱走ヲ圖ルモノ未タ曾テ之ヲ聞カス然ルニ 武士道ハ國民ノ道徳律ニシテ主君ノ爲メニ身ヲ殺スヲ恐レ 偉大ナル力ヲ有ス日本ハ何時ト雖モ直ニ五萬ノ將校ノ下 百萬ノ兵ヲ動カスコトヲ得可シ日本ノ軍隊ハ歐州ニ於テ

吾人ハ横柄高慢若ハ自惚ヲ以テ此ノ矮小ナル褐色人ヲ蔑祖 ハ ス コ スルコトアル可カラズ一小島ニ據リ五千萬ノ人口ヲ有スル 戦死者一名ア 犯罪人統計中亂酔者ナルモノナシ米西戰爭ニ於テ我國人 凡テ衛生ヲ重シ又日本ニハ公開サレタル酒屋アルヲ聞 トナシ又日本ニハ乞食若クハ貧民院ナルモノナシ日本人 本ハ我紐育州内ニ於ケルカ如キ多數ノ下等貧民ヲ有スル ル ニ對シ病死者十四名ヲ出セシニ反シ日露

「ミゾリー」州選出下院議員「バートルト」(共和党員)

九 一月二十一日 加藤外務大臣宛

外国人ノ条約上ノ権利保護法案送付ノ件

| 大正四年一月二十日提出ノ右法案| 大正三年十二月十九日提出ノ右法案

(二月十八日接受)

大正四年一月二十一日

公第二二号

在米

特命全権大使子爵 珍 田 捨 己(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

条トナシ其外ニ尚三ケ条即チ臼権利侵害ノ予防ニ関スル手 罪ヲ構成スルモノハ合衆国ノ平和及尊厳ニ対シテモ同様ノ 行ノ為メ外国人ニ対シ其州ノ裁判所ニ起訴セラレタル民刑 続(第一条)口条約上ノ権利ヲ侵害スト認メラル、州法執 犯罪ヲ構成スルモノトナシ合衆国(中央政府系統ノ)裁判 侵害事実発生地タル州又ハ「テリトリー」ノ法律ニヨリ犯 関スル法案為御参考兹ニ及御送付候客歳十二月十九日提出 悉相成度尚外国人ノ条約上ノ権利保護ニ関シ適当ナル立法 四条)等ニ関スル規定ヲ存シ候詳細ハ別紙同案ニ就キ御閲 合衆国ノ平和(秩序)維持ノ為メ大統領ノ執ルヘキ措置(第 々件ヲ構成スヘキ条約上ノ外国人ノ権利侵害アリタルトキ 事々件ヲ合衆国裁判所ニ移送シ得ヘキ事(第二条)闫刑事 ルノミナリシガ本月二十日提出ノ法案ニハ右ノ規定ヲ第三 所ニ於テ訴追スルコトヲ得云々トノ簡短ナル一ケ条ヲ存ス ラレ司法委員附記トナリタル外国人ノ条約上ノ権利保護ニ ノ必要ニ就テハ曩ニ在紐育日本協会々長「ラッセル」氏等 ノ法案ハ条約上保護セラレタル外国人ノ権利侵害ニシテ其 ニ依リ客歳十二月十九日及本月二十日ノ両度下院ニ提出セ

(附屬書一)

護法案 大正三年十二月十九日提出ノ外國人ノ條約上ノ權利保

63D CONGRESS,

3D SESSION. H.R. 20196

IN THE HOUSE OF REPRESENTATIVES

December 19, 1914.

Mr. Bartholdt introduced the following bill; which was referred to the Committee on the Judiciary and ordered to be printed.

A BILL

To confer jurisdiction on the Federal courts in certain cases.

Be it enacted by the Senate and House of Representatives of the United States of America in Congress

assembled,

That any act committed in any State or Territory of the United States in violation of the rights of a citizen or subject of a foreign country, secured to such citizen or subject by treaty between the United States and such foreign country, which act constitutes a crime under the laws of such State or Territory, shall constitute a like crime against the peace and dignity of the United States, punishable in like manner as in the courts of said State or Territory, and within the period limited by the laws of such State or Territory, and may be prosecuted in the courts of the United States, and upon conviction, the sentence executed in like manner as sentences upon convictions for crimes under the laws of the United States.

(附屬書二)

**法系** 大正四年一月二十日提出ノ外國人ノ條約上ノ權利保護

63D CONGRESS

3D SESSION. H.R. 21073.

IN THE HOUSE OF REPRESENTATIVES

January 20, 1915

Mr. Bartholdt introduced the following bill; which

was referred to the Committee on the Judiciary and ordered to be printed.

### A BILL

For the better protection of aliens and for the enforcement of their treaty rights.

Be it enacted by the Senate and House of Representatives of the United States of America in Congress assembled,

table the United States and such foreign country; and that this provision shall apply to acts threatened by State officured to such citizen or subject by treaty between rights of a citizen or subject of a foreign country seany person or persons threatening to violate the the proper district court of the United States against behalf of the United States, to file a bill in equity in ed as complainants with the United States in such equited. The aliens whose rights are affected may be jointure of the State in which such acts are to be commitcers under the alleged justification of a law of the legislaized to direct the Attorney General, in the name and proper district courts That the President of the United States be authorproceeding, and jurisdiction is hereby given to to maintain such action.

The costs in such case, if awarded against the complainant and the United States, shall be paid by order of the Secretary of State out of the contingent fund of the State Department.

subject of a foreign country to enforce an Act passed of the United States. in such State court, to file an intervening petition any time before a hearing or trial upon the merits or subject of a foreign country, party defendant, at United it shall be lawful for the subject of a foreign country, secured to him by treaty the President to violate the rights of such citizen or for removal of said cause to the proper district court United States, between the United States and such foreign country, by the legislature of such State, which is deemed by nal, is brought in a State court against a citizen or States, on behalf and in the name of the ? That whenever an action, civil or crimiand with the consent of such citizen Attorney General of the

Upon the filing of such petition removal shall take place in accordance with the procedure in other cases for which removal is provided in the statutes of the United States, so far as the same is applicable,

this Act. of the United States the cause shall duly proceed to Constitution of the United States. review as other cases arising under the laws and ingly proceed to judgment, and shall be subject to counsel duly authorized, and the cause permitted to submit evidence and to be heard by trial, and the paid by the Secretary of State, as in section one of shall prove to have been improperly removed, for costs against the United States in case the cause United States is hereby authorized to make an order ed to file a bond for costs. The district court of the except that the Attorney General shall not be requir-Upon the filing in the proper district court United States as intervenor shall shall accordto be be

Sec. 3. That any act committed in any State or Territory of the United States in violation of the rights of a citizen or subject of a foreign country, secured to such citizen or subject by treaty between the United States and such foreign country, which act constitutes a crime under the laws of such State or Territory, shall constitute a like crime against the peace and dignity of the United States, punishable in like manner as in the courts of said State or Territory,

and within the period limited by the laws of such State or Territory, and may be prosecuted in the courts of the United States, and, upon conviction, the sentence executed in like manner as sentences upon convictions for crimes under the laws of the United States.

Sec. 4. That the President of the United States is hereby expressly authorized to use the marshals of the United States and their deputies to maintain the peace of the United States when violated by the commission of such acts as are denounced in the preceding section; and should, in his judgment, the circumstances demand it, he is empowered to use the Army and the Navy for the same purpose.

二〇 一月二十二日 加藤外務大臣宛(電報) 在桑港沼野総領事代理ヨリ

関スル件ニ付同州当局ハ控訴ノ意アル旨ノ新聞報道ニ「アリゾナ」州外国人雇傭制限法違憲ノ判決

第一九号

貴電第六号末段ニ関シ「アリゾナ」新聞ニ依レハ Attorney

ヲ洩ラシ居レリ尚ホ判決理由書未タ入手ノ運ニ至ラズAttorney General ヨリ山崎ヘノ来翰中ニモ右控訴ノ意嚮ののです。 ハ近々控訴スル筈ト言明シタル趣又 Assistant

二一 一月二十二日 加藤外務大臣宛(電報) 在桑港沼野総領事代理ヨリ

文送付ノ件「アリゾナ」州外国人雇傭制限法違憲ノ判決

第二二号

便ニテ発送ス 大使済 アリゾナ」事件判決文二十二日入手二十三日「ペルシャ」

二二 一月二十二日 加藤外務大臣宛(電報)

提出ノ件憲法規定ノ存否ヲ人民投票ニ附スベキ決議案所オレゴン」州下院へ外国人財産権ニ関スル

第八号

州憲法三十一条ノ存否ヲ民衆投票ニ附スヘキ決議案ヲ提出ゴン」下院議員 Schuebel ハ十九日外国人財産権ニ関スルニ十二日配布ヲ受ケタル House Calendar ニ依レハ「オレ

7.豊沙三十一条ノ右在ヲ民衆投票ニ除スヘキ決論第ヲ提出

附属書

一、排日派 Circular 一通

本信写送付先 在米大使

(附屬書)

「サーキュラー」寫. 現行加州土地法ヨリ借地ニ關スル條項削除ヲ要請セル

January 19

ーサーキュラー」第

Dear Sir:—

We desire to call your attention to the matter of amending the Alien Land Law by eliminating the leasing clause. The original intent relative to this legislation is of course nullified by the existence of the leasing clause. As we know same was adopted as a temporary provision for various reasons, one of which was to give all an opportunity of adjusting

委細後報大使ニ電報スシ案ハ同日委員附托トナレリト右ハ往電第三号関係ト存ス

二三 一月二十二日 加藤外務大臣宛 在桑港沼野総領事代理ヨリ

運動ニ付報告ノ件現行加州土地法ヨリ借地ニ関スル条項削除ノ

附属書 右借地条項削除ヲ要請セル「サーキュラー」

(二月十二日接受)

大正四年一月二十二日

機密公第九号

在桑港

総領事代理 沼野安太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

モノハ此迄聞及タルコト無之前記「サーキュラー」ノ署名of California ノ名義ヲ以テ現行加州土地法中ヨリ借地ニリキュラー」ヲ各議員及新聞記者等へ配付シタルモノアリーキュラー」ヲ各議員及新聞記者等へ配付シタルモノアリスル条項削除ノ必要ヲ説キ各議員ノ尽力ヲ促シタル「サーキュラー」ヲ各議員及新聞記者等へ配付シタルモノアリー

matters preparatory to eliminating the leasing clause at the present session of the Legislature.

The California State Federation of Labor, representing the labor movement of the state, includes the legislation in its legislative programme. A large number of the Senators and Assemblymen are pledged to this legislation. It is necessary. The people want it. The East must know that California still suffers from Asiatic immigration and competition, and is alive as ever to the situation.

Bills relative to the above will be introduced, and this organization respectfully requests that you will do all in your power to assist in the passage of same in order that California may possess this legislation which it has sought these many years.

We will keep in close tough with the situation and stand ready at any moment to furnish any information that may be desired.

Thanking you with best wishes we remain

Yours respectfully,

Associated Anti-Japanese League of California Wm. T. Bonsor.

二四 一月二十二日 加藤外務大臣宛在桑港沼野総領事代理ヨリ

# 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法試訴事件判

## 決理由書写送付之件

附属書 右判決理由書写

公第二六号 (二月十二日接受)

大正四年一月二十二日

在桑港

総領事代理 沼 野安太郎(印)

Respondents.

外務大臣男爵 加藤高明殿

相成度候 敬具 当地裁判所書記局ョリ入手致候ニ付右写及送付候条御査閲 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法試訴事件判決理由書今般

附属書

一、「アリゾナ」事件判決理由書一部

本信写送付先 珍田大使

「アリゾナ」州外國人雇傭制限法試訴事件判決理由書

IN THE DISTRICT COURT OF THE UNITED

## B. Cleary, of Bisbee, Arizona, for the Respondents. General of the State of Arizona, and William

## SAWTELLE, District Judge:

the law is in violation of the Constitution of the petition, on November 3rd, 1914, upon the ground that vote of the people of that state, under an initiative State of Arizona and the County Attorney of Cochise pendents lite to restrain the Attorney General of the Section 266 of the Judicial Code. United States, This is an application for a temporary injunction Arizona, and the hearing thereof is had under from enforcing a law enacted by

provides: in Arizona, and to provide penalties and punishment for the violation thereof", and Section 1 thereof ployment against non-citizens of the United States, tect the citizens of the United The Act in question is entitled, "An Act to pro-States in their em-

an employer of more than five (5) workers tion or individual who is, or may hereafter become one time, in the state of Arizona, regardless of kind "Any company, corporation, partnership, associaat any

# STATES, FOR THE DISTRICT OF ARIZONA

Mike Riach,

Complainant,

٧S.

Jones, Attorney General of the Cochise County, Arizona, State of Arizona, and W.G. William Truax, Sr., Wiley E. Gilmore, County Attorney of In EQUITY, (Tucson). No. E-9,

Before Circuit Judge William W. Morrow, and District tion 266 of the Judicial Code, Act of March 3, Supp. 1911, page 236). 1911, Chapter 231; 36 Stat. 1162; U.S. Comp. St. Sawtelle, Judges William C. (Convened under the provisions of Sec-Van Fleet and William H.

Thursday, January 7, 1915

John H. Campbell, of Tucson, the Complainants. and Edward J. Flannigan, of Bisbee, Arizona, Arizona, J.S. Williams

Wiley E. Jones, Attorney General of the State of Arizona, Leslie C. Hardy, Assistant Attorney

or class of work, or sex of workers, shall employ not sion thereof." less than eighty per cent qualified electors or nativeborn citizens of the United States or some subdivi-

alien so employed and no penalty attaches to him in or of some subdivision thereof, by an employer of electors, or native-born citizens of the United States, than thirty days. one hundred dollars and imprisonment for not less ship is made punishable by a fine of not less than by an employee as to his or her nativity or citizenprisonment for not less than thirty days, by fine of not less than one hundred dollars and imof employers are made misdemeanors and punishable consequence of his employment. labor who employs at any one time more than five twenty per cent of persons who are not qualified Section 3, any misrepresentation or false persons, is not made an offense on the part of the By Section 2, violations of the Act on the part The employment of more than statement and by

subject of Empire the of Austria; that he is employed by the fendantde Truax in a restaurant kept by The complainant alleges that he is a native and

that the said defendant is willing and anxious to defendant has in his employ more than five persons; of the laws which is guaranteed under the Fourteenth States in that it denies to him the equal protection the complainant under the Constitution of the United that the Act in question is violative of the rights of irreparable injury on account of his discharge, and ant from his employ, he, the complainant, will suffer prosecution under said Act to discharge the complainthat if the defendant prosecute the said defendant under the Act aforesaid; County Attorney of said Cochise County, threaten to Attorney General of the State of Arizona, and the retain the complainant in his employ but that the the defendant Truax at Bisbee, Arizona; that the the jurisdiction Amendment to all persons submitting themselves to whether citizens or aliens. and laws Truax shall be compelled by of the United States,

On behalf of the State of Arizona, it is avowed by the Attorney General that the law in question will be enforced against all persons within its borders and that it is a valid exercise of the police powers of the State.

ness and acquire and enjoy property; that they should have like access to the courts of the country for the protection of their persons and property, the prevention and redress of wrongs, and the enforcement of contracts; that no impediment should be interposed to the pursuits of any one, except as applied to the same pursuits by others under like circumstances; that no greater burdens should be laid upon one than are laid upon others in the same calling and condition. ...... and the rights of the complainant are not less because they are aliens and subjects of the Emperor of China."

The Constitution of California, adopted in 1879, contained a provision prohibiting any corporation from employing directly or indirectly any Chinese or Mongolians in any capacity, and the validity of this provision was attacked in the case of In Re Tiburcio Parrot, 1 Feb. 481, and the Court there held, "That the provision was in violation both of the Constitution and laws of the United States and the Treaty between the United States and the Empire of China", And added that:

"In our country, hostile and discriminating legis-

We think that the Act in question denies to the complainant the equal protection of the laws and is, therefore, in violation of the Fourteenth Amendment to the Constitution of the United States, and is void.

In the case of Yick Wo vs. Hopkins, 118 U.S 356, the Supreme Court of the United State said:

rivation of life and liberty or arbitrary spoliation of color or nationality, and the equal protection of the diction, without regard to any differences of race, of its laws'. any person within its jurisdiction the equal protection or property without due process of law, nor deny to sons should be equally entitled to pursue their happiment of their personal and civil rights; intended not only that there should no arbitrary deplaws is a pledge of the protection of equal laws. application to all persons within the territorial jurisis not confined to the protection of citizens. be given to all under like circumstances in the enjoyproperty, but that equal protection and security should 'nor shall any state deprive any person of life, liberty ..... The Fourteenth Amendment was "The Fourteenth Amendment to the Constitution These provisions are universal in their that all perundoubtedly

lation by a state against persons of any class, sect, creed or nation, in whatever form it may be expressed, is forbidden by the Fourteenth Amendment of the Constitution."

In the same case the opinion of Mr. Justice Swayne of the United States Supreme Court was quoted with approval that

"Labor is property, and, as such, merits protection. The right to make it available is next in importance to the right of life and liberty. It lies, to a large extent, at the foundation of most other forms of property."

In the case of In Re Ah Chong, 2 Fed. 733, the constitutionality of a law enacted by the State of California prohibiting aliens who were incapable of becoming qualified electors from fishing in the waters of the state was called in question and the law was declared to be in violation of the Fourteenth Amendment of the Constitution and void.

In the case of Fraser vs. McConway & Torley Co., 82 Fed. 257, the United States Circuit Court for the District of Pennsylvania, in construing an Act of the Assembly of the State of Pennsylvania, approved

the 15th day of June, 1897, which provides:

defraying the general expenses of the city governshall be of schools in said districts; the other half of said tax districts of each county, in proportion to the number tax to be distributed among the respective school as may be employed, which tax shall be paid into each of such foreign born unnaturalized male persons hereby taxed at the rate of three cents per day for age within this commonwealth, naturalized male rations employing one or more foreign born unrespective county treasuries; one-half of which "That all persons, firms, associations or corpoused by the proper county authorities for persons over twenty-one years of shall be and are

"That all persons, firms, associations and corporations shall have the right to deduct the amount of the tax provided for in this act from the wages of any and all employees, for the use of the proper county and school district as aforesaid."

"It will be perceived that this statute, (Section 1977 of the Revised Statutes of the United States) following in this regard the constitutional provisions

sons over 21 years of age. The act is hostile to and the pursuit by them of their lawful avocations obstadiscriminates against such persons. sons. Evidently, the act is against and confined to a particular class of perdent of the state of Pennsylvania, and whose right is, and since about April 27, 1893, has been, a resithe present plaintiff, who, although a British subject, the fourteenth amendment embraces the cases of in the state of California. There can be no doubt that embraced subjects of the emperor of China residing tained in the fourteenth amendment to the constitution there decided that the guaranties of protection contion of these constitutional provisions with respect to United States. The question of the extent of the applicathemselves, embraces within its protection not citizens employment of foreign-born unnaturalized male perby treaty between the United States and Great Britain. to reside within the United States is secured to him Hopkins, 118 U.S. 356, 359, 6 Sup. Ct. 1064, and it was persons was before the supreme court in Yick Wo v. merely, but all 'persons' within the jurisdiction of the The tax is of an unusual character, and is directed intended to hinder It interposes to

cles to which others, under like circumstances, are not subjected. It imposes upon these persons burdens which are not laid upon others in the same calling and condition. The tax is an arbitrary deduction from the daily wages of a particular class of persons. Now, the equal protection of the laws declared by the fourteenth amendment to the constitution secures to each person within the jurisdiction of a state exemption from any burdens or charges other than such as are equally laid upon all others under like circumstances." In conclusion the Court says:

"I am of the opinion that the act of assembly of the state of Pennsylvania of June 15th, 1897, here in question, is in conflict with the constitution and laws of the United States, and cannot be sustained. The demurrer to the bill of complaint is therefore overruled."

Legislative enactments in several of the different states limiting or restricting the rights of aliens therein have been tested in the State Supreme Courts and held to be violative of the Fourteenth Amendment to the Constitution of the United States and void.

In the case of State v. Montgomery, 47 Atlantic 165, decided May 28, 1900, by the Supreme Judicial Court of Maine, the constitutionality of Section 2, c. 298 of the Laws of 1889, as amended by chapters 282 and 306 of the Laws of 1893, was attacked. This statute relates to hawkers and peddlers, Section 1 thereof prohibiting the peddling of certain named classes of goods and chattels until the peddler shall have procured a license to do so, and said Section 2 providing that:

"The secretary of state shall grant a licence" for peddling "to any citizen of the United States who files in his office a certificate signed by the mayor of a city, or by the majority of the selectment of a town, stating to the best of their knowledge and belief that the applicant therein named is of good moral character; but such license shall be granted to no other person."

Under said Section 2, it follows that a citizen could obtain a hawker's or peddler's license, but an alien could not. The Court, in an opinion reflecting exhaustive research on the question of constitutionality of enactments of this ilk, and after citing numerous

decisions in support of the court's opinion that legislation of this category is obnoxious to the Fourteenth Amendment to the Constitution of the United States, says:

1S a States may be licensed, and that aliens shall not be, license, and which provides that citizens of the United alien within our jurisdiction to pursue a business ocof an occupation open to citizens, which is more than upon the alien. It does more than impose unequal burdens and charges teenth amendment, we are compelled to conclude that ter or habits, or as harmful to society, but against as paupers, as intemperate, as disqualified by characdiscrimination is not against a class, as criminals, police power of the state. It must be noticed that the tion be sustained as a constitutional exercise of the terms with the citizens. ..... Nor can this discriminacupation, and to acquire and enjoy property on equal statute discrimination in burdens. It does not permit the an unconstitutional discrimination against aliens. "In the light of those interpretations of the fourdenial of the 'equal protection of the laws'. It which It absolutely denies him the privilege forbids peddling except under a

a class solely as aliens. Such a discrimination is forbidden."

In the case of Templar v. Michigan State Board of Examiners of Barbers, 90 N.W. 1058, the Supreme Court of the State of Michigan held that Act No. 212, Pub. Acts 1899, Par. 5, was repugnant to the four-teenth amendment to the Constitution of the United States as denying equal protection of the law in so far as it discriminates on account of citizenship.

Said Act provides for the examination and licensing of barbers. After designating various points upon which the applicant for the license is to be examined, etc., the Act further provides that "no person so examined shall receive such certificate who at the time of such examination is an alien."

In that case the Attorney General contended that under the police power the legislature was vested with the right of regulating the professions, trades and callings, and that said Par. 5 of said Act, even if it should result in excluding aliens from privileges enjoyed by citizens, was still within the purview of the legitimate exercise of the police power. The court, in dealing with this contention, quoted the

#### rule:

"When legislation applies to particular bodies or associations, imposing upon them additional liabilities and restrictions, under the police power of the state, which are not purely arbitrary, the law does not violate the equal protection clause of Section 1 of the fourteenth amendment to the federal constitution, if all persons brought under its influence are treated alike, under the same conditions and circumstances."

in Michigan. In the exercise of police power the the plaintiff had the undoubted right to ply his trade circumstances. are not treated alike, under the same conditions and persons brought under the influence of this legislation enactment (meaning said Act No. 212) legislature had the undoubted right to require as a would have the right to exclude alien labor wholly. make that the only requirement. citizenship? If it had the right to couple that with to an examination. prerequisite to his plying his trade, that he submit "But", said the Court' "the difficulty with this requirement, it would have the same right to Before the enactment of this statute But had it the right to require In other words, it is that all

..... But in the present case, the relator's business is in no way injurious to the morals, the health or even the convenience of the community, provided only he has the requisite knowledge upon the subjects prescribed by the legislature to practice his calling without endangering the health of his patrons. To hold that he is not entitled to practice this calling, because not a full citizen of the United States, is to deny him rights which we think are preserved by the four-teenth amendment."

In Ex Parte Case, 116 Pacific 1037, it was held by the Supreme Court of the State of Idaho that Section 1458 of the Rev. Codes of Idaho is repugnant to the Constitution and laws of the United States and void. Said Section 1458 provides:

"It shall hereafter be unlawful for any county government, or municipal or private corporation organized under the laws of the State or organized under the laws of another state or territory or in a foreign country and doing business in this state, to give employment in any way to any alien who has failed, neglected or refused, prior to the time such employment is given, to become naturalized or to

declare his intention to become a citizen of the United States."

In that case the complaint charged that petitioner, the superintendent of a private corporation, "knowingly gave employment to four aliens, regardless of the character of the work upon which they were employed." After citing the cases of Yick Wo v. Hopkins, 118 U.S. 356, supra, Fraser v. McConway, 82 Fed. 257, supra, and In Re Tiburcio Parrott, 1 Fed. 481, in support of the doctrine that "all persons within the territorial jurisdiction of the United States are within the protection of the fourteenth amendment of the Constitution, without regard to differences of race, color, or nationality," the Court said:

"A state Legislature by legislative enactment or otherwise has no authority to deprive a person of the right to labor at any legitimate business or to deny any person within the jurisdiction of the United States the equal protection of the laws, or to prohibit a corporation that has a right to do business in the state to employ any person, whether alien or native, in the prosecution of any legitimate business."

In Ex Parts Kubach, 24 Pacific 737, the uncon-

stitutionality of the so-called "eight-hour" ordinance, which had been adopted by the City of Los Angeles, California, was determined by the Supreme Court of California.

Section 3 of said ordinance provided that "It shall be unlawful for any contractor by himself or through another, when having labor performed under any contract with the City, to employ Chinese labor thereon."

In referring to this ordinance, the Court used this language:

"It is claimed in support of the petition that this ordinance was unconstitutional and void. We think this objection is well taken. It is simply an attempt to prevent certain parties from employing others in a lawful business and paying them for their services, and is a direct infringement of the right of such persons to make and enforce their contracts."

In the case of City of Chicago v. Hulbert, et al., 68 N.E. 766, the question of constitutionality was raised against Hurd's Rev. St. 1901, p. 141, c. 6, par. 10, which provides that "It shall be unlawful for any ..... officer ..... acting for ..... any city ..... or any

subcontractor, under any or either of said municipalities, to employ any person or persons, other than native-born or naturalized citizens, or those who have in good faith declared their intentions to become citizens of the United States, when such employees are to be paid, in whole or in part, directly or indirectly, out of any funds raised by taxation."

The Supreme Court of Illinois in that case, holding said C. 6, par. 10, unconstitutional, speaking through Justice Ricke, said:

"A similar law was enacted by ordinance in the City of Chicago, and we have repeatedly held that such law is invalid, as it is in contravention to the constitution and the right of individuals to contract. The statute in question is void upon the same grounds, and neither the City nor the contractor was under any obligation to observe it."

So, also, in the case of People v. Warren, 34 N.Y. Supp. 942, Laws 1870, c. 385 par. 2, as amended by Laws 1894, c. 622, which made it a crime for a contractor with a municipal corporation for the construction of public works to employ an alien as laborer on said works, was held to be void on the grounds,

among others, that it was violative of the treaty between the United States and the King of Italy, which provides that Italians resident in the United States shall enjoy the same rights and privileges as are secured to our own citizens, and that it was abrogative of rights, privileges and immunities guaranteed by the Fourteen Amendment to the Constitution of the United States.

The discrimination against aliens wrought by the said Act cannot be upheld as valid on the ground that it is a valid exercise of police regulation.

Judge Cooley, in his work on Constitutional Limitations 5th Ed. p. 745, in comprehensive yet succinct language, covers the entire domain of this particular contention: He says,

"The General rule undoubtedly is that any person is at liberty to pursue any lawful calling, and to do so in his own way, not encroaching upon the rights of others. This right cannot be taken away. It is not competent, therefore, to forbid any person, or class of persons, whether citizens or resident aliens, offering their services in lawful business, or to subject others to penalties for employing them. But here, as

integrity is of vital importance, it may be proper to and manufactories is commonly and ought always to is true of young children, whose employment in mines would be open to no reasonable objection. The same impropriety and forbidding women engaging in them improper for females, and regulations recognizing the ments, for example, may be admissible for males and class by leaving them open to others. circumstances to inhibit employments to some one elsewhere, it is proper to recognize treat as privileges merely, and to refuse the license to follow them to any who are not reputable." regulated. the nature of things, and under some And some employments, the distinctions Some employin which

The case of The People of the State of New York v. Crane, decided by the Supreme Court, Appellate Division, of the State of New York December, 1914, not yet published, involved the validity of that portion of Section 14 of the Labor Law of said State, which is as follows:

"In the construction of public works by the State or a Municipality or by persons contracting with the State or such Municipality, only citizens of the United

States shall be employed; and in all cases where laborers are employed on any such public work, preference shall be given to citizens of the State of New York", a violation of which Act is made a misdemeanor.

In that case the Court said:

of Manhattan for the construction of a catch basin of a misdemeanor for violation of the statute in that that in order to find such an Act invalid upon conof the Legislature is not to be lightly declared, and it is that feature of the Act to which we shall cipality, of any except citizens of the United States, of work, under contracts with the State or a Muniemployment by persons engaged in the performance particular provision of the Act above quoted which in connection with the public sewer system. ..... The a contract executed by the President of the Borough discussion by conceding, as is strongly urged upon direct our attention, and we shall commence our has been discussed at bar is that which forbids the he employed aliens as laborers in the performance of by the respondents, that the invalidity of an Act "The appellant Clarence A. Crane was convicted

tion of the United States which reads as follows: specific constitutional provision which is claimed to stitutional grounds some definite provision must be of citizens, but that its provisions are universal in that the amendment is not confined to the protection the equal protection of the law.' It is settled law of law, nor deny to any person within its jurisdiction person of life, liberty or property without due process of the United States, nor shall any State deprive any abridge the privileges and immunities of the citizens 'No state shall make or enforce any law which shall portion of the Fourteenth Amendment of the Constituhave been violated by the Act in question is that which the questioned enactment is at variance. found in the fundamental and paramount law with jurisdiction, without regard to any difference of race, their application to all persons with in the territorial aliens, as well as to citizens, protection of the laws is equivalent to a pledge of or color or of nationality, and the promise of equal protection of equal laws. to extend to the right to contract, to pursue The rights thus secured to resident have been repeatedly (Yick Wo v. Hopkins, The

that no impediments should be interposed to the lawful callings, and to follow ordinary avocations, within which it is to operate, shall be treated the objects to which it is directed, or by the territory like circumstances', and again in Hayes v. Missouri other persons or class in the same place and under the same protection of the laws which is enjoyed by that: 'No person or class of persons shall be denied the same court in Missouri v. Lewis (101 U.S. 22) (Barbier v. Connelly, 113 U.S. 27). same pursuits of others under like circumstances pursuits of any one, except such as are applied to the and non-alienage so far as concerns the right to enjoy resident aliens, based solely upon the fact of alienage posed.' Hence it may be said to be as firmly estabthat all persons subject to legislation limited discrimination Amendment of the Federal Constitution was to forbid one of the purposes and effects of the Fourteenth lished as is any principle the privileges conferred and in the limitations imunder like circumstances and consideration both in (120 U.S. 68): "The Fourteenth Amendment requires by any State between of constitutional law that It was said by citizens and

the constitutional guarantee.' (People v. Williams, of that freedom by the Legislature is an invasion of flict with the Fourteenth Amendment...... the State, employment of aliens upon all public works within requires no argument to establish. consideration is frankly and baldly discriminatory 189 N.Y. 13). and any arbitrary distinction against or deprivation the uttermost freedom to pursue his chosen pursuit lawful employment in a lawful manner. He enjoys tions protect every citizen in the right to pursue any provisions of the State and of the Federal Constitutracting to render service and perform labor. guaranteed to every individual is that of freely conequal protection of the laws. life, liberty and the pursuit of happiness, and the On its face it appears to be directly in for no other reason than that they are That the statutory provision now under Among the rights It forbids the The, con-

"It is sought to sustain the act as an exercise by the State of the police power, that well recognized but not easily defined power under which the State may and often does restrict the liberty of the individual for the safety and protection of the community.

It is not easy, nor is it necessary to attempt, to nation as to what is a proper exercise of its police upon lawful occupations. Legislature may not, under the guise of protecting object of police regulation. discernible relation between it and some legitimate justified under the police power unless there be some invades personal rights or private property cannot be power may be exercised. Consequently an Act which of the purposes for the attainment of which the police nection between the terms of the enactment and some there must appear to be some obvious and real conto justify an Act as an exercise of the police power and good order, but it is well recognized that in order enactments as are deemed necessary for the protecpower, but it may be said generally to authorize such precisely define the scope and limitations of the police business or impose unusual or unnecessary restrictions the public interests, arbitrarily interfere with private statute can be upheld as a valid exercise of the police tion of society and to guard its morals, safety, health It was said in Colon v. Lish (153 N.Y. 188): power is also a proper subject for judicial inquiry. In other words, its determi-Whether or not any

power is not final or conclusive, but is subject to the supervisions of the Courts. (Lawton v. Steele, 152 U.S. 133, 137)......

"It seems to be quite clear that the provision of the Labor Law now under consideration cannot be upheld on this ground......

solution of what is purely a legal question. as to the dire results that might be expected from others dealing with somewhat far-fetched suppositions dealing with the sociological aspects of the case, and are violative of the Fourteenth Amendment of the 14 of the Labor Law quoted earlier in this opinion gaged in war with some foreign country. the employment of aliens in constructing the subways ing legislation of this character. In view of the contries which, it is claimed, expressly forbid discriminattreaties between the United States and foreign coun-Our attention has been called to the text of numerous Constitution of the United States and therefore void. conclusion therefore is that the provisions of Section ments, in our opinion, afford no assistance in the in case this country should ever, unhappily, be en-"We have heard and considered various arguments Such argu-0ur

clusion we have reached upon the constitutional question, it is unnecessary to discuss any question arising under these treaties......

"It seems to be conceded by all of the respondents that it would be incompetent for the Legislature to impose upon private persons or corporations not engaged in performing public work, such restrictions as are attempted to be imposed upon the City of New York as an arm of the State."

In this case the judgment of conviction against the defendant Crane was reversed and the defendant discharged.

In the case at bar the law in question is evidently not intended to be, and is not, a regulation within the police powers of the State. If, under the guise of enacting a police regulation, the state can prohibit an employer from hiring more than twenty per cent of alien laborers, it can prohibit an employment of five per cent, and if it can prohibit the empolyment of more than five per cent aliens, it can prohibit employment of any aliens at all, and thus, under the guise of enacting a police regulation, nullify the Fourteenth Amendment to the Constitution of the

United States as interpreted by the Supreme Court of the United States.

The bill is filed by the complainant in his own behalf and on behalf of all others similarly situated under Equity Rule 38, providing that:

"When the question is one of common or general interest to many persons constituting a class so numerous as to make it impracticable to bring them all before the court, one or more may sue or defend for the whole."

But, manifestly, this rule does not apply to the case at bar, and therefore, under the facts stated in the bill, the complainant cannot invoke this rule to sue as representing a class. As was recently said by the Supreme Court of the United States in the case of McCabe v. A.T. & S.F. Ry. Co., (not yet published):

"The complainant cannot succeed because some one else may be hurt. Nor does it make any difference that other persons, who may be injured, are of the same race or occupation. It is the fact, clearly established, of injury to the complainant—not to others—which justifies judicial intervention." See also Scott v. Donald, 165 U.S. 107; and Engel v. O'Malley,

219 U.S. 128.

Under Section 24 of the Judicial Code, and the rule laid down by Judge Morrow in the case of Simpron, et al. v. Geary, et al., 204 Fed. 507, we hold an allegation of the amount in controversy is not necessary to give this court jurisdiction in this case.

every man within the territorial jurisdiction is entithat he has no legal rights. for damages. law and he cannot secure them in any action at law ings that have been or can be instituted under this in a court of equity he cannot secure them at all for sense secure or require that his legal rights be detercan he be heard therein, nor can he be in any legal ceeding, nor can he be made a party thereto; nor complainant is not a party to any such criminal procomplainant in the case at bar, is untenable. means of determining judicially the rights of the he is powerless to secure them in any legal proceedmined therein. respondent Truax in the state courts will afford ample the institution of a criminal proceeding against the We think the position taken by respondents that It cannot be successfully contended If he cannot secure his legal rights It is axiomatic that The

tled to his day in court. This complainant can have no day in court save in a court of equity.

The general doctrine that a court of equity will not restrain the prosecution of criminal cases is well settled, but it is subject to the exception laid down in Ex Parte Young, 209 U.S. 123, that

"When such an indictment or proceeding is brought to enforce an alleged unconstitutional statute, which is the subject matter of inquiry in a suit already pending in a federal court, the latter court, having first obtained jurisdiction over the subject matter, has the right in both civil and criminal cases to hold and maintain such jurisdiction, to the exclusion of all other courts, until its duty is fully performed."

"It would seem that, if there were jurisdiction in a court of equity to enjoin the invasion of property rights through the instrumentality of an unconstitutional law, that jurisdiction would not be ousted by the fact that the state had chosen to assert its powers to enforce such law by indictment or other criminal proceedings." Davis v. Farnum, 189 U.S. 207-218.

The Circuit Court of Appeals of the Ninth Circuit

has also held that a court of equity has jurisdiction of a suit to enjoin the enforcement of a statute which affects property rights, although its violation is punishable as a criminal offense. Little v. Tanner, 208 Fed. 605-609.

In the case at bar the court acquired jurisdiction before any criminal proceedings were instituted against the defendant Truax and should under the rule in Ex Parte Young Case, supra, maintain its jurisdiction to the exclusion of all criminal proceedings instituted against Truax in the state courts.

Counsel for respondents have urged with some emphasis that this cause should not be heard before this tribunal, but that the interpretation and determination of the questions involved should be left to the State courts. In this connection, it is pertinent to observe that this case involves the construction of an amendment to the constitution of the State of Arizona, and that at the time of the filing of the bill herein the Supreme Court of the State had not passed upon or construed the amendment, nor was there pending in any court of said State any proceeding or action involving the validity of the same. In Burges

v. Seligman, 107 U.S. 20-33, the Supreme Court said:

sarily happens that by the course of their decisions the law is carried on by the State Courts, it necesand deference. inconvenient but for the exercise of mutual respect is peculiar, and the results would be of two co-ordinate jurisdictions in the same territory the meaning and effect of those laws. and are bound to exercise their own judgment as to with, and not subordinate to, that of the State Courts, tion in the administration of State laws, co-ordinate by the Federal courts, no less than by the State estate and the construction of State constitutions and effect of law, and which it would be wrong to disturb. property and action in the State, and have all the certain rules are established which become rules of thus settled, it is the right and duty of the what the law is. This is especially true with regard to the law of real courts to exercise their own judgment; as they always "The Federal courts have an independent jurisdicthemselves, as authoritative declarations of Such established rules are always regarded Since the ordinary administration of But where the law has not been anomalous and The existence Federal

do in reference to the doctrines or commercial law and general jurisprudence. So when contracts and transactions have been entered into, and rights have accrued whereon under a particular state of the decisions, or when no there has been no decision, of the State tribunals, the Federal courts properly claim the right to adopt their own interpretation of the law applicable to the case, although a different interpretation may be adopted by the State courts after such rights have accrued."

It cannot be gainsaid that this complainant had the right of election of a forum, in which to have his rights adjudicated. Having elected to bring his cause before this tribunal, it is the duty of this Court to hear the application and determine the issues involved. The rule to be followed by the Federal courts in cases of this character is clearly laid down by the Supreme Court of the United States in the case of Cohens v. Virginia, 19 U.S. 264-403:

"It is most true, that this court will not take jurisdiction if it should not; but it is equally true, that it must take jurisdiction, if it should. The judiciary cannot, as the legislature may, avoid a measure,

because it approaches the confines of the constitution. We cannot pass it by, because it is doubtful. With whatever doubts, with whatever difficulties, a case may be attended, we must decide it, if it be brought before us. We have no right to decline the exercise of jurisdiction which is given, than to usurp that which is not given. The one or the other would be treason to the constitution. Questions may occur, which we would gladly avoid; but we cannot avoid them. All we can do is, to exercise our best judgment, and conscientiously to perform our duty."

For these reasons the motion to dismiss this bill is denied and the application for an interlocutory injunction is granted.

二五 一月二十二日 加藤外務大臣宛 在桑港沼野総領事代理ヨリ

ニア・アウトルック」誌社説切抜送付ノ件州外国人土地法ハ違憲ニ非スト論スル「カリフォル「アリゾナ」外国雇傭制限法違憲ノ判決ニ関聯シ加

附属書 右社説摘訳

.

米国ニ於ケル排日問題雑件

二五

公第二七号

(二月十二日接受)

大正四年一月二十二日

在桑港

総領事代理 沼野安太郎(

外務大臣男爵 加藤高明殿

### 附属書

一、「カリホルニア・アウトルック」誌切抜

一部及右摘訳 一部

は 切抜ヲ省略ス 本信写発送先 在※

在米大使

### (附屬書)

摘訳「カリフォルニア・アウトルック」一月十六日号社説

外国人勞働法(一九一五年一月十六日

カリフォルニア・アウトルック)

法ハ被傭者五人以上ヲ有スル者ハ其内二割以上外国人ヲ使 結果トシテ其州ニ現ニ在住スル多數ノ者ノ雇傭ヲ禁スルコ 外国人ニ對シ合衆国憲法ニ依リ保障セラレタル權利ヲ拒否 用スルヲ得スト爲スモノナリ若シ右二割法ニシテ正當ナリ 過セシメントスル運動ハ自然中止セラルベシ 爲スノ判決アリタル テ各州ニ屬セス ザルヲ得サルニ至ルベク然ラサレハ之ヲ排斥放逐スルコト ヲ認許スルニ歸着スヘシ然ルニ放逐ノ權ハ中央政府ニ存シ スルモノナリト判決セリ實ニ又此種ノ法律ハ現實ノ經濟的 シ Federal Court ハ審理ノ結果凡ソ斯ノ如キ法律ハ在留 「アリゾナ」 ト爲り從テ是等失業者ハ公共ノ慈善ニ依リテ之ヲ扶助セ セバー割法乃至外国人雇傭ヲ全然禁止スル法律亦然ルベ 州外国人雇傭制限法ハ合衆国憲法違反ナリト 爲加州議會ニ於テ是ト同様ノ法案ヲ诵 「アリゾナ」

ン然レトモ兩法へ毫モ類似點無シ勞働及生活ノ權利へ州法国人土地法ニモ適用セラレ得ヘキヤ否ヤノ問題起レルカ如諸種ノ報道ヲ見ルニ「アリゾナ」法ニ對スル判決ハ加州外

二根リ否認スルヲ得サルモ土地所有權へ生活上必須ノモノニ依リ否認スルヲ得サルモ土地所有權へ生活上必須ノモノニを別の人工地所有禁止法へ往古ヨリ總テノ国家ニ認メラレ又現在合衆国内多數ノ州ニ之ヲ有シ合衆国法規ニモ之ヲ存ス故ニ各州カ外国人ノ土地所有ヲ禁シ又へ制限スルノ權ヲ有スルハ国内法上及国際法上既ニ確定セルモノナリ之ニ反シ各州ニ外国人ノ雇傭勞働ヲ禁スルノ權アリヤニ至リテハ未ダ確定セラルタルニ非ス而シテ是レ各州ニ於テ外国人ヲ放逐シ又ハ饑戦ニ陷ラシムル權利アリト認メラレタルニ非サレバ確定スルヲ得サルモノナリ外国人ヲ饑餓ニ陥ラシムル權利ナルモノナク又外国人放逐ノ權利ハ合衆国政府ニ保留スル所ニシノナク又外国人放逐ノ權利ハ合衆国政府ニ保留スル所ニシノナク又外国人放逐ノ權利ハ合衆国政府ニ保留スル所ニシテ各州ノ權内ニ屬セス

# 二六 一月二十三日 在ポートランド熊崎領事宛(電報)

# ル決議案ノ趣意等ニ付問合ノ件「オレゴン」下院提出ノ外国人財産権ニ関ス

第一号

中ヨリ削リ併セテ東洋人ノ財産権ヲモ奪ハントスルノ趣意貴電第八号決議案ハ白人種外国人ノ一般財産権保障ヲ憲法

機電報アレナリヤ右決議案ニ掲ケラレタル修正理由並ニ本案提出ノ動

二七 一月二十三日 在ポートランド熊崎領事宛(電報)

禁止法案ノ内容ニ付問合ノ件「アイダホ」州下院通過ノ外国人不動産所有

第二号

所有ヲ禁セントスル理由御査報アレの有ヲ禁セントスル理由御査報アレ、相続ニヨル土地ニ関シャ又新聞電報ニヨレハ帰化資格ヲ以テ土地所有権ノ有無ヲヤ又新聞電報ニヨレハ帰化資格ヲ以テ土地所有権ノ有無ヲヤ又新聞電報ニヨレハ帰化資格ヲ以テ土地所有権ノ有無ヲウミ第一帰化証ノ有無ヲ以テ区別ヲ立ツルモノナリヤ或責電第七号土地法案ハ債権執行又ハ相続ニヨル土地ニ関シ

二八 一月二十三日 加藤外務大臣宛(電報)

『アイダホ』州外国人不動産所有禁止法案ノ

第九号

米国ニ於ケル排日問題雑件

二七

二八

要点回電ノ件

Substance Idaho land bill. Civil Code amended by adding new Section 2609 as follows:—

Title to real property other than mineral lands or such as necessary for working mines cannot be acquired by:

- Person not citizen or not declared intention become such,
- 2. Association, corporation (except railway corporation) whose majority members not citizens or persons declared intention or whose majority capital stock not owned by citizens or persons declared intention.

Provided however this section shall not prevent holders (whether aliens or non-residents, association or corporation) of liens upon real estate or interest therein heretofore or hereafter acquired from holding or taking valid title in enforcement of lien nor prevent lien holder from enforcing lien now existing or hereafter created from becoming purchaser at sale for collecting or enforcing nor prevent widows or heirs being aliens or not declared intention from holding land by inheritance

but lands acquired by default estate escheat to State within five years after title perfected and in this proviso be sold

大使ニ電済ミ

Kumazaki

二九 一月二十三日 加藤外務大臣宛(電報)在ポートランド熊崎領事ヨリ

## 「アイダホ」 州外国人不動産所有禁止法案ニ

## 関シ回報ノ件

社説ヲ掲ケタリ本案ガ特ニ日本人ヲ目的トスル証左ト為ス 現ニ「アイダホ・ステーツマン」新聞ハ実害モナキニ外国 本案ヲ提出シタリト云フニ在リ特ニ実質的理由ナキカ如シ 法改正後間モナク今回ノ提案アル理由ニ付テハ各種ノ報道 貴電第二号ニ関シ什法案ハ別電第九号ノ通リ日一昨年土地 争ノ地位ニ在リ加州政事家ニ倣ヒ労働者ノ歓心ヲ得ント 案ヲ出シタル ヲ通過セル事情其他引続キ取調中巨大要左ノ如シ本案ノ ヘキ事実州会ニ於ケル言論等及殆ント満場一致ヲ以テ下院 ヲ綜合スルニ提案者「アンダーソン」ハ一昨年土地法改正 ノ土地所有ヲ禁スルハ州 Shatuck ト同地域ヨリ新選セラレ同氏ト競 ノ発達ヲ害ストテ同案ニ反対ノ 運 シ

> 日本人及拙電第六号「オースチン」ニ依頼シ居レリ更ニ完 下院ヲ通過セル結果面白カラサル影響アルヘキヲ憂フト云 三百弗御支出ヲ請フ 分ノ内同地ニ派駐セシメタク右費用並一般機密費ト ニ差支アルニ付当地在留日本人中ヨリ相当ナル者ヲ選ヒ当 全十分ヲ期スル為ニハ館員ヲ派シタキモ斯クテハ当地館務 フニー致ス四目下当館ト 命ニ付テハ「アイダホ」情報ハ多分通過セサル見込ナル 「アイダホ」トノ連絡ハ同州在留 シテ金

大使へ電報ス

## Ē 一月二十三日 加藤外務大臣宛(電報)在ポートランド熊崎領事コ

## ル決議案ノ趣意動機等答申ノ件 「オレゴン」下院提出ノ外国人財産権ニ関ス

同日熊崎領事発加藤外務大臣宛電報第一二号 右決議案ノ内容

### 第一一号

貴電第一号ニ関シ左ノ通リ答申 ス

東洋人ヲ目的トシタル点ナキモ皈化ヲ以テ本案ノ制限ヲ免 カルルー条件トシタルハ東洋人ヲ一層不利ノ地位ニ立タシ ⊖決議案ノ内容ハ別電ノ通ニテ一般外国人ヲ目的ト シ特ニ

人ヲ目的ト ル結果ト ナル スルモ 然レ ノナル トモ本案ノ旨趣ハ東洋人ヨリ ハ次項引証ノ演説ニ ヨリ ノモ寧ロ欧 /察シ得

代ヲ持去ル故ニアリト 此程某所ニ於テ演説ノ際不景気ハ外国人カ土地ヲ買占メ地 ヲ力説シタルモ東洋人ニハ一切言及セサリシ由ナリ ナキモ提案者トー体同心ナル ク直チニ委員附託トナリタル 口決議案ニハ 提出理由記載ナク又提議シタル際特ニ説明 シ英独人ノ例ヲ挙ケ本案立法ノ必要 ニ付別ニ公表セラレタル理由 Uren(拙電第五号参照)ハ ナ

第一二号ノ通リ所謂排日土地案トハ趣ヲ異ニス尚本案ニ付 往々奇矯ナル提案ヲナスモノナルニ付本案モ其一ナルヘク 是迄ノ所排日論者ノ使嗾等之無カ如シ又法案ノ要旨モ別電 案者等ハ既電ノ通単税論ヲ以テ立チ政界ノ変リ物ト目 本案成立ハ困難ナルヘシト存スルモ引続キ注意中 日本案提出ノ動機ハ確知シ難キ内探ノ結果ヲ綜合スル ニ於ケル外国人関係ノ「インテレスト」ハ重大ナル ハ其後モ新聞紙記事ナク依然注意ヲ惹カス ク本案ニ付日本人側ヨリ事ヲ荒立ツル カ目下在留日本人間ニモ問題トナリ居ラス尚当 ハ極 メ テ不 っ付 サレ =

> **| 知州会ノ情況ニ就テハ往電第五号所載ノ** 大使へ電報ス ニ奉職シ居ルニ付同氏ヨリ内報ヲ受ケ居レリ御含迄 Miller 氏弟州 庁

### 別

宛(電報) 一月二十三日 在ポー トランド熊崎領事発加藤外務大臣

関スル決議案ノ内容 「オレゴン」州下院ニ提出ノ外国人財産権

### 第一二号

二十一歳以下ノ場合ハ二十一歳ニ達シタル時ヨ リ 六 ケ 年 後土地所有権ヲ獲得シタル外国人ハ六ケ年内ニ(但外国人 manufactureノ目的ノ為二十一年ヲ越 内)之ヲ処分スルカ又ハ合衆国市民トナルニ非サレハ其土 又ハ其他ノ 地ハ州ニ没収ス第二州内居住外国人ハ ントスル決議案附属ス スル左記趣旨ノ法律ヲ千九百十六年人民投票ニヨリ制定 往電第八号州憲法改正ノ決議案ニハ外国人ノ土地所有ニ関 ノ過半数カ合衆国市民外ノモノニ属スル法人又ハ組合ハ本 不動産ヲ賃借ニ依リ占有スルヲ妨ケス第三株式 (原案長文ニ付略ス)第一本法制定 工 business サル期間ニテ土地

大使ニ電報ス

大使ニ電報ス

大使ニ電報ス

大使ニ電報ス

大使ニ電報ス

三一 一月二十三日 加藤外務大臣宛 在ポートランド熊崎領事ヨリ

『アイダホ』州下院通過ノ外国人不動産所有

禁止法案原文送付ノ件

附属書 右法案テキスト写

公第一一号

大正四年一月二十三日

(二月十八日接受)

## STATE OF IDAHO:

Section 1. Title I of the Civil Code of the State of Idaho is hereby amended by adding thereto a new section, designated as Section 2609, as follows:

Section 2609. Except as in this section provided, title to real property within this State, other than mineral lands or such as may be necessary for the actual working of mines and the reduction of the products thereof, cannot be acquired by:

- 1. A person who is not a citizen of the United States or who has not declared his intention to become such.
- 2. An association or corporation (other than a railway corporation) a majority of whose members are not citizens of the United States or persons who have declared their intention to become such, or, in the case of an association or corporation having capital stock, the majority of whose capital stock is not owned by citizens of the United States or persons who have declared their intention to become such.

Provided, however, that this section shall not prevent the holders (whether aliens or non-residents, corporations or associations) of liens upon real estate,

在ポートランド

領事 熊 崎 恭(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

右送付先 在米珍田大使提出外国人土地法案原文写別紙御参考迄及御送付候 敬具本月二十日「アイダホ」州下院ヲ通過シタル「アンダーソン」

(附屬書)

Legislature of the State of Idaho. Thirteenth Section

H.B. No. 22

IN THE HOUSE OF REPRESENTATIVES

BY ANDERSON (BONNEVILLE)

AN ACT

TO AMEND TITLE I OF THE CIVIL CODE OF THE STATE OF IDAHO BY ADDING THERETO A NEW SECTION, DESIGANATED AS SECTION 2609. REGULATING THE RIGHTS OF ALIENS, CORPORATIONS AND ASSOCIATIONS TO ACQUIRE REAL ESTATE WITHIN THE STATE OF IDAHO.

BE IT ENACTED BY THE LEGISLATURE OF THE

Idaho. and in default of such sale, within such time, such are aliens, or who have not declared their intention judgment; nor shall it prevent widows or heirs who collecting or enforcing the collection of such debt or ing a purchaser at any sale made for the purpose of or which may be hereafter created, nor from becomor judgment for any debt or liability now existing, prevent any such lien holder from enforcing any lien estate in the enforcement of such lien; nor shall it quired, from holding or taking a valid title to the real or any interest therein, heretofore or hereafter real estate shall revert and escheat to the State of fected in such alien person, association or corporation, within five years after the title thereto shall be perbut all lands acquired under this proviso, shall be sold to become citizens, from holding lands by inheritance; ac-

三二 一月二十四日 加藤外務大臣宛(電報)

院ニテ否決予想ノ件「アイダホ」州外国人不動産所有禁止法案上

第一二号

サル、見込ナリト右聞込ノ侭申進ス 「アイダホ」日本人ヨリ来電ニ依レハ土地案ハ廿五日上院 .議ニ上ル筈ナルカ砂糖会社及潅溉事業関係者ニヨリ否決 大使へ電報ス

Ξ 一月二十四 日 加藤外務大臣宛(電報) 在ポートランド熊崎領事ヨリ

院通過ノ状況及同法案ヲ不可トスル 「アイダホ」州外国人不動産所有禁止法案下 「アイダ

ホ・ステーツマン」社説報告ノ件

「アイダホ・ステー 同日熊崎領事発加藤外務大臣宛電報第 ツマン」ノ社説要領 \_\_ 四号

第一三号

動ニ勉メタルモ日本人ニ言及スルコトナカリシカ如ク新聞 米国人ノ為ノ米国ナル常套語ヲ用ヒ頻リニ愛国的感情ノ煽 様ニテ又討議ノ情況ニ関スル新聞記事ヲ見ルニ賛成者等ハ 説以外更ニ別電第一四号所載ノ社説ヲ掲ケタリ右ニ依リ察 ニ於テモ是迄ノ処前記ノ社説ヲ始メ日本人ヲ問題トナシ居 スルニ下院ニ於テ土地案ハ極メテ無造作ニ通過サレタル模 ルヲ認メス 「アイダホ 「アイダホ」日本人ヨリモ特ニ排日的迫害ア ステー ツマン」ハ往電第一〇号口末段引証社 ル

> 報道ニ接セサ ル モ其点篤ト ·注意中

劎 電)

加藤外務大臣宛(電報) 一月二十四日 在ポー ۲ ランド熊崎領事発

「アイダホ・ステー ツマン」社説要領

第一四号

第ナルカ資本家ノ投資ヲ阻止スル点ニ於テ更ニ重大ナル関 法ヲナス州ニハ畢竟善良ナル移民モ来ラサルコトトナル次 過シタルナリ米人ノ為メノ米国ナル語ハ愛国ニ似テ何等ノ 廿二日 Idaho Statesman 社説要領左ノ通リ フスルモノナリ云々大使へ電報ス 係アリ若シ上院ニシテ同案ヲ否決セバニ院制度ノ効用ヲ完 実益ナシ本件ニ関シ移民関係ノミヲ考フルハ誤ナリ斯ル立 下院ノ土地案通過ハ軽卒極マレリ同案ハ委員会ニ於テモ 々研究サレス議場ニ於テモ二三感情的演説アリシ後直ニ通

三四 「アイダホ」州外国人不動産所有禁止法案ニ 一月二十五日 在ポートランド熊崎領事宛(電報)加藤外務大臣ヨリ

関シ日本人ノ現地派駐案ハ許可シ難キ件

第四号

貴電第一○号末段ノ件ハ経費ノ都合モアリ許可シ難キニ付 様致サレタシ 在留邦人及「オー スチン」氏等トノ連絡ニョリ情報ヲ得 i

三五 一月二十五日 加藤外務大臣宛(電報)在ポートランド熊崎領事ヨリ

「アイダホ」州外国人不動産所有禁止法案上

院委員会ニ附議ノ件

附議サレ其結果我レニ有望二十六日午後更ニ会議続行ノ筈 大使へ電報ス 「アイダホ」来電ニ依レハ土地案ハ二十五日上院委員会ニ

三六 一月二十六日 加藤外務大臣宛在ポートランド熊崎領事コ

「オレゴン」州下院提出土地立法ニ関スル 決

議案原文送附ノ件

附属書一 高関スル規定ノ廃止ヲ人民投票ニ附議ノ両「オレゴン」州憲法中外国人ノ財産所有権民投票ニ附議ノ「オレゴン」州両院決議案民投票ニ附議ノ「オレゴン」州両院決議案外国人不動産所有禁止ニ関スル法律案ヲ入

米国ニ於ケ

院決議案

Ξ ニ関スル規定 「オレゴン」州憲法中外国人ノ財産所有権

公第一二号 大正四年一月二十六日

(二月十八日接受)

在ポー ランド

領事 熊 崎 印

外務大臣男爵 加藤高明殿

原文御参考迄別紙御送付候 敬具 改正及外国人土地所有禁止ニ関スル 本月十九日「オレゴン」州会下院ニ提出セ 「シ ユ 1 ラ レ ベル」決議案 夕 ル 州憲法

日付機密第二号公信御参照相成度候 地所有ニ関スル現行州法規定ノ詳細 追テ為念州憲法関係条文写添付致シ置候尚ホ外国人ノ土 ハ大正三年二月十四

附属書類「オレゴン」州立法決議案

同州憲法条文写

\_\_\_

右送付先 在米珍田大使

日本外交文書大正三年第一冊一七四文書

(附屬書一)

外國人不動産所有禁止ニ關スル法律案ヲ人民投票ニ附

六八

## 議ノ「オレゴン」州兩院決議案

## TWENTY-EIGHTH LEGISLATIVE ASSEMBLY— REGULAR SESSION

House Joint Resolution No. 3

Introduced by Mr. SCHUEBEL, and read first time January 19, 1915

Be It Resolved by the House of Representatives and the Senate of the State of Oregon:

That a bill for an Act relating to the ownership of lands in the State of Oregon by aliens and repealing all Acts and parts of Acts in conflict therewith, be submitted to the people for their approval or rejection at the regular general election in November, 1916, and be it further

Resolved, that the Secretary of State be, and he is hereby authorized and directed to set aside one page in the official pamphlet containing initiative and referendum measures to be voted upon in the year 1916 in which arguments supporting this proposed amendment may be printed, and be it further

Resolved, that a committee of two Representatives and one Senator be appointed to prepare and file with

the Secretary of State arguments in support of said Act.

### A BILL

For an Act relating to the ownership of lands in the State of Oregon by aliens, and repealing all Acts and parts of Acts in conflict therewith.

Be It Enacted by the People of the State of Oregon:

person through one or more aliens. to real estate as heir at law by descent from any no person shall be deprived of his right to take title shall descend to the heirs at law of such alien, which an alien may die seized or possessed intestate, hereafter acquired; and the title to any lands of ments, whether the same have been heretofore or be devise and convey lands, tenements and hereditadescent, and may alienate, sell, assign, ditaments, situated in this State, by deed, devise or simple, or otherwise, to lands, tenements and hereprovisions of this Act, acquire and hold title in fee compelled to trace his relationship to such deceased deceased person because he may be an alien or be Section 1. All aliens may, subject to the further incumber, and

Section 2. If any alien shall, at any time of ac-

six years from and after the time of acquiring such of the commencement of such proceeding. escheat proceedings; but such sale shall be made sale of such lands in the manner provided by law in in the circuit court for such county, to compel the said lands are situated to try such escheat proceedings the duty of the district attorney of the county in which shall escheat to the State of Oregon, and it shall be become a citizen of the United States, then such lands said six years period; or such alien shall not have devised, in case of the decease of such alien within been conveyed to bona fide purchasers for value, or of the time above limited, such lands shall not have for six years from and after the time when he shall of twenty-one years, he may hold title to the same title to lands situated in this State, be under the age title; but if any alien shall, at the time of acquiring years or upwards, he may hold title to the same for passage of this Act, quiring title to lands situated in this State, after the mortgage or other liens against said lands at the time to all incumbrances by twenty-one years of age; and if, at the end be of the age of twenty-one way of judgment,

that prior to the time that the same was commenced received for such lands at any such sale. ing twenty per centum of the amount which shall be attorney by law) as shall be reasonable, not exceedshall be in addition to the salary allowed such district costs such fees for the district attorney citizens of the United States. Said court shall tax as ing by, through or under them, are or had become proceeding, that his heirs or devisees, or those claimhas deceased prior to the commencement of such to a citizen of the United States; or, if such alien good faith by such alien, mediately or immediately, or that the title to such lands had been conveyed in such alien had become a citizen of the United States; It shall be a good defense to any such proceeding (which fees

Section 3. Any alien, if he resides within this State, may take and hold, under lease, lands and tenements for the purpose of any business, trade or manufacture, for a term not exceeding twenty-one years; an alien so taking and holding shall have like rights, remedies and exemptions touching such property as if he were a citizen of the United States.

Section 4. No corporation or association a ma-

ation or associations, not citizens of the United States, such foreclosure sale shall escheat to the State of mortgage; provided, further, that all right, title at its sale upon foreclosure of such deed of trust or ing such assignee from purchasing such real estate provided in Section 3 hereof) any real estate in this shall hereafter acquire or own or hold (except as such foreclosure sale, sell and convey, in good faith, in six years after becoming entitled to a deed under Oregon, unless such person or corporation shall, withinterest acquired by such person or corporation at person or corporation lending such money or becomnor by gift or devise or descent, nor to forbid the nor as assignee of such cestui que trust or mortgagee, loaned upon such real estate, and interest thereon, in good faith to secure the repayment of any money que trust or mortgage in any deed or mortgage taken an interest in any real estate in this State as cestui to forbid any person or corporation from acquiring that nothing contained in this Act shall be construed State acquired after the passage of this Act; provided, person or persons, corporation or corporations, associjority of whose stock is or may be owned by any or

> all or such right, title or interest to a citizen of the United States.

herewith are hereby repealed. Section 5. All Acts and parts of Acts in conflict

### (附屬書二)

定ノ廢止ヲ人民投票ニ附議ノ兩院決議案 「オレゴン」州憲法中外國人ノ財産所有權ニ關スル規

TWENTY-EIGHTH LEGISLATIVE ASSEMBLY REGULAR SESSION

House Joint Resolution No. 4

January 19, Introduced by Mr. SCHUEBEL, and read first time , 1915

of Oregon. To repeal Section 31 of Article I of the Constitution

Be It Resolved by the House of Representatives and the Senate, Jointly Concurring:

repealed, and be it further of the State of Oregon be, and the same is hereby That Section 31 of Article I of the Constitution

of Oregon be submitted to the people for their ap-Section 31 of Article I of the Constitution of the State Resolved, that the proposed question of repealing

1916, and be it further proval or rejection at the general election in the year

ing of said constitutional amendment, and be it fur-Secretary of State arguments in support of the repealand one Senator be appointed to prepare and file with Resolved, that a committee of two Representatives

repeal of said section may be printed 1916 in which arguments supporting the proposed referendum measures to be page in the official pamphlet containing initiative and Resolved, that the Secretary of State be, and he is authorized and directed to set aside one voted upon in the year

(附屬書三)

「オレゴン」州憲法中外國人ノ財産所有權ニ關スル規

CONSTITUTION OF OREGON ARTICLE I.

BILL OF RIGHTS.

RIGHTS OF WHITE

White foreigners who are or may hereafter be-WHAT IMMIGRATION MAY BE RESTRAINED. FOREIGNER—

> qualified to become citizens of the United States regulate the immigration to this state of persons not legislative assembly shall have power to restrain and descent of property as native-born citizens. And the come residents of this state shall enjoy the same rights in respect to the possession, enjoyment, and

三七 一月二十六日 加藤外務大臣宛在桑港沼野総領事代理ヨリ

決主文写及判決理由書中訂正文写送付ノ件 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法試訴事件判

附属書一 1 右訂正文写 右判決主文写

大正四年一月二十六日

公第三二号

(二月十八日接受)

在桑港

総領事代理 沼 安 太 郎 印

外務大臣男爵 加藤高明殿

判決主文謄本入手致候ニ付右写別紙甲号ノ通及送附候尚右 本月廿二日附公第二六号拙信ヲ以テ及進達置候処更ニ本件 「アリゾナ」州外国人雇傭制限法試訴事件判決理由書曩ニ

成度候 敬具書記局ヨリ該訂正文別紙乙号写ノ通追送致越候条御査閱相書記局ヨリ該訂正文別紙乙号写ノ通追送致越候条御査閱相判決理由書中訂正追加ヲ為シタリトノ趣ヲ以テ当地裁判所

#### 附属書

before the Honorable William W. Morrow, a Circuit Judge of the Ninth Circuit of the United States, and

This cause coming on regularly to be

Defendants.

Honorable William C.

Van Fleet, District Judge of

、「アリゾナ」事件判決主文写 一部

本信写送付先 珍田在米大使 不信写送付先 珍田在米大使 一部

### (附屬書一)

#### 甲岫

「アリゾナ」州外國人雇傭制限法試訴事件判決主文寫 IN THE DISTRICT COURT OF THE UNITED STATES FOR THE DISTRICT OF ARIZONA.

### MIKE RIACH,

Plaintiff,

WILLIAM TRUAX, Sr.,
WILEY E. JONES, Attorney
General of the State of
Arizona, and W.G. GILMORE,

IN EQUITY
NO. E-9
(Tucson)

County Attorney of Cochise County,

O-R-D-E-R.

Leslie E. Hardy, Esquire, Assistant Attormy General of the State of Arizona, appearing in person and by interlocutory Injunction herein, and the defendant the said State of California, and without the District entered their stipulation that said hearing be had in California, all parties to the record herein having Circuit Court of Appeals of the Ninth Circuit of the Flannigan and John F. of Arizona, upon the application of Mike Riach, the United States in the City of San Francisco, State of Code of the United States, at the Court room of under the provisions of Section 266 of the Judicial William H. Sawtelle, District Judge of the District of the Northern District of California, and his solicitors, and Wiley E. Jones, Attorney General Truax appearing by Pillsbury, Madison and Sutro complainant herein, by his solicitors, Arizona, sitting as the District Campbell, Esquire, for an Court Williams of. Honorable Arizona,

of the State of Arizona, and the Defendant William G. Gilmore appearing by the said Wiley E. Jones, Esq., and William B. Cleary, Esq., also appearing as counsel herein, and due notice of hearing of said application having been served upon the defendants, and each of them, together with George W.P. Hunt, Governor of the State of Arizona, and all parties being represented in court as aforesaid, upon argument of counsel had and the court being fully advised in the premises.

IT IS ORDERED, ADJUDGED AND DECREED:

That an interlocutory Injunction issue out of this Court directed to the defendants Wiley E. Jones, Attorney General, and W.G. Gilmore, County Attorney of Cochise County, their and each of their successors, assistants, deputies, agents and employees, restraining them and each of them from in any way or manner enforcing against said defendant Truax, or in attempting to enforce against the said defendant Truax the provisions of that certain Act initiated by the people of the State of Arizona under the provisions of the State of Arizona, and thereafter, at an election held

on the third day of November, 1914, duly adopted by sions of the aforesaid statute, or any part thereof, or force as against the said defendant Truax, the provipart thereof, and from instituting or causing to be hereby restrained and enjoined from in any way or deputies, agents and employees, and employees, and the said W.G. Gilmore, THEREOF", and the said Wiley E. STATES, IN ARIZONA AND TO PROVIDE PENALernor of the instituted any suit, prosecution or proceeding force, the provisions of the aforesaid statute, or any dant Truax or in attempting in any manner to enmanner whatsoever enforcing against the said defen-General, his successors, assistants, AGAINST "AN ACT TO PROTECT THE CITIZENS OF THE known as the "Eighty Per Cent Law" and entitled teenth day of December, 1914, declared by the Govthe people of Arizona, and thereafter, on the Attorney of Cochise County, his successors, assistants, TIES AND PUNISHMENTS FOR THE VIOLATION UNITED STATES NON-CITIZENS State of Arizona the law, commonly Z THEIR OF be and they are THE UNITED deputies, agents Jones, Attorney EMPLOYMENT County

cution already instituted against the said William from further prosecuting or proceeding in any prose-Truax, for violation of the provisions of said law, or

California, this seventh day of January, 1915. Done in open Court at the City of San Francisco,

## WM. W. MORROW,

Court Judge of the United States Circuit Circuit. of Appeals for the Ninth

### WM. C. VAN FLEET,

California. Court for the Northern District of Judge of the United States District

## H. SAWTELLE,

Court for the District of Arizona. Judge of the United States District

trict Court of the United States for the District of of Arizona, and W.G. Gilmore, County Attorney of Arizona. Mike Riach, Plaintiff, vs. William Truax, ENDORSEMENTS: No. E-9 (Tucson). In the Dis-Cochise County, Defendants. . Jones, Attorney Order Filed January General of the State

7th, 1915. George W. Lewis, Clerk.

UNITED STATES OF AMERICA DISTRICT OF ARIZONA.

Raich, vs. Wm. Truax, Sr., et al., as the same appears copy of the opinion rendered in the case of Mike District Court for the District of Arizona, do hereby from the original on file and of record in this office. certify the above and forgoing to be true, and correct I. George W. Lewis, Clerk of the United States

January, A.D., 1915. affixed hereto at Tucson, Arizona, on the 21st day of WITNESS my hand and the seal of said Court

By Effie D. Botts, Deputy. George W. Lewis, Clerk. (Signed)

(SEAL)

Z 號 (附屬書二)

中訂正文寫 「アリゾナ」州外國人雇傭制限法試訴事件判決理由書

tween lines 8 and 9, just after the words: "as afore-These paragraphs to be inserted on page 7,

said" and before the words: "It will be perceived,"

conflict with the Constitution and laws of the United whether these provisions of this act of assembly are in tion of the United States declare: "The court is here called upon to consider The fourteenth amendment to the Constitu-

deny to any person within its jurisdiction the equal protection of the laws.' 'Nor shall any state deprive any person of life, or property, without due process of law; nor

give evidence, and to the full and equal benefit of all shall have the same right in every state and territory licenses, and exactions of every kind, and be subject to like punishment, pains, penalties, taxes, property, as is enjoyed by white citizens, and shall laws and proceedings for the security of persons and to make and enforce contracts, to sue, be parties, persons within the jurisdiction of the United States embodied in sections 1977 and 1979 of the Revised "Congress has enforced the above-quoted provithe The former of these sections enacts: fourteenth amendment by legislation to no

other.

三八 一月二十六日 加藤外務大臣宛(電報)在ポートランド熊崎領事ヨ

「アイダホ」州上院委員会延期ノ件

第一七号

往電第一六号委員会延期ノ旨来電アリ

註 前掲三五文書

三九 一月二十七日 加藤外務大臣宛(電報) 在ポートランド熊崎領事ヨリ

「アイダホ」州上院委員会ニ於テ外国人不動

産所有禁止法案討議情況ニ関スル件

第一八号

優勢ナリシカ如シ去レハ今後恐ルル所ハ賛否両派妥協ヲ遂 故ヲ以テ否決ヲ主張シ特ニ抗議ヲ申込ム団体モアリ反対派 者ハ本案ノ趣旨ハ帰化シ得サル外国人ノ土地所有ヲ防クニ 案討議情況ニ関スル新聞報道ニ接シタルガ之ニ依レハ提案 二十五日「アイダホ」上院委員会(Public hearing)土地 シテ斯ル立法ハ善良ナル一般移民及外資輸入ヲ阻止ストノ アリトテ日本人ニ言及シタルモ反対派ハ此点ヲ論セス主ト

シ置ケリ トナルニ付同地在留日本人ニモ十分慎重ニ行動スル様警告 ケ同案カ終ニ日本人ノミニ適用スルモノト修正セラル ル コ

大使へ電報ス

一月二十七日 加藤外務大臣宛在桑港沼野総領事代理ヨリ

四

Ö

ル所説報告ノ件 加州大学総長「ホヰラー」 博士ノ日本ニ対ス

附属書 摘訳 「ホヰラー」博士ノ演説中日本ニ関スル部分

大正四年一月二十七日

公第三九号

(二月十八日接受)

在桑港

総領事代理 沼 野 安 太 郎 印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

大学総長「ホヰラー」博士ハ一月廿四日「パレスホテル」 近来漸ク其ノ排日的態度ヲ改ムル傾向ヲ示シツツアル 席上ニ於テ桑港附近ノ商工業ノ発展ヲ論シタル序ヲ以テ日 ニ開催ノ内国産業同盟(Home Industry League)午餐会 加州

> 申進候 敬具 本人問題ニ論及致候ニ付同博士言説ノ日本ニ関スル部分ノ ミ摘訳シタルモノ別紙一通差進候ニ就キ御査閲相成度此段

附属書類

「ホヰー ラー 演説要領摘訳 通

レース・ホテル」ニ於ケル演説ノ一節 加州大學總長「ホイラー」氏ノ試ミタル

ノナリト言フコトアルヘカラズ アラサレバナリ吾人ハ大砲ノ助力ヲ以テ彼等ト相接スルモ コトアルヘカラズ何トナレバ戰爭ハ問題ヲ解決スルモノニ ラズ吾人ハ暴力ヲ云爲シ若クハ日本人殺戮等ノ言ヲ弄スル 上尤モ重要ナル一要素ヲ占ムルモノナルコトヲ思ハサル可 太平洋貿易發展ノ此ノ好機ニ際シ吾人ハ先ツ日本國カ貿易

宜ナリ吾人ハ彼等ヲ好マサル可シ ニ習慣ニ於テ吾人ハ全ク相異レバナリ 受スルコト容易ナリ -何トナレバ彼等ハ生活狀態傳說並 人種的僻見ハ之ヲ感

ルモノナレバナリ吾人ハ彼等ニ胸襟ヲ披イテ眞實ヲ告クル 吾人ハ彼等ヲ了解セサル 可ラズ何トナレバ彼等ハ其價値ア

要ス是ハ吾人ト日本人ト 野獸的ニ然ルニアラスシテ少クトモ公明正大ニ卒直ナルヲ 情ヲ握手ノ裡ニ葬ムルニ勉ムルコトアルヘカラス然リト雖 モ吾人ハ彼等ニ對シ樸直ナラサルヘカラズ但シ其ノ樸直ヤ 一ノ方法ナリ トヲ要ス吾人ハ彼等ヲ好ムコトヲ要セス吾人ハ吾人 ノ間ノ至當ナル基礎ヲ樹 立 ス ノ感 ル

事ヲ爲サヾルベ 扱ハレンコトヲ要望スル點ニ在リ免ニ角吾人ハ彼等ト 日本ノ弱點ハ思フニ彼等ガ高等ナル文明邦國ノ一トシテ取 ルヤ カラザ ル運命ニアリ吾人ハ果シテ之レ 共二 ヲ爲

四 一月二十八 H 加藤外務大臣宛(電報)在ポートランド熊崎領事ヨ IJ

「オレゴン」州下院ニ提出ノ外国人財産所有

権ニ関スル憲法改正決議案本会議附議延期ノ

往電第八号及第一二号決議案ハ二十六日委員ヨリ推薦ヲ附 リ二月三日迄付議延期セラル セス報告アリ二十七日本会議ニ附セラル ヘキ処同日動議ア

米国ニ於ケル排日問題雑件 四 四二

大使へ電報ス

四二 一月二十八日 加藤外務大臣宛在桑港沼野総領事代理ョリ

排日的借地権削除法案ヲ非トスル加州知事ノ

意見新聞論評報告ノ件

抄 加訳 州 「オークランド、 エンクッイラー」 社説

(二月十八日接受)

大正四年一月二十八日

公第四一号

在桑港

総領事代理 野 安 太 印

外務大臣男爵 加藤高明殿

居リ候ニ付右抄訳一通御参考迄差進候間御査閲相 発表シタル排日的借地権削除法案ニ対スル意見ヲ論評致シ 紙ハ其社説ニ於テ一月二十三日加州知事 申進候 敬具 本年一月二十五日発刊「オークランド・エンク 「ジョン ゙ヮ ソソン ノ 成度此段 イ ラー

附属書 社説抄訳一通 一月二十 五日「オークランド 工 ンクヮ イラー

(附屬書)

法制定反對論(一月二十五日社說)抄譯 州「オークランド・エンクヮイラー」 排外

今知事 シー月二十三日知事ノ與ヘタル答辯ニ如クモノナカルベシ |後見者流ノミ此不急ノ提案ニ對スル最モ良好ナル答辯ハ蓋 任スル神經過敏短慮淺見ノ自稱哨兵以外今ヤ何人モ修正案 成スル所ナルベシ加州ノ勞働及土地ノ利益ノ防衛ヲ以テ自 强硬ナル聲明ハ少數斗筲煽動家以外スペテ加州撰舉民ノ贊 反對スベシトノ今期州會ニ於ケル知事「ジョンソン」氏ノ セラル、アラバ(吾人ハ其不可能ヲ希望ス)同法案ハ知事 ニ賛成スルモノナカルベシ之ニ賛成スルモノハ唯片々タル ノ特權ニ依リ否認セラルベキヲ暗示セリ 一三年ノ外國人土地所有禁止法ニ對スル修正ニハ一切 ,ノ聲明書ヲ見ルニ知事ハ若シ斯クノ如キ法案ノ可決

要ヲ感知スルノ責任ハ立法者ノ責任ニアリト謂ハザルベカ 吾人ノ義務ハ確固タル態度ニ出ツルニアリ而シテ特ニ此必 切ナルモノアリ故ニ何レノ點ヨリ觀察スルモ此事件ニ關シ 今ヤ世界政局ノ紛糾ニ際シ米國ハ中立ヲ嚴守スルノ要最緊

(以下知事ノ聲明書ヲ引用セル部分中略)

ラズ今ヤ世界ノ過半ハ戰爭惡疫及慘害ノ渦中ニ投ゼラレ人

疑ヲ斷然避クルニ努ムベシ 潜伏セル際ニ當リ吾人ノ採ルベキ方針ハ唯一アルノミ吾人 間 一點ノ嫌疑ヲモ吾人ノ履下ニ近ツケシメザル様理由アル猜 ハ毅然トシテ起チ敢テ動揺スルコトナキニ在リ然リ吾人ハ ノ情熱ハ各方面ニ發火シ猜疑ハ各国ノ蔽ヘル濃霧ノ中ニ

來レリ合衆國ノ一州トシテ吾人ノ義務ハ現時國家的危憂ヲ 友國タリ此島帝國ハ我国ニ對スル條約上ノ義務ヲ眞面目ニ 本法案ハ主トシテ日本人ニ對スルモノナルガ日本ハ現時我 惹起スベキ源因ヲ作ラザルニアリ若シ之ヲ怠ランカ有害無 博覽會ニ參加シ且大體上國際的正義ノ最高ノ教則ヲ遵奉シ 履行シ友誼的親交ヲ涵養シ東洋ニ於ケル我要求ヲ尊敬シ我 受セザルベカラザルニ至ラン今囘提出ノ排日借地削除案ヲ 用ノ容喙ヲ試ミタルモノナリトシテ吾人ハ内外ノ非難ヲ甘 以テ火ヲ弄スルモノト謂フヲ得ンカ 通過セシメ若クハ之ニ關スル問題ヲ煽動スルコト ハ悪意ヲ

四三 一月二十八 目 加藤外務大臣宛在紐育中村総領事ヨ

紐育州ノ公共土木事業ニ於ケル外人労働禁止 ノ労働法規定ヲ無効トセル判決理由ニ関スル

公第一九号

(二月二十三日接受)

大正四年一月二十八日

在紐育

総領事 印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

候処右ハ当時ノ新聞記事ニ依リタルモノニシテ其後当地法 要旨第一トシテ同裁判所カ紐育労働法第十四条ヲ無効ナリ 律新聞ニ同件ニ関スル紐育州「アペレート・ディビジョン」 本件ニ関シ本月九日附公第六号拙信ヲ以テ報告ノ次第有之 候間玆ニ右訂正旁同判決全文別紙切抜及送付候条委細ハ之 改正第十四節ノ規定ニ違反ス」ト云フニアルコトヲ発見致 ナリ」ト記載シタルハ誤謬ニシテ実ハ「同条カ合衆国憲法 ト為ス理由ハ「同条ノ規定カ紐育州ノ政策ニ反スルカ為メ ノ判決全文ヲ掲記セルヲ見ルニ前記拙信中同裁判所判決ノ ニテ御承知相成度此段申進候

別紙切抜ヲ省略ス

加藤外務大臣宛在シアトル高橋領事ヨ IJ

米国ニ於ケル排日問題雑件 四四四 M

匹

一月二十八日

ノ虞無キ旨ノ情報ニ付報告ノ件 「モンタナ」州議会ニ於テ排日土地法案提出

通公第三三号 (二月二十三日接受)

大正四年一月二十八日

在シャトル

(印

領事 高

外務大臣男爵

加藤高明殿

排日的計画無之トノ趣旨ニ有之御参考迄右書面写差進候 制定ヲ思付タルモノナルモ其后事情疏通ンタル為目下何等 両国人農夫ヲ庇護シ是等ヲシテ甜菜栽培ニ当ラシムベシト ン」Northern Pacific 鉄道会社監督「ブラオン」ヨリ得 洋貿易会社々長高橋徹夫ガ「モンタナ」州「リビングス 旬開会后于今何等排日議案ノ提出無之候然ルニ今般当地東 日付政公第二二七号等ヲ以テ申進置候処同州議会ハ本月上 ノ風説アリタル為メ同地方農民ガ之ニ対抗ノ為排日土地法 ル書状ニ依レバ昨年春「ビリングス」所在製糖会社ガ日露 「モンタナ」州農業者排日決議ニ関シテハ客年十一月廿 タ

本信送付先在米大使

レザルニ付其内容ガ本件ノ土地案ナルヤ否ヤ判明不致候 地案ヲ提出スベキ通知ヲナシタルガ同案ハ未ダ提出セラ 追テ一月二十六日下院ニ於テ Easton ナル者追テ外人土

「ブラオン」氏書面写省略ス

四 五 一月二十九 日 加藤外務大臣宛在桑港沼野総領事代理ョリ

加州外国人土地法修正ニ対シ加州知事反対態

度声明ニ関スル件 桑港「エグザミナー」 紙記事摘訳 加州知事対日本人立法ニ反対ス

公第四三号 (二月十八日接受)

大正四年一月二十九日

在桑港

総領事代理 沼 野 安 郎 印

外務大臣男爵 加藤高明殿

本件ニ関シテハ本月二十三日拙電第二十六号ヲ以テ不敢取 及電報置候処右ニ関スル新聞記事切抜別紙 及送附候条御查閱相成度候 敬具 ノ通リ摘訳相添

又未曾有ノ反對ヲ排シ終ニ吾人ノ權内ニ於ケル法規ヲ制定 將來ニ付テ種々ノ豫測ヲ逞フセリ然レドモ州會ハ其執ルベ ルヲ得タリ シ以テ我條約規定ヲ表明シ加州民ノ權利ト威嚴トヲ保持ス キノ途ヲ進ミ而シテ何レノ国民ニモ侮辱ヲ加フルコトナク

修正ノ爲メ州會ノ議ニ付セザルベカラズト爲スノ何等正當 故ニ本年更ニ進ンデ何等處置ヲ執ルノ理由毫モナシニ年以 アリ故ニ自分ハ現行ノ土地法ガ變改セラレザルコトヲ希望 前幾多ノ困難ヲ以テ制定セラレタル外國人土地法ガ今復其 シ又此目的ノ爲メニ出來ル限リ助力ヲ爲スヲ辞セザル ナル理由存スルナク却テ然ルベカラザル所以ノ多クノ理由 ベシ

一月三十日 加藤外務大臣宛(電報)在シアトル高橋領事コ

「モンタナ」州上院ニ白人女子及黒人又ハ

細亜人ノ男子使用禁止法案提出ノ件

Legislature prohibiting employment of males of Negro Asiatic race with females of Willett introduced twenty ninth in Montana Caucasian race, The

米国ニ於ケル排日問題雑件

四六

四七

四八

「エキザミ

ナー

新聞

切抜

部 部

新聞切抜ヲ省略

(附屬書)

桑港「エグザミナー」紙記事摘譯

知事對日本人立法ニ反對ス

項ヲ削除セントスル Shartel 法案ニシテ若シ通過スルコト 書左ノ如シ テ同法ニ修正ヲ加フルノ理由ナシト言明シ發表シタル意見 アリトスルモ之ヲ否認スベキ氣勢ヲ示セリ知事ガ今期ニ於 ナル修正ニモ反對ナルコトヲ斷然發表シ且ツ同法中借地條 事 「ジョンソン」ハ本日加州外国人土地法ニ對スル如

州民ノ記憶ニ新ナル所ナルベシ當時吾人ニ對シ種々ノ攻撃 出セラレ是等ハ皆三年以上ノ借地權ヲ認許シ居レリ前期ノ 州會ハ二年以前外國人土地法ヲ通過シ三年間ノ借地權ヲ認 アリ世人ハ吾人ノ行動ガ友邦ニ侮辱ヲ與フルモノナリ又吾 州會ニ排外土地法ガ提出セラレタル當時ノコトハ今尚全加 ムル條項ヲ存セリ數年來種々ノ排外的土地法案ハ州會ニ提 人ガ條約ヲ破棄セント努ムルモノナルコトヲ極力論難シ尚

restaurants is to keep bill is Senate bill No. white girls from 93. Its object, it is explained, working ij. Chinese

Takahashi

七 二月一 日 加藤外務大臣宛(電報)在ポートランド熊崎領事ヨ

外国人不動産所有禁止法案審議ノ「アイダホ 州上院委員会近ク開会ノ件

第二〇号

Ξ. 「アイダホ」日本人ニ問合タルニ土地案委員会ハ二三日 開ク筈ナルカ形勢良好トノ回報ア

四八 二月三日 加藤外務大臣宛(電報)在ポートランド熊崎領事ヨリ

ニ関スル決議案ヲ否決ノ 「オレゴン」州下院外国人ノ不動産所有禁止

第二一号

六票ニテ否決サレタ 「オレゴン」土地決議案ハ三日下院ニテ討議ノ結果賛成僅

大使へ電報ス

四九 二月三日 加藤外務大臣宛(電報)在シアトル高橋領事ョ

「モンタナ」州上院委員会白人女子及黒人又

ハ亜細亜人ノ男子使用禁止法案ニ賛成ノ報告

ヲ為シタル件

第五号

大使へ第三号

by Committee February Montana Senate bill No. Second. 93 was favorably reported

Takahashi.

五〇 二月三日 加藤外務大臣宛(電報)在シアトル高橋領事ヨ

又ハ亜細亜人男子使用禁止法案阻止方ニ関ス 「モンタナ」州議会ニ於ケル白人女子及黒人

第六号

大使へ第四号

拙電第三号ニ関シ「モンタナ」上院ハ共和党優勢ナルニ付

暫ク成行ヲ観望シ上院ヲ通過ノ節ハ下院ニ於テ喰止方国務 尽ノ斡旋ヲ得ハ好都合ト思考ス右御含ノ上可然御配慮相煩

険ナル職業ニ従事スル者ハ凡テ英語ヲ読書キスル能力ヲ有 国人雇傭法ニ代ハル稍温和ナル法案通過シタリ其要点ハ危

大使へ済

セサルベカラズトナスニ在リ委細取調中

五三 二月十五日 加藤外務大臣宛(電報)在シカゴ来栖領事ヨリ

「ミシガン」 州下院ニ提出ノ外国人土地所有

禁止法案ニ関シ報告ノ件

of Labour 土地所有禁止案ハ目下法律委員会ノ手ニ在リ其内容ヲ知ル Oakley ノ提出セルモノニシテ内容ハ加州ノモノト同一ナ ノ調査ニ依レハ同州在留日本人七十六人内農業二人ナリ シテモ密ニ注意シ居ルモ今日迄何等通報ナク「デトロイト」 ル由同案ノ成行当地親交ノ一法律家ヲ通シ同州「セクレタ ヲ得サルモ同州ノ新聞記事ニ依レハ Michigan Federation 一月二十五日「ミシガン」州下院ニ提出セラレタル外国人 以同州ノ各地新聞モ別段論評ヲ加ヘタルヲ見ス当館最近 ー・オフ・ステート」ヨリ時々通報ヲ得且其他ノ筋ヲ通 米国ニ於ケル排日問題雑件 ノ希望ニ依リ下院労働(不明) 五三 五四 Wirem 五五五 A

> ハ シタシ

五 二月四日 加藤外務大臣宛(電報) 在ポートランド熊崎領事ヨリ

関スル決議案否決ノ主ナル理由報告ノ件 「オレゴン」下院外国人ノ不動産所有禁止ニ

立法ノ帰化権ナキ日本人ニ対シ特ニ侮辱的ナルニ論及シタ 往電第二一号決議案否決ノ重ナル理由ハ時局柄国際紛議 醸ス虞アル立法ハ好マシカラス又余リニ人民投票ヲ煩ハス ル際提案者ハ何等差別ヲ目的トセサル旨弁解ニ勉メタル由 ハ不可ナリト云フニアリト尚議事中屢々反対者等カ斯カル

大使ニ電報ス

五二 二月九日 加藤外務大臣宛(電報)在桑港沼野総領事代理ヨリ

「アリゾナ」 州外国人雇傭制限法ニ代ル法案

同州下院ヲ通過ノ件

第四六号

新聞電報ニ依レハ 「アリゾナ」 州会下院ニ於テ二月八日外

大使済ミ

五四 二月十七日 在シカゴ来栖領事宛(電報)加藤外務大臣ヨリ

「ミシガン」州下院ノ外国人土地所有禁止法

案ノ内容要点調査報告方訓令ノ件

第一号

貴電第二号ニ関シ

期ヲ逸セス報告セラレ 会ニ於ケル議事進行ノ模様及之ニ対スル御意見等其都度時 土地法案規定内容ノ要点至急調査電報アレ尚本案提出後 タシ

五五五 二月十七日 加藤外務大臣宛(電報)在シカゴ来栖領事ヨリ

「ミシガン」州下院ノ外国人土地所有禁止法

案ノ調査方法ニ関スル件

第三号

館員同地ニ出張取調フルハ徒ラニ問題ヲ大ナラシムル虞ア ルニ付前電通報ヲ俟ツ以外ニ特ニ本官ノ裁量ヲ以テ適当ノ ス旁々土地隔絶ノ為メ調査何分困難ナルモ此際本官若クハ 貴電第一号ニ関シ法案ハ委員会ノ手ニ在リ内容公表セラレ

八 四

進行ノ程度並ニ州会ノ閉会期等査報セラルヘシ

ヲ請フ

五六 二月十七日 加藤外務大臣宛(電報)

五八

二月十九日

加藤外務大臣宛在桑港沼野総領事代理ヨリ

「モンタナー州上完二於テ白人女子及黒人が旅夕系プ目多く管幸」

ハ亜細亜人ノ男子使用禁止法案ヲ否決ノ件「モンタナ」州上院ニ於テ白人女子及黒人又

第八号

Montana Senate bill No. 93 was killed in Senate fifteenth.

機密公第一五号

(三月十二日接受)

ゾナ」州法律案送付ノ件

附属書

右法律案写

特殊危険事業従業者雇傭制限ニ関スル「アリ

大正四年四月十九日

在桑港

Takahashi

五七 二月十八日 在シカゴ来栖領事宛(電報)

案ノ調査方法ニ関シ回訓ノ件「ミシガン」州下院ノ外国人土地所有禁止法

第二号

貴電第三号ニ関シ

ノ法律家ヲ利用スルナリ其他可然方法ニヨリ法案ノ内容及得ルニ格別ノ困難アリトモ考ヘラレサルニ付貴官ハ御申越費用支出ノ義ハ詮議シ難キモ近接セル地方ノ事ニテ報道ヲ

総領事代理 沼野安太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

ト存候

小二十一ノ投票ヲ以テ下院ヲ通過シタル趣ニ有之同州在留

型四哥人ノ如キハ熾ニ同法案通過防止運動ヲ始メタリトノ

型のコトアリトスルモ在留邦人ニハ格別影響スル所可無之

でルコトアリトスルモ在留邦人ニハ格別影響スル所可無之

がコトアリトスルモ在留邦人ニハ格別影響スル所可無之

右及報告候 敬見

附属書

本信写送付先 珍田在米大使、「アリゾナ」州雇人法案写 一部

(附屬書)

法律案
特殊危険事業從業者雇傭制限ニ關スル「アリゾナ」州

Second Legislature

State of Arizona.

H.B. 54
HOUSE OF REPRESENTATIVES
Introduced by Mr. W.D. Claypool.

A BILL

FOR AN ACT PRESCRIBING CERTAIN REGULA-

TIONS CONCERNING THE QUALIFICATIONS AND EMPLOYMENT OF WORKMEN AND LABORERS ENGAGED IN CERTAIN EXTRA HAZARDOUS EMPLOYMENTS, AND PRESCRIBING PENALTIES FOR VIOLATION THEREOF.

BE IT ENACTED BY THE LEGISLATURE OF THE STATE OF ARIZONA:

defined cupations in which the safety of one ents, foremen, shift bosses, sary or customary orders by managers, superintendthe English language, and to understand the necesand regulations are communicated to him orally in person shall be employed or engaged, when said rules regulating the occupation or industry in which said stand any rules or regulations prescribed by law stand the English language sufficiently well to underperson, or any person who cannot speak and underin any extra hazardous or dangerous occupation, as hereby made unlawful to employ, or permit to work, depend on the action of another it shall be and is of employees in extra hazardous or dangerous oc-Section 1. in Sec. That for the protection of the safety 2 of this Act, any deaf or dumb S. others in position or

authority, for the carrying on of the operations of said occupation, or industry, when communicated to him orally in the English language, and to transmit said order or orders to other employees orally in the English language; and it shall be and is hereby made unlawful for any person to accept employment or to work, in such occupation or industry.

Section 2. The labor and services of workmen at manual and mechanical labor by this Act declared to be extra hazardous and dangerous as being hazardous and dangerous occupation in which rapid and intelligible communication among workmen and a clear understanding of the laws of Arizona regulating the occupations and industries set forth in this section are necessary to preserve the safety of such workmen while operating and carrying on for the employer the business in which he is engaged are as follows:

- 1. All underground work in mines.
- All work in connection with machinery used in the operation of mines.
- 3. All work in connection with the operations of steam, or electrical trains or locomotives, engines, trains, motors, or cars of any kind

propelled by steam, electricity, cable or other mechanical power.

of a than thirty (30) days or more than six (6) months, offense be punished by a fine not less than Ten any such person or persons violating any of the prosaid section 1, shall be guilty of a misdemeanor; and shall employ any person contrary to the provisions of such person, association, company, or corporation, who ation, company, or corporation charged or entrusted agents, servants, or employees, or any person, associing employment contrary to such provisions, shall be visions of this Act, upon conviction shall for each with the employment of workmen and laborers for guilty of a misdemeanor, and any directors, officers, corporation, employing a person contrary to the probehalf the provisions of this Act have been violated, cretion of the court trying the offense; and in case or by both such fine and imprisonment, in the dis-(\$300.00) Dollars, or by imprisonment for not less (\$10.00) Dollars or not visions of Section 1 hereof, and every person accept-Section 3. Any person, association, company, or corporation, association, exceeding Three or company in whose Hundred

said corporation may also be fined, and its directors and officers imprisoned, as provided in this section.

ployment after such notice, may be shown in evidence him to the employer, and continuance of such emare not qualified workmen, and on notice thereof by finding by such officer that any employee or employees tion, and to prosecute for violation of this Act, and a of any employee engaged in such industry or occupahis duty to examine and inquire as to the qualification with the enforcement of this Act, and it shall be the meaning of this Act, shall be, and is hereby charged the employees thereof is deemed hazardous within or of any industry in which the occupation of any of of the State of any hazardous industry or occupation, charged with the inspection or supervision on behalf of any trial for violation of this act. Section 4. Any officer of the State of Arizona

Section 5. This Act shall be deemed an exercise of the police powers of the State of Arizona for the protection of the public health and safety, and all of its provisions shall be liberally construed for the attainment of that purpose.

Section 6. Should any work, phrase, clause, sen-

tence or provision of this Act be declared unconstitutional, the validity of the remainder of the act shall not be affected thereby.

Section 7. All acts and parts of acts in conflict with the provisions of this act are hereby repealed.

# 五九 二月二十日 加藤外務大臣宛(電報)

# 案ノ内容及審議状況報告ノ件「ミシガン」州下院ノ外国人土地所有禁止法

#### 第四号

議ニ報告セラルヘキヤ否ヤハ頗ル疑問ニシテ提出者自身モズリスがン」州土地法案ハ未タ印刷ニモ附シ居ラレサルモス条第一項末 by section ヨリ civil procedure ニ代ルニ by law in such casesses 両条 Carifornia ニ代ルニ by law in such casesses 両条 Carifornia ニ代ルニ by law in such caseses 両条 Carifornia ニ代ルニ Michigan ヲ以テセルモノナリ今日迄ノ探査ニ依レハ法律 Michigan ヲ以テセルモノナリ今日迄ノ探査ニ依レハ法律 がに in such caseses 両条 Carifornia ニ代ルニ か law in such caseses 両条 Carifornia ニ代ルニ が in such caseses 両条 Carifornia ニ代ルニ が in such caseses 両条 Carifornia ニ代ルニ が in such caseses 両条 Carifornia ニ代ルニ か in such caseses in m in

大使へ済

六二 二月二十五日

加藤外務大臣宛在ポートランド熊崎領事ヨリ

所有禁止ニ関スル決議案議事経過要領報告ノ「オレゴン」州下院ニ於ケル外国人ノ不動産

講セサル方得策ナリト信ス現今ノ形成(不明)尠ク目下ノ処何等表立チタル対抗策ヲフ州会閉会期ハ探査中要スルニ主義問題ハ格別本法実害及又本案カ今期議会ヲ通過スルヲ予期シ居ラサルカ如シト云

大使済ミ

六〇 二月二十日 加藤外務大臣宛(電報)

機密第一号

(三月二十四日接受)

大正四年二月二十五

在ポー

・ ト 熊 ラ

ランド

印

「アイダホ」州上院ニ於テ外国人不動産所有

禁止法案ヲ握潰ノ見込ノ件

第二五号

会ノ予定ナリト通報ニ依レハ握潰ノ見込十分ナル甲尚同州会ハ三月四日閉通報ニ依レハ握潰ノ見込十分ナル甲尚同州会ハ三月四日閉「アイダホ」州土地案委員会ハ今以テ開会セス同地日本人

大使へ電報ス

六一 二月二十一日 加藤外務大臣宛(電報)

「オレゴン」州会閉会ノ件

シテハ曩ニ電報ヲ以テ其都度(一月十三日往電第三号、

同

同二十二日第八号、同二十三日第十一号、

本会期中ニ頭ハレタル外国人土地所有制限立法ノ成行ニ関

物メ徹夜議事ヲ継続シ翌二十一日ニ至リ漸ク閉 会シ タリ

(但シ議事録ニハ会期末日タル二十日ヲ以テ閉会トス)

二月二十日ハ会期ノ末日ニ当レルモ議案議了ニ至ラザリ

シ

本年度即チ第二十八回

「オレゴン」州会ハー月十一日開会

外務大臣男爵

加

藤高明殿

第二六号

「オレゴン」州会二十一日閉会セリ

同日第十二号、十五日第五号、

同二十八日第十九号、

二月三日第二一号、

(一) 台議案ノ内容

(1)号決議案ノ要領ハ左ノ如シ

(1)外国人へ以下規定スル所ニ従ヒ証書契約 (Deed) 遺贈(1)外国人へ以下規定スル所ニ従ヒ証書契約 (Deed) 遺贈(1)外国人へ以下規定スル所ニ従ヒ証書契約 (Deed) 遺贈

(2)本法実施後土地所有権ヲ取得シタル外国人ニシテ取得(2)本法実施後土地所有権ヲ取得シタル外国人ニシテ取得(3)州内ニ居住スル外国人ハ職業・営業又ハ製造業(Business, Trade or Manufacture) ノ為メサーケ年ヲ超エのess, Trade or Manufacture) ノ為メサーケ年ヲ超エのess, Trade or Manufacture)

人又ハ組合ハ本法実施後土地及其他ノ不動産ヲ取得、所⑷株式人過半数ガ合衆国市民ニアラザルモノニ属スル法

ルコトヲ得

領ヲ取纒ムレバ左ノ如シ同四日第二二号)及報告置候へ共更ヲニ御参考迄其経過要

(一議事ノ経過

ニ係リ左記二個ノ決議案ヨリ成ル本立法ハ下院議員「シューベル」(共和党弁護士)ノ提案

が外国人ノ「オレゴン」州土地所有ニ関スル条例ノ制定ヲ(分)外国人ノ「オレゴン」州土地所有ニ関スル条例ノ制定ヲ

ノ通リ憲法中本規定へ分決議案ノ立法ニ差支アリ)ル現行規定ノ存否ヲ同上人民投票ニ付スル決議案(後述の州憲法第一章第三十一条外国人ノ財産権享有保障ニ関ス

右両案ハ上下両院ノ一致決議(Joint Resolution)ヲ目的右両案ハ上下両院ノ一致決議(Joint Resolution)ヲ目的トスルモノニシテ一月十九日下院ニ提出セラレ一読会後直り三日迄附議ヲ延期シ二月三日ニ至リ先ヅ前掲イイ号決議案ヲ本議ニ付シ討議ノ結果賛成僅カニ六票ノ少数ニテ否決セラレ又(ビラ決議案ハ其侭無期延期トナリ玆ニ両決議案ハ下でラ通過スルニ至ラズシテ不成立ニ終レリ

一 米国ニ於ケル排日問題雑件 六

八九

得シタル場合ハ六ケ年内ニ之レヲ処分スルニアラザ 有若クハ占有スルヲ得ズ(但シ前第⑶記載賃借ニ依 有ノ場合ヲ除ク)個人ト法人トヲ問ハズ土地及其他ノ不 動産ニ対スル信託受益者若クハ抵当権者タルハ妨ゲザレ 其権利ノ執行ニ依リ土地及其他ノ不動産ノ所有権ヲ取 ニ没収セラル V ル 占 バ

止ス (5)現行ノ条例又ハ規則中本法ニ抵触スル モ 1 ハ之レ ヲ 廃

### 次ギニ回号決議案ハ

民ト同一ニ財産権ヲ享有シ得ル旨ヲ保障シタル規定ア 先ヅ憲法中本規定ヲ削除スルヲ要スル次第ナリ ヲ以テ前記(イ)号決議案ノ目的トスル立法ヲナス為メニ モノニテ同条中ニハ州ノ居住民トナレル白人外国人ハ市 「オレゴン」州憲法第一章第三十一条ヲ削 セ ン 1 ス ル ル

# 闫提案ノ理由・討議ノ模様及与論

右決議案ニハ提出理由書ノ添付ナキモ州会ニ於ケル提案者 主トシテ帰化セザル外国人ニ土地其他ノ不動産ヲ所有スル 側ノ言説及其他各種ノ情報ヲ綜合スルトキハ提案ノ動機ハ .ザラシメ以テ欧洲資本家ノ土地買占メヲ妨止セント ス

> 提案ヲナサシメ居リタレバ本提案モ其筆法ニ依リタルモノ 提案者「シューベル」ハ 案ノ文句モ所謂排日土地案トハ頗ル趣ヲ異ニセルモノアリ 形跡ノ認ムベキモノナシ ト思惟セラル其他本提案ガ排日政治家ノ使嗾等ニ出デタル シテ本期ノ州 士ニシテ共和党ニ属スルガ当「ポートランド」ニ於テ「ユ ルニ存シ特ニ東洋人排斥ヲ目的 レン」ナル人物ハ土地単税ヲ標榜シ云ハヾ政界ノ変物ニ 会ニ「シューベル」ヲシテ種々急進奇矯ナル 「オレゴン・シチー」出身ノ弁護 トセルモノニハアラズ其法

議ヲ醸ス虞アル立法ヲナスハ好マシカラザルコト又余リニ 数氏アリ是等ノ反対意見ヲ詮ズルトキハ時局柄州ガ国際紛 和党、新聞記者)及「オルソン」(共和党、弁護士)等ノ 共和党、医師)「フォーベス」(共和党、弁護士)「リッ ン」(共和党、商人)「スミス」(「マルトノマ」郡選出、 名アリタルノミナルニ反シ反対演説ヲナシタルハ「イート 二月三日下院ノ討議ニ於テ本案維持説ヲナシタルハ提案者 人民投票ヲ累ハスハ不可ナルコト トルフヰールド」(共和党、 「シュ ーベル」以外ニハ唯「バロウ」(共和党、弁護士)一 弁護士)「スチュアート」(共 ノ二点ニ帰着ス又討論中

証シタルニ対シ提案者ハ本立法ハ一般外国人ヲ目的トスル 辱的ナルニ論及シ加州土地立法ノ日米親交ニ累シタル ノニアラザル旨ヲ極力弁解シタリ モノニテ何等特定ノ外国人ニ差別的待遇ヲ与ヘントス 反対者ノ或者ガ斯ル立法ノ帰化権ナキ日本人ニ対シ特 つニ海 ヲ引 ル

聞紙ニ就テ見ルモ単ニ提出事実ニ関シ簡単ナル報道ヲナセ 牽カザリシモノ、如ク当市及州都「セーラム」ノ主ナル新 本提案提出ニ関シ一般与論ヲ観察スルニ何等特別ノ注意ヲ ノミニテ社説等ニ於テ評論ヲ加ヘタ 'n モノナシ

右及報告候 敬具

送付置候ニ付弦ニ添付ヲ省略致シ候 追テ本両決議案原文ハ客月廿六日付公第一二号ヲ以テ及

六三 二月二十六日 加藤外務大臣宛(電報)在紐育中村総領事ヨリ

紐育州ノ公共土木事業ニ於ケル外人労働禁止 ノ労働法規定ハ違憲ニ非ズト州高等法院判決

第二三号

公第一九号州高等法院ハ前判次ヲ覆ヘシ労働法十四条ハ違 米国ニ於ケル排日問題雑件 六 六四 六五

> ル 憲ニ非スト判決セ ヘシト云フ IJ 本件 ハ更ニ合衆国最高法院ニ上告セ ラ

六四 二月二十六日 加藤外務大臣宛(電報)在桑港沼野総領事代理ョ

法案ヲ否決ノ件 「アリゾナ」州 上院外国人雇傭制限ニ代ル

第六〇号

第四六号雇傭法ヲ否決シタリト 新聞電報ニヨレ ハ 「アリゾナ」州上院ハ二月二十五日拙

六五 二月二十七日 加藤外務大臣宛(電報)在シアトル高橋領事ヨ

細亜人ノ白人女子雇傭禁止法案提出ノ件 「モンタナ」州上院議員「マッケンジー 亜

legislature Senator McKenzie girls Senate in industrial employment with Asiatics bill 172 to prohibit association of introduced on 23 Ħ Montana

用シ居ルヤ否ヤ等ニ関シ詳細承知致度候間可然御報告相成

米国ニ於ケル排日問題雑件 六六 六七 六八 六九

六六 二月二十八日 加藤外務大臣宛(電報)在シアトル高橋領事ヨリ

「モンタナ」州ノ亜細亜人ノ白人女子雇傭禁

度此段為念申進候也

止法案上院通過ノ件

Montana Senate bill 172 passed Senate on 27.

Takahashi.

六七 三月二日 在紐育中村総領事宛加藤外務大臣ョリ

違憲ニ非ズトセル紐育州高等法院ノ判決理由 外国人労働ヲ禁止スル紐育州労働法ノ規定ハ

等ニ付詳細報告方訓令ノ件

通送第一七号

非ストノ第二審判決ニ対シテハ高等法院ハ如何ナル見解ヲ 非スト為セル判決理由如何将又地下鉄道工事ハ公ノ事業ニ 三号州高等法院ニ於テ労働法第十四条ハ合衆国憲法違反ニ 自然米国西部諸州ニ於ケル排目的法制ニ影響スルトコロモ 可有之存セラレ当方参考資料トシテ必要有之候間貴電第二 本件ニ関シテハ追々御報告之次第有之候処該訴訟ノ結果ハ 採リタリヤ則チ実際ニ於テ問題ノ工事ニハ依然外国人ヲ使

> 成度候 追テ本件ノ顛末ニ為参考沼野総領事代理へモ御通報置相

六八 三月四日 加藤外務大臣宛(電報)在シアトル高橋領事コ

禁止法案ヲ否決ノ件 「モンタナ」州下院亜細亜人ノ白人女子雇傭

第一五号

thus killing the measure adopted on third in Montana House without discussion Unfavorable Committee report on Senate bill 172 was

Takahashi.

六九 三月六日 在桑港沼野総領事代理宛(電報)加藤外務大臣ヨリ

「アリゾナ」州知事外国人雇傭制限法ニ関シ

上告ノ実否調査方訓令ノ件

第一九号

「アリゾナ」州知事ハ外国人雇傭制限法ニ関シ上告ヲ為シ

タリト ノ新聞報道アリ事実確メ電報アレ

七〇 三月六日 加藤外務大臣宛(電報)在桑港沼野総領事代理ョ IJ

「アリゾナ」 州知事ノ外国人雇傭制限法ニ関

スル上告ハ事実ナル旨回申ノ件

第六五号

貴電第一九号「アリゾナ」裁判所ニ確メタルニ一月十九日 上告アリタル旨回答アリ

七一 三月九日 加藤外務大臣宛(電報)在ポートランド熊崎領事ヨ

~~~~~~~~~~

止法案ヲ握潰シノ件 「アイダホ」上院委員会外国人不動産所有禁

第三〇号

シノ旨報アリ 「アイダホ」州会八日閉会土地案ハ上院委員会ニテ握リ潰

大使へ電報ス

士 三月九日 加藤外務大臣宛在紐育中村総領事ヨリ

米国ニ於ケル排日問題雑件 <u></u> ᆫ 亡 圭

外国人労働ヲ禁止スル紐育州労働法ノ規定ハ

違憲ニ非ズトスル州控訴院判決文掲載ノ新聞

公第五四号 切抜送付ノ件

大正四年三月九日

(四月八日接受)

総領事 中 村

巍 印 在紐育

外務大臣男爵 加藤高明殿

地法律新聞ハ右判決全文ヲ掲記致居候ニ付御参考マテ同切 往電第二三号ヲ以テ及報告置候処本月四日及五日発行ノ当 判決シタル趣及其更ニ上告セラルヘキコトハ客月廿六日発 抜別紙ヲ以テ及送付候条委曲之ニテ御承知相成度候 紐育州控訴院カ同州労働法第一四条ノ憲法違反ニ非サル旨 註 別紙省略

七 三 三月九日 加藤外務大臣宛在シアトル高橋領事ヨ

「モンタナ」州ニ於ケル亜細亜人ノ白婦人使

用禁止法案ニ関スル件

(四月九日接受)

大正四年三月九日

通公第五七号

九三

### 在シャトル

## 領事 高 橋 清 一(印)

## 外務大臣男爵 加藤高明殿

院議員 者又々亜細亜人ノ所有管理若クハ経営スル飲食店、洗濯所 員会ヨリ良好ノ報告アリタルガ遂ニ上院ヲ通過セズシテ終 等討議ヲ経ルニ及バズシテ三月三日遂ニ該案ヲ葬リ去レリ アリタル結果下院ニ於テハ委員会ノ不利ナル報告ヲ納レ何 大使ノ尽力ニヨリ国務卿ヨリ「モンタナ」出身ノ合衆国上 参号二十七日通過トセシハ二十六日ノ誤リ)幸ヒニ我在米 及其他同様ノ事業ニ白婦人ノ使用ヲ禁ゼントスル法案ヲ提 レリ然ルニ二月二十三日ニ至リ上院議員 ノ使用ヲ禁止セントスルモノナリトノ趣ニテ一旦ハ上院委 九十三号)ヲ提出セリ同案ノ目的ハ支那人料理店ニ白婦人 「マッケンジー」案上院通過当時所用アリテ「モンタナ」 セリ同案ハ二月二十六日上院ヲ通過シタルモ (ノ男子ト白婦人トノ混交使傭ヲ禁止スル法案(上院案第 一月二十九日上院議員 Willett ンタナ」州議会ハ去一月四日開 Walsh ヲ通ジテ「モンタナ」州知事ニ勧告ノ次第 ナル者黒人若クハ亜細亜 会本月五日閉 McKenzie ナル (拙電第拾 会シタ ル

州首府 コ テ其後控訴ノ結果無罪トナリタルガ爾後支那人ニ対シ含ム ラレタルモ同氏ハ同地方ニ於ケル有力ナル民主党ノコトト ガ ノ訴訟ヲ起サレ公判ノ際証人トシテ出廷セル該料理店雇人 ヒ支那料理店ニ到リ飲食ヲ共ニシタルガ右ノ婦人ヨリ強姦 Kenzie トシテ他ノ方面ヨリ高橋ノ聞込タル所ニ拠レバ曩ニ Mc-ントシテ該案ヲ提出セル次第ナリト言ヘル趣ニ有之又一説 除去センガ為メ支那人ノ絶対ニ白婦人ヲ雇傭スルヲ禁止セ ヲ常トシ遂ニ犯則者ヲ検挙スル能ハズ故ニ根底ヨリ此弊ヲ ノ雇人ニシテ阿片喫煙ノ為出入スル者ニ非ズト強弁シ去ル リ偶々警察官ガ之ヲ逮捕シ来レバ彼等ハ自分ハ支那料理店 理店ニハ如何ハシキ白婦人ノ出入シテ阿片ヲ喫スルモノア 橋ニ対シテ弁解シタリト云フヲ聞クニ 止方ニ多少運動シタル由ナルガ其際「 橋徹夫ハ前記「マッケンジー」ガ「モンタナ」州Havre市 (人口四千)同会社出張所ノ嘱托医ナル関係上該案通過防 ト甚ダシク遂ニ該案ノ提出ヲ見タル所以ナリト 不利ナル証言ヲナセル為メ治安判事ニヨリ有罪 「ヘレナ」ニ滞在中ナリシ当地東洋貿易会社々長高 ハ一夜某ホテル附属ノ煙草店ニ使用セル婦人ヲ伴 Havre マッケンジー」ガ高 ノ支那人料 かり 判決セ 右ハ遽カ

申述候状況ガ往年ノ加州ヲ彷彿セシムルモノ有之候ニ付序ヲ以テニ信ズベカラザルモ此ノ如キハ偶々以テ「モンタナ」辺ノ

云フハ事実ナリト被察候 タルモノニ非ズシテ邦人 要之「マッ ケン ジー - 」案ハ元来邦人ニ対スル ハ所謂側杖ヲ喰ヒ タル 悪意ョ モ ノナ IJ IJ 出 ŀ デ

ント察セラル候 ドラ排日案ノ気勢頗ル振ハザルニ鑑ミ見合セタルモノナラ 大ラ排日案ノ気勢頗ル振ハザルニ鑑ミ見合セタルモノナラ 大ラがテ外人土地案ヲ提出スベキ趣通告シタルニ係ラズ 下院ニ於テ外人土地案ヲ提出スベキ趣通告シタルニ係ラズ 下院ニ於テ外人土地案ヲ提出スベキ趣通告シタルニ係ラズ 大ラがは、 大ラがにより、 大学をコリ喧伝セラレ居リ現ニ一月二十六日 となり、 大学をコリ喧伝とラレ居リ現ニ一月二十六日 となり、 大学をコリ喧伝とラレ居リ現ニ一月二十六日 となり、 大学をコリ喧伝とラレ居リ現ニー月二十六日 となり、 大学をコリ喧伝とラレ居リ現ニー月二十六日 となり、 大学をコリ喧伝とラレ居リ現ニー月二十六日 となり、 大学をコリ喧伝とラレ居リ現ニー月二十六日 となり、 大学をコリ喧伝とラレ居リ現ニー月二十六日 となり、 大学をコリ喧伝とラレ居リ現ニー というにより、 大学をコリ喧伝と

石及報告候 敬具

(本信写送付先 在米大使) 追テ McKenzie Bill 写壱葉御参考迄及送付候

註 「マッケンジー」法案原文省略

七四 三月十日 在ポートランド熊崎領事ヨリ

「アイダホ」州議会ニ於ケル外国不動産所有

一 米国ニ於ケル排日問題雑件 七四

禁止法案議事経過要領報告ノ件

機密第三等(四月八日接受)

大正四年三月十日

在ポートランド

領事 熊 崎 恭(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

∫議案ノ経過

ニ付議討議ノ結果大多数ニテ下院ヲ通過シ(反対僅カニニ月十三日下院ニ提出セラレ同十六日委員附託同廿日本会議本土地案ハ下院議員「アンダーソン」(共和党)ニ依リー

票)翌日直チニ上院ニ回付同廿五日 員会ニ於テ握潰 スルニ至ラズシテ其侭州 会議続行ノ筈ナリシニ同日委員会ハ延期セラレ爾後開会 シノ運命ニ終リ (会ハ閉会セルヲ以テ本案ハ上院委 ダ ル ナ 上院委員会ニ付議廿六

### 口議案ノ内容

条ヲ挿入シ左ノ規定ヲナサントスルモノナリ 本案ハ「アイダ ホ」州法中ニ新ニ第二千六百○九 条 ナ ル \_

レバ州 合衆国市民又ハ市民タル意思表示ヲナシタ 一ノ所有権ヲ含マズ)ヲ取得スルヲ得ズ 内ニ於テ土地所有権 (鉱区並ニ鉱業ニ必要ナル ル者ニアラザ 土

シ

道会社ヲ含マズ)モ亦前項ニ同ジ 示 社員又ハ株式ノ過半数ガ合衆国市民又ハ市民 ヲナシタル者ニアラザル者ヨリ 成ル組 合又ハ法 タル意思表 人 (鉄

ベシ 所有権ヲ取得スルヲ妨 外国人又ハ外国法人ハ債権ノ執行若クハ相続ニ依リ土 内ニ其土地ヲ他ニ売却スルニアラザレバ州ニ没収セラ ゲザルモ此場合ニ ハ取得後五ケ

闫提案ノ理由・討議ノ模様及与論

元来 「アイダホ」州ニ於テハ外国 【人ノ土地 所有 = 関 ス ル 制

タック」 致ヲ必要トスル形勢ニ立チ到レル如キモ「シャ 近年同州在留邦人ガ右会社ノ製糖業ヲ始メ一般農業上 土地周旋業「アイダホ、デヴェロプメント・コンパニー モノナリ提案者「シャタック」ハ「ア 国資本及外国移民ノ誘入ヲ奨励スベキ必要アル 所有ヲ外国人ニ開放スルニ至リ 土地所有権及鉱業権ヲ認メラル ニ於テ外国人ハ東西洋 条及第二六一〇ノ両条ヲ存シタ 限及東洋 ルニ僅カニ一両年ヲ経過シタル ノ提起ヲ促シタル主ナル原因 メテ有用ナル地位ヲ占メ来リ同地方ガ益々邦人農業家ノ招 ー・オースチン」及其実弟 ノ社長ニシテ又其後援者ニハ同地製糖会社支配人「ビーバ ヲ通過シタルヲ以テ同 利用シ得ベキ農業地域ノ増加 州会ニ於テ「アイダ (共和党)ハ此両条ヲ削除スル議案ヲ提出 人ニ対スル鉱業権禁止ヲ規定セル州法第二六〇九 入ノ別 年五月十日ヨリ実施セラレ爾来州 ホ ・ フ オ 「マーク・オ ノーツタリシトノコト ナク一般ニ米国市民ト 今日又々外国人土地禁止 スルニ連レ其開 タルハ同州ノ潅漑組織大成 コト ルス」選出下院議員 ルガ前回即チ千九百十三年 イダホ・フォ 、ナレリ斯ク土地 ースチン」等アリ ニ基キタル 拓 タック」案 ノ為メ外 ルス」 シ両 ナリ 同様 ッツ 三極 Ц\_\_ 1 =

実質上ノ理由アルモノニアラズト云フ観察ハ最 地域ヨリ新撰 之レニ対シ充分慎重ナル討究ヲナサント 成者ガ「米国人ノ為メ 軽卒無責任ニ依ルモノト ニ対抗スル為メ労働者側 労働者側ョ 「アンダーソン」ハ ーンパニー ハ「コ ·シ 加 - 云フ如 ニシテ其真意ヲ確ムルコト 如シ其大多数ニテ下院ヲ通過セルハ州会議員ニ有 ッ ハ一般移民及外資輸入ヲ阻止スルモ ク 州政治家ノ例ニ傚ヒ本案ヲ提出シタル <u>〜</u> ハ キ逆房 ニ極メテ無造作ニ本案ヲ通過シタル IJ ー」及前記「シ 煽動ニ努メ 」ノ社長ト 前述ノ ハ寧ロ資本家側ヲ代表スル傾アルヲ以テ之レ セラレ ij 「パブリック 1 同氏ト 如ク「アイダホ・デヴェロ 前回ノ提案者タル「シャ 提案ヲ見 タ 1 シテ外国資本及移民ノ誘致ニ腐心シ ル処議場ノ形勢頓ニ浮立チ僅 米国」ナル人気語ヲ標榜シ頗 見ルヲ得ベク本案ノ討議ニ際 ノ歓心ヲ得テ自家ノ勢力ヲ張ラン t ハ競争ノ地位ニア タ ハ困難ナルモ這 タ ヒヤリング」ニ於テハ斯 ッ ル ク」ノ両名ガ反対 ハ頗 N 試ム 怪訝 ノナリト リ然ルニ モノニテ別ニ タ 回 ナリ之レニ反 ルモノモ ープメント モ当 ック」ト同 ノ提案者 ノ意見優 ヘザル セ V 無ク かが賛 ル マシ ル = = 勝 Ŧ ル 1 コ

潰シノ結果ヲ見ルニ至レル 勢ナリシニ 加 ヘテ院外有力団体 ナ 抗議等モ アリ其侭終 =

反対シ 有力 完フスルモノナリト 云フベク若シ上院ニシテ之レヲ否決セバニ院制度ノ効用 充分ノ研究ヲナサズシテ本案ヲ通過セル 米国人ノ為メノ米国ナル語ハ愛国的ニ似テ実益ナシ下院 害モナキニ外国人ノ土地所有ヲ禁ズルハ州 ラズ一般ノ与論ハ寧ロ上院委員会ト其趨向ヲ同 上述ノ如クニシテ本提案ハ大多数ニテ下院ヲ通過 ナル新聞「アイダホ・ステーツマン」ノ如キ タリ ノ論説ヲ繰リ 返シ発表シ ハ 、軽卒極マ ノ発達ニ フシ同 モ セ ノ通過 害アリ 別  $\nu$ ル IJ ご実 地 ŀ ガ 1

t

州会所在地 下落セシメタリト 所有ヲ防グニアリトシ日本人ノ土地所有ガ附近 ルニ提案者ハ本案ノ趣旨ハ専ラ帰化シ得ザル外国 次ギニ本案提出 、如シ本案ニ対シテ同州各地日本人会ハ共同ノ ノナク州ノ与論トシテハ特ニ日本人ヲ問題ト 般議場ノ討議及新聞 「ボ 1 ニ関シ同州ニ於 セ ノ例ヲ挙ゲ排日的ノロ = 紙等ニ於テハ特ニ日本人 派シ本官指揮 ケル対日本人感情ヲ考察 ノ下ニ前記 . 吻ヲ漏 地 也 = ラ 一人ノ土地 代表者 ザリシ 論及セ シ ---タル 地価 ォ 1 ヲ ス Æ N モ ス

米国ニ於ケル排日問題雑件

七四

テ終リ候初メ「オリンピヤ」ヨリノ通信ニ依レバ「ピヤス

カウンチー」撰出ノ上院議員「ホワイト」ナルモノ日本

一日ヲ以テ閉会致候処排日案ハ何等提出ヲ見ルニ及バズシ

「ワシトン」州議会ハ本年一月十一日ヲ以テ開会シ三月

チン」其他親日ノ米人連絡シ周到且ツ慎重ニ本案ノ監視及 (止ノ運動ニ努メタリ

右及報告候 敬具

送付置候ニ付為念申添候 追テ本土地案原文ハ本年一月廿三日公第一一号ヲ以テ及

本信写送付先

在米

珍田大使

七五 三月十二日 加藤外務大臣宛(電報)在シアトル高橋領事ヨリ

# 華州議会排日案ノ提出無ク閉会ノ件

見ズシテ終レリ 華盛頓州議会ハ三月十一日ヲ以テ閉会何等排日案ノ提出ヲ

禁止スル州憲法修正案ヲ通過スルニ於テハ之レガ為メ国際

イト」ハ之レヲ説明シテ此際一足飛ビニ外人土地リースヲ 州議会ニ提出スルヤモ知レズトノ振込モアリシガへ「ホワ ルニヤ」州ノ委員ヲ以テ研究スルノ法案ヲ「ワシントン」 ノ問題ヲ「ワシントン」州、「オレゴン」州及「カリフォ 人ト白人農夫トノ競争ヲ防グノ目的ヲ以テ外人土地リース

問題ヲ引キ起スベシ故ニ沿岸三州ニ於テ予メ研究ノ上一致

ノ行動ヲ取ルノ必要アリ云々)其後「カリフォルニヤ」ニ

七六 三月二十二日 加藤外務大臣宛在シアトル高橋領事ヨリ

# 華州議会排日案ノ提出ナク閉会ノ件

通公第六八号 (四月九日接受)

大正四年三月二十二日

在シャ

関係ヨリ不平ノ白人農夫ニ於テ右「ホワイト」ヲシテ何等

主トシテ日本人ニシテ日本人ハ夙ニ白人農夫ヲ駆逐シタル ノ提出ヲ見合ハセ候因ミニ「タマコ」附近ノ蔬菜生産者ハ 於テ排日問題景気附カザリシ為メ遂ニ「ホワイト」ハ該案

カ排日法案ヲ提出セシメントシタルモノト被察候

領事 清 印

IJ

四十幾名ハ各種ノ職業ニ属スル旨又下院ニ於ケル外国出 本年下院議員ノ職業別ハ農業二十八人弁護士二十四人残

外務大臣男爵 加藤高明殿

次第ニ有之候本件ハ必ズシモ排日ナラザルモ序ヲ以テ申進 同案ヲ不成立ニ帰セシムル様日本人側ニテ処置ヲ取リタル 索ヲ許スガ如 、キハ人権ヲ無視セル嫌アルニ付キ前記ノ通リ

右報告 = 及候 敬具

七七 三月二十二日 加藤外務大臣宛在紐育中村総領事ョ

労働法ノ規定ヲ修正スル法律成立ノ件 公共土木事業ニ外国人使用ヲ禁止スル紐育州

附屬書 右修正法律

公第六五号

(四月二十一日接受)

大正四年三月二十二日

在紐育

総領事 中 (印

外務大臣男爵 加藤高明殿

紐育州労働法第十四条ガ公共事業ニ外国人ヲ使用スル 判決ヲ下シタル ノ結果紐育州控訴院ハ右第十四条ガ憲法違反ニ非サル旨 ヲ禁止セル為メ紐育市地下鉄道新設工事ニ支障ヲ生シ訴訟 趣ハ曩ニ電報及公信ヲ以テ屢次及報告置候 コト

許料ヲ支払ハザルベカラズ然ルニ近来日本人ニシテ銃猟ヲ 通過シタルガ日本人会ヨリ当市撰出下院 議 員「ガイ」(同 業別等ハ曽テ見当ラズ候尚本年州会ニ於テ銃器隠匿ヲ防グ 最終ノ目的ハ十五弗ノ免許料ヲ励行シ「ゲーム・ワーデン」 為メ外人家宅捜索ヲ許ス法案上院ヲ通過シ下院委員会ヲモ 違反センメザルノ必要アルモ如斯軽微ノ犯罪ノ為メ家宅捜 ナス者少ナカラズ彼等ハ何カ誤解ノ結果州官憲ヨリ銃器携 ノ願出人為人ヲ証明スル書類ヲ州官憲ニ提出シ十五弗ノ免 セザル外人ニシテ銃器ヲ携帯セントスルモノハ当該国領事 タル結果遂ニ院議ニ附セズシテ葬ラレタリ今回同案提出ノ ヨリ外人土地問題ニ関シ運動員トシテ「オリンピヤ」ニ派 生議員ハ全体ノ一割以内ニシテ就中独逸国出生者ハー名若 収入ヲ増加スルニ在リ誤解ハ誤解トシテ之ヲ解キ州法ニ ノ免許ヲ有セザル者アルニ依リ隠匿ヲ防グ為メ家宅搜索 来ヲ察スルニ千九百十一年ノ議会ニテ帰化ノ意思ヲ声明 ジタル者ナルガ本年ハ議員ニ撰出セラレタリ)ニ注意シ ハ十数年前当州下院議長タリシ経験アリ一昨年日本人会 ハ皆無ナリシカト新聞ノ報道ニ依り記憶致居候上院ノ職 warden ニ許サントシタルモノナルガ該法案ノ

処右判決ニョリ地下鉄道工事其他公共事業ニ関係アル人士ハー大恐慌ヲ感シ該法律ヲ存置スルニ於テハ地下鉄道工事ハー大恐慌ヲ感シ該法律ヲ存置スルニ於テハ地下鉄道工事ハー大恐慌ヲ感シ該法律ヲ存置スルニ於テハ地下鉄道工事大ナリトシ根本的ニ問題ヲ一掃スル為メ前記第十四条ヲ全然删除シ去ラントスル運動ヲ開始シ遂ニ紐育州知事 Whit-manヲ動カシ同知事ノ議会ニ対スル緊急教書ニ依リ急劇ノ間ニ該刪除案ヲ通過セントセシガ議会ハ単ナル删除案ヲ改メテ修正案ト為シ前記第十四条ヲ修正シテ公共事業ニ労働オヲ使用ン難キ(Not available トハ体格ノ関係上使用シ難キ場合賃銀ノ関係上使用シ難キ場合等ヲモ包含シ請負人ニ取リ労働者選択ノ上ニ相当ニ広キ余地ヲ与フルモノナリトノ説ヲ為ス者有ノ上ニ相当ニ広キ余地ヲ与フルモノナリトノ説ヲ為ス者有之候

本信送付先 在米大使 敬具右御参考迄マテ別紙新法律文相添及報告候 敬具

#### (附屬書)

ル法律
ル法律
ル法律

be given to citizens over aliens. Aliens may be employed when citizens are not available.

shall furnish a list of the names and addresses of all the demand of the commissioner of labor a contractor such new contractors shall likewise be filed. Upon letting of new contracts the names and addresses of ing contracts with said cities of the state. labor the names and addresses of all contractors holdvide for the expenditure of public money on public having the power to enter into contracts which proor employees of cities of the first class of the state, the contract shall be void. if the provisions of this section are not complied with, works a provision shall be inserted, to the effect that, forming work for any city of the first class shall keep subcontractors in his employ. Each works, shall file in the office of the commissioner of of the court where such naturalization was granted uralization, the date of naturalization and the name of the United States, whether they are naturalized or native born citizens a list of his employees, in which it shall be set forth In each contract for the construction of public together with, in case of nat-All boards, officers, agents contractor Upon the per-

# GENERAL—ALL COUNTIES.

(Six folios.)

LAWS OF NEW YORK—By Authority.
Chap. 51.

AN ACT to amend section fourteen of the labor law, relating to preference in employment of persons upon public works, and authorizing the validation and modification of contracts for public improvements affected by said section.

Became a law March 11, 1915, with the approval of the Governor. Passed, three-fifths being present.

The People of the State of New York, represented in Senale and Assembly, do enact as follows:

Section 1. Section fourteen of chapter thirty-six of the laws of nineteen hundred and nine, entitled "An act relating to labor, constituting chapter thirty-one of the consolidated laws," is hereby amended to read as follows:

§14. Preference in employment of persons upon public works. In the construction of public works by the state or a municipality, or by persons contracting with the state or such municipality, preference shall

Such lists and records shall be open to the inspection of the commissioner of labor. A violation of this section shall constitute a misdemeanor and shall be punishable by a fine of not less than fifty dollars nor more than five hundred dollars, or by imprisonment for not less than thirty nor more than ninety days, or by both such fine and imprisonment.

office including the sureties for such parties, other than the cipality, which contract is affected by the provisions into any contract in behalf of the state or a munishall have the same force and effect as though origias hereby amended. Thereupon the said contract so as to conform to the provisions of section fourteen after the passage of this act, modify such contract state or of said section fourteen, shall, if the parties thereto, said contract. any existing right arising under other provisions of under the authority thereof, shall operate to affect ing in this act, nor any waiver made or act done nally lawfully made as amended; provided that noth-§2. Any board, officer, or agent who has entered or authority of any board, a municipality, consent, within thirty days This act applies to the successor in officer, or agent,

making such a contract.

STATE OF NEW YORK, This act shall take effect immediately ss:

Office of the Secretary of State.

law on file in this office, and do hereby certify that the same is a correct transcript therefrom and of the whole of said original law. I have compared the preceding with the original

FRANCIS M. HUGO

Secretary of State

加藤外務大臣宛在桑港沼野総領事代理ヨリ

七

Ñ

四月二日

知事ノ事績ヲ賞揚セル「カリフォルニア・ア 加州ノ排日立法問題ニ関スル「ジョンソン」

ウトルック」社説報告ノ件

公第一〇二号 附属書 右社説摘訳

(四月二十二日接受)

大正四年四月二日

在桑港

総領事代理 沼 野 郎 印

ソン」ハ今期州會ニ際シ斷乎タル態度ヲ以テ一切ノ排日案 ヲ見ス然リト雖モ若シ假ニ其必要アリトセバ知事「ジョン ンソン」其他何レノ人々ニ依リテモ之ヲ贖フヘキ必要アル ノ名聲ヲ贖フベキヲ望ムカ如シト加州ノ名聲ハ知事「ジョ ナリ米国民ハ此ノ點ニ關シ知事「ジョンソン」ニ對シ加州

ノ企畫ヲ鎭靜シ以テ其必要ヲ充シタリ換言スレバ彼ハ二年

加藤高明殿

ヤノ重大ナル問題アリ而シテ米国ニ於テ條約ハ最高ノ法律 (附屬書) 右ハ知事派ノ加州外国人土地法ニ対スル意嚮態度ヲ窮フニ 人ニ關シ企圖セラレタル立法ガ日米條約ニ抵觸セサルヤ否 紐育「アウトルック」誌ハ知事 三月六日号ニ「加州ハ正当ナリ」ト題スル社説ヲ掲ケ居リ Rowell 主幹ノ週刊雜誌「カリフォルニア・アウト スルノ社説中評論シテ曰ク加州ニハ其ノ州内ニ於ケル日本 条御查閱相成度候 足ルモノアリト被存候ニ付右摘訳相添へ別紙ノ通及送付候 加州へ正當ナリ(三月六日 (アウトルック ) 「カリフォル 社説原文ヲ省略ス ニア、 アウト ル 「ジョンソン」治績ヲ賞揚 ック」社説摘訳 ・ルック」

適度ノ權利行使ニ止マラシムル爲メ其ノ決意及勇氣前加州ノ權利遂行ヲ制御シタルト同様ニ今期亦加州 ノ決意及勇氣ヲ示 //ヲシテ

條約上其ノ享有スル權利ヲ附與シタルモノナレバナリ此ノ 策ニ反對シタル中央政府モ既ニ其ノ加州 テ既成ノ立法ナリ而シテ其ノ日米條約ニ抵觸セサルノミナ 存スルモノナルコトヲ承引シタリ ト爲ルハ政策上ノ點ニ在リ而シテ此點ニ關シ最初加 亦同法カ條約規定ニ違反セサルコトヲ承引セリ唯妓ニ問題 ラズ寧ロ該條約ヲ明確ニシ明文ヲ以テ加州ノ在留日本人ニ シ夫レ條約違反云々ニ關シテハ其支持ス可カラザル議論タ ハ其ノ擁護者トシテ非凡ノ才能ヲ發揮シタリト謂フ可シ若故ニ加州ノ勇氣自制ニ對スル名聲ハ安全ニ維持セラレ知事 『三關シテ何等重大ナル問題ナキノミナラズ日本政府自身 ヤ明ナリ何トナレバ第一ニ此ノ立法ハ單ニ企圖ニ非スシ ノ専屬管轄權 州ノ政 内 =

明セラレタ 、カ其權利ヲ行使スルニ當リ謹愼自制ヲ存スル ・受ク ルニ値スル リ故ニ此ノ點ニ關スル知事「ジョ ルック」誌カ其ノ事績ニ付テ呈シタ モノ ナリ 云 ンソン」ノ事 態度ハ表 ル讃辞 ヲ

> 七九 四月六日 加藤外務大臣宛(電報)在紐育中村総領事ヨリ

渋沢男ノ日米問題解決ノ為ノ渡米ハ時宜ニ

セザル旨上申ノ件

第四二号

適当ナル 題解決ニ資スル為近々渡米ニ決シタリトアリ果シテ事実ナ 思考ス為念御参考迄申進ス ノ渡米モ左程効果アルヘシトモ思ハレス従テ右ハ寧ロ暫ク ラハ目下米国人一般戦乱ニ気ヲ奪ハレ居ル際ナルニ付折角 太平洋沿岸邦字新聞掲載東京電報ニ依レハ渋沢男ハ 時機ノ至ルヲ待テ実行セラル ル方得策ナル 日米問 ヘシト

八〇 四月七日 加藤外務大臣宛(電報)在シカゴ来栖領事ヨリ

対運動ニ付報告ノ件 「ルイジアナ」州ニ日本人村ノ設置計画及

第一○号

シメ 共同シ「ルイジアナ」州ニ加州在住日本人ノ多数ヲ居住セ Meyer ナル者加州 当地新聞所報ニ依レハ「ニュ Japanese Colony T ヲ送リ野菜耕作ニ従事セシ ーサンジェルス」附近ノ日本人ト オルレアンス」市 ムル計 John

州民一部ノ反対ヲ惹起シ同市 Board of Trade 及各種ノ 画ヲ立テ先発者ハ既ニ「ニュ 誉領事ニ問合セ中大使へ済 |八近々夫々同問題ニ関シ討議スル由尚ホ詳細ノ事情 [ナル処「ニューオルレアンス」新聞ニ依レハ右計画ハ同 ーオルレアンス」ニ到着セ ハ 名 団 ル

日問題ノ日本人

(コジョン・マイ ) 排日運動ノ發端

ヤー

」ノ計畫ト抱負

運動ノ經過

(第一報)

ルイジアナ州ニ於ケル排日

八 四月八日 加藤外務大臣宛在シカゴ来栖領事ヨ

「ルイジアナ」州ニ於ケル排日運動 ノ経過報

**| 知排日派ノ頭目及其論據** 

一排日運動ノ發端

四ルイジアナ州公共團體

公第一二号 告書送付ノ件

(五月五日接受)

往電第一○號ルイジアナ州ニ於ケル排日運動ニ關

スル

大正四年四月八日

在市俄古

素ヨリ窺知シ難シト雖モ目下ノ所他ニ據ルベキノ材料ナキ 竝ニ「ニューオリアンス」新聞ノ報道ノ眞偽ノ程度如何ハ

ヲ以テ不取敢此等ノ所報ヲ綜合シ該排日運動ノ經過ヲ觀察

領事 印

スルニ

外務大臣男爵 加藤高明殿

往電第一○号「ルイジアナ」州ニ於ケル排日運動ニ関スル 一報別紙ノ通爰及送付候条御査閲相成度候

本件通報先

沼野総領事代理

珍田大使

起シ加州方面ヨリ多數日本人農夫ヲ招致シ使用セムトスル ジアナ」州ノ荒蕪地開拓、蔬菜栽培ヲ目的トスルー會社ヲ

ナル者加州「ロスアンゼルス」在住日米人ト共同シ「ルイ

「ニューオリアンス」「ジォン・マイヤー」 John Meyer

計畫ヲ立テ此等農夫ノ先發隊數名既ニ加州ヨリ「ニュー

居り不日就働セシムル筈ナリト謂フ ノ南方二十哩ノ地ニアル ス」ヲ南方ニ距ル五十哩ノ Nairn ニ、 開墜ニ從事セシムル計畫ニテ男四名ハ「ニュー Boothville ノ兩地ニ分宿セシメ 又男四名ハ Nairn オリアン

ス・ピケーユウーン」紙上其抱負ヲ述ベテ曰ク 右ニ就キ「マイヤー」ハ「ニューォリアンス」  $\neg$ タイ ム

開發ニシテ「ル」州ハ其際ニハ最早曩日ノ如ク蔬菜及果 本人農夫ヲ招致シ、事業ヲ擴張シ世界第一ノ農場ヲ作ラ "Little Japanese Colony" ハ未ダ試験中ニ過ギザルモ 農夫トシテ日本人ニ優ルモノナク、農耕地トシテ米國内 物ノ爲メ數百萬弗ヲ外ニ向テ費スノ要ナク、 ム、云々ト述べ、「ル」州ガ ジテ疑ハズ若シ豫期ノ成績ヲ擧グルヲ得バ更ニ多數ノ日 加州ニ於ケル余ノ共同者竝ニ日本人農夫等孰レモ斯ク信 ナル収益ヲ斎スコト明カナリ余ノ加州ヨリ移サムトス ヅルモノナク日本人農夫ト「ル」州トノ結合ハ最モ有利 人農夫ノ來住 「ルイジアナ」州(以下單ニ「ル」州ト記ス)ノ右ニ出 ノ栽培ニ最モヨク適合セルコトヲ語リ日 ハ荒蕪地ヲ變ジテ良耕地ニ化ス所謂富源ノ Celery, Cauliflower, 自給自ラ富 ル

同州ノ重要問題トナルニ至ルガ各公共團體共目下審議中 アンス」ニ到着シタル旨ヲ發表スルヤ同州民一部 ごノ反對 ・トナ

ニシテ前途混沌ノ狀態ニアリ ヲ招キ續イテ同州各種公共團體ガ本件ヲ討議スルコト

菜ノ栽培ヲ目的トスルコトトシ、先ツ試驗ノ爲メ前記ノ如 買ヲ業トスルモノナルガ敷ヵ月以前加州「ロスアンゼルス」 市ニ赴キ同市附近日本人農場ヲ視察シタル結果日本人農夫 シテ拾五萬弗ヲ醵出スルコト、荒蕪地五千英町ノ開拓、蔬 ハ着々計畫ヲ進メ、會社ハ日米人共同ノ組織トシ、資本ト ノ大部分ヲ引受クベキコトヲ承諾シタルヨリ「マイヤー」 ルガ適々加州富豪某之ヲ賛成シ愈々會社設立ノ晄ニハ株式 ヲ加州ヨリ「ルイジアナ」州ニ招致シ荒蕪地ノ開拓、蔬菜 ンス」市「ポイドラス」街(Poydras Street)ニ居住シ仲 本件ノ發頭人タル「ジォン 日本人農夫先發隊男八名、女五名ヲ招致シタ 栽培ニ當ラシムルコトノ頗ル有望ナリトノ見込ヲ立テタ ☆「ジォン・マイヤー」ノ計畫ト抱負 「マイヤー」 Grand Isle Railroad 沿線ノ荒蕪地二百五十英町 ハ此等農夫ヲシテ 同 州 Nairn, Boothvile ・マイヤー」ハ「ニューオリア ル次第ニシ

シトハ思モ寄ラズ云々ト結ビタリコソスベケレ、之レヲ排斥セムトスルガ如キ運動起ルベヨソスベケレ、之レヲ排斥セムトスルガ如キ運動起ルベ

|日間題ノ日本人

既ニ「ニューオリアンス」ニ到着セリト稱セラル 係ノ如何一切不明ニ付四月六日在桑港沼野總領事代理宛電 Times Picayune 紙ノ所報ニ據レバ今ヨリ約一ヵ 月以 前 息ヲ捜グルノ手懸スヲ之ヲ得ルニ由ナキ次第ナルガ「ニュ 十三名(男八名、女五名)ニ關シテハ前住地「ロスアンゼ 報ヲ以テ右事項取調方依頼シ置キタリ ノ農耕地トシテ太平洋沿岸地方ニ優ルコト及明年末迄ニ加 スアンゼルス」ヨリ「ニューオリアンス」ニ來リ「ル」州 「フランク・西村」Frank Nishimura ト稱スルモノ「ロ スーノ ナラムト語レル旨ノ記載アリ西村ノ人物、 「在住日本人農夫ノ「ル」州ニ移住スルモノ數百名ニ達ス オリアンス」市「タイムス・ピケー ユウ Address 及氏名等何等記載ナク從ツテ其後ノ消 性行、 I ン」 The ル日 本 Ĺ

四「ル」州各種公共團體ノ態度

·ル」州各種公共團體ノ中最先ニ本問題ヲ促ヘテ討議ノ題

月三日ノ同紙上ニ「「ル」州

ニ於ケル黄禍」ト題スル長文

目トセルモノハ New Orleans Real Estate Board ニシテ移民及土地委員ノ手ニ於テ現ニ審査中ナルガ「ニューオリアンス」市知名實業家ノ多數ハ本問題ヲ題目トシタルコリアンス」市知名實業家ノ多數ハ本問題ヲ題目トシタルコリアンス」市知名實業家ノ多數ハ本問題ヲ題目トシタルコリアンス」市知名實業家ノ多數ハ本問題ヲ題目トシタルコリアンス」市知名實業家ノ多數ハ本問題ヲ題目トシタルコリアンス」市知名實業家ノ多數ハ本問題ヲ題目トシタルコリアンス」市知名實業家ノ多數ハ本問題ヲ題は、対策を表

例理事會ニ於テ本問題ヲ討議スル筈ナリト謂フ次ニ The Board of Trade ニ於テモ來ル四月十四日ノ定

国排日派ノ頭目及其論據

ニハ人物、 埋立事業ニ關係アリ、 ツツアルモノノ如シ、 E. L. Chappuis ハ 新聞ヲ機關トシ、記事・論説ニ排日思想ノ鼓吹傳播ニカメ テ「ニューオリアンス」市「タイムス・ピケー 排日運動ノ頭目ト推セラルルモノハ E. L. 人ノ「ル」州移住」ト題スル論説ヲ掲ゲ又 Chappuis ハ 「タイムスピケーユウーン」ハ四月一日ノ社説欄ニ「日本 性行、 社會上ノ勢力等毫モ判明シ居ラザルガ 白人勞働者ニ深キ同情ヲ有ストノ外 「ル」州 Chappuis ユ ウ ノ土地 シ = 四 シ

衆国ヲ通ジ周知ノ事實ナリ云々ト迄極論シ居レリ、 口加州ニ於ケル一般日本人ノ道徳心ノ劣等ナルコトハ合 ルヤ否ヲ質問スルコソ時機ニ適シタル議論ノ一タルベシ 子女等ガ喜ンデ日本人及其家族等ト 策ヲ取ラムトスルヤ否ヲ熟慮セムコトヲ望ムデ止マズ云 キ經驗ヲ再ビ吾人ヲシテ繰返サシ トヲ切言シ居レリ テ兩者共ニ其所論人種的偏見ニ基ケルモノニ 々、E.L. Chappuis ハ更ニ|| 亞米利加市民ニ對シ其妻及 メム 同化スルコトヲ欲ス トス ル危險ナル 非ラザ ルコ 圃 シ

ルガ如シ 「運動」トシテ實際上ノ成否ハ爰數週間ノ内ニ決定セラル之ラ要スルニ本排日運動ハ今僅カニ萠芽シタル 迄 ニ シテ

(第一報了)

八二 四月十日 在シカゴ来栖領事宛(電報)

在桑港総領事代理へ通報方訓令ノ件「ルイジアナ」州ニ日本人農夫招致計画ニ付

第四号

貴電第一○号及ヒ本件今後ノ状況沼野領事へ通報アレ

撒布シタリト謂フ、兩者ノ所論ハ同工異曲、論據ニ至ツテ 殆ンド径庭ヲ見ズ、 タリ、 農夫勞働者等ハ喜ンデ來住スベシ、然ルニ今若シ多教日 白人ヲ以テ占據セラルルニ至ラムカ四隣各州居住ノ白人 ナルガ故ニ若シ「ル」州 業ハ白人ノ努力ニヨリ今日ノ如キ目醒マシキ發達ヲ遂ゲ 南北戦争ノ終期「ル」州ノ人口ハ黑人大部分ヲ占メ居リ 論文ヲ發表シ又タ之ヲ印刷ニ附シ「ル」州ノ各地ニ之ヲ 「ル」州ガ今遽カニ之ヲ捨テ加州ガ甞メタ 實上「ル」州ニ有益ナリシコトヲ證明シテ餘アリ吾人ガ 二十年間ニ互リ始終執リ來レル白人移住獎勵ノ政策ハ事 ズ嚮キニ加州ニ於テ發生シ日米兩国政府間ノ難問題ト 本人ノ來住ヲ許サムカ、此等白人農夫勞働者等ハ最早來 今ヤ黑白人口ノ比例ハ其地位ヲ顛倒シ「ル」州各種ノ産 ヲ欲セザルベク換言スレバ來住ヲ阻止スベキ而已ナラ ルモ其後白人農夫勞働者ノ移住ヲ歡迎獎勵シタル結果 人種的紛爭ヲ激發セシムルニ至ラム「ル」 而シテ「ル」州ハ氣候適順、地味肥沃、地價低廉 米国ニ於ケル排日問題雑件 今其要領ヲ摘記スレバ左ノ如シ ノ各部ノ大部分ガ有色人ニ非ズ  $\stackrel{\wedge}{=}$ ル ト同ジ 州ガ過去 キ苦 ナ

三移住シタルハ事実ナル旨在桑港総

領事代理ヨリ返電アリタル処四月十八日接到在「ニュー

オ

#### 米国ニ於ケル排日問題雑件 스 八四 Л 五 八六

### 八三 四月十三日 加藤外務大臣宛(電報)在桑港沼野総領事代理ョリ

∄

リ「ルイジアナ」州

### 渋沢男ノ 渡米説ニ付問合ノ件

第八七号

当地邦字新聞所報ニ拠レハ渋沢男ハ日米親交ノ目的ヲ以テ 渡米セラル 電ヲ請フ ルヤノ趣右事実ナリヤ出発日取滞在予定等御回

喜フカ如ク見受ケラルルノミナラス州会へ向フ一年半開会

ル農業家ノ移住ニ依リ土地ノ十分ニ利用セラルルナラント

ノ土地家屋売買業者ノ首唱ニ係リ同州民一般ハ却テ有為ナ

レアンス」名誉領事ヨリノ報道ニ依レハ排日運動ハニ三

八四 四月十四 日 在加 桑港沿路 野総領事代理宛(電報)||大臣ヨリ

## 渋沢男ノ渡米計画未定ノ件

未定ニ属スト承知シ居レ 渋沢男ハ目下旅行中ナルガ留守宅ニテ 1) ハ同男渡米ノ計画 ゝ

右中村総領事へ通報アレ

八五 四月十九日

加藤外務大臣宛(電報)在シカゴ来栖領事ヨリ

「ルイジアナ」州へ日本人農夫招致計画ニ関

シ名誉領事ヨリ報告ノ件

往電第一〇号ニ関シ十数人ノ日本人農夫ノ「ロ サ ンセル ス

> 在米大使在桑港総領事代理済 アリ右為念

ニ提出セラルル模様ナク州会ハ十日以内ニ閉会セラル 情報ニ依レハ同州ノ排日案ハ今尚委員会ノ手ニ在リ本会議 ヲ得策ニアラスト信ス尚又「ミシガン」州ヨリノ信スヘキ 本官ノ意見トシテハ此際邦人ノ多数ガ集団的移住ヲ試ムル セサルヲ以テ該運動ハ何等憂慮ヲ要セサルヘシトアリ但シ

桑港「ブレチン」紙ノ 加藤外務大臣宛在桑港沼野総領事代理コ 「人種的優越へノ道」

八 六

四月二十一日

IJ

ト題スル社説ニ付報告ノ件

附属書 右社説訳文

公第一二一号

(五月十二日接受)

可ナリ」 一些事ニテモ可ナリ ル ニ於テモ優者タルノ道ハーニシテ足ラス他種族ヲ壓倒シ獨 感謝セザルヲ得ズ個人間ニ於ケルカ如ク種族間若ハ 神ニ感謝スルモノナリ然リ寧ロ余ハ他種族ヲ犠牲ニシテ嗧 一事ヲ修得スルニ依テ優者タルコトヲ得ベク其事タルヤ 抽ンデ以テ優者タルモ一法ナリ然レトモ世界何人ニモ優 繁榮ヲ遂ゲンコトヲ願望シ能ハザル人民ニ屬スル 例へバ綿花ノ耕作可ナリ 書ヲ著 ハス亦 国民間 コト ヲ

間ニハ雲泥ノ差アリ「マハン」大佐ハ人種上ノ優越ハ武力 ニ於テ尤モ望マシキ事ナリトセ ハ早晩東洋人ト對抗セサルヘカラサ ニ依リテ獲ラルベキモノナリト信ジ歐洲諸国民間爭闘スル 「ワシントン」ノ主義ト故「マハン」大佐一派ノ主義ト ル戦闘力ヲ保持スル上

カ如シ 越ハ毫モ歐洲文明ガ掃蕩シ去ラルルヲ救フニ足ラスト爲ス 「マハン」大佐ノ意見ニ依レバ綿花ノ耕作及著述ニ依ル優

論難ニ堪フルニ足ル 又極メテ穏當ニ言ヒ現ハサレ居ルモ而モ 然リト雖 Ŧ つブ 1 カ Ŧ 1 ٠ ワ ナリ今一歩ヲ譲リテ東西兩洋ノ分 シントン」 ノ信念ハ ママ ハン」大佐ノ 獨斷ヲ避 ケ

大正四年四月二十一日

総領事代理 沼 安太 郎 印

加藤高明殿

当地夕刊新聞「ブレチン」ハ労働派ノ一機関紙ニシテ労働 者社会ニ広ク愛読セラルルモノニ有之候処本月 十 日 号 ニ ノ将来ニ戦争ヲ避ケ平和ヲ希望スル趣旨ニ出デタルモノト 「人種的優越へノ道」ト題スル社説ヲ掲ヶ居リ右ハ日米間

被認玆ニ及送付候条御查閱 相成度候 敬具

社説原文ヲ省略セリ

Racial Superiority 訳文 桑港四月十日ノ「ブレチン」紙社説 The Road

人種的優越ヘノ道

ル ヲ費シ血ヲ流シ財産ヲ破壤シ慘害ヲ惹起セルコトニ想到ス ハ其最近ノ論説ニ於テ論ジテ曰ク「今次ノ戰爭力莫大ノ金 ノ「ワシントン」ノ名前ニ恥ヂザル人物ナリ「ワシントン」 ワシントン」Boouker T. Washington ナル者アリ彼ハ其 合衆國ニ於テ尤モ重要ナル人々ノ一人黑人「ブーカ・テ トキ余ハ幸ニシテ優等種族ノ一員ニ非ザルコトヲ幾度カ 八六 1

米国ニ於ケル排日問題雑件

遂行ニ全力ヲ傾注スル種族ノ手ニ歸ス可シ 遂行ニ全力ヲ傾注スル種族ノ手ニ歸ス可シ 遂行ニ全力ヲ傾注スル種族ノ手ニ歸ス可シ が行ニ全力ヲ傾注スル種族ノチュニ歸スル・関ニ過ギズ畢 が行ニ全力ヲ與フルモノニアラズ戦争ハ怠惰、軟弱及 の人ニ生存ノカヲ與フルモノニアラズ戦争ハ怠惰、軟弱及 の人ニ生存ノカヲ與フルモノニアラズ戦争ハ怠惰、軟弱及 の人ニ生存ノカヲ與フルモノニアラズ戦争ハ怠惰、軟弱及 の人ニ生存ノカヲ與フルモノニアラズ戦争ハ怠惰、軟弱及 の人ニ生存ノカヲ與フルモノニアラズ戦争ハ怠惰、軟弱及 の人ニ生存ノカヲ與フルモノニアラズ戦争ハ怠惰、軟弱及 の人ニ生存ノカヲ領ニスル種族ノチニ歸ス可シ

八七 四月二十三日 加藤外務大臣宛

新聞ニ掲載ノ件在桑港露国領事館員ト称スル者ノ排日的談話

政公第九〇号

(五月十八日接受)

大正四年四月二十三日

在シャトル

領事 高 橋 清 一(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

四月五日当地ピーアイ紙ニ東洋方面ヨリ静岡丸ニテ来着シ

張中同様ノ記事同地新聞紙ニ顕ハレタルヲ以テ同地露国領 事館ニ赴任ノ途次ト称シ語リタル処ナリトテ日本ガ青嶋ヲ 中ニテ承知セザリシ云々ト弁明致置候右報告ニ及候 テ正誤ヲナシ置キタリ「シャトル」新聞ノ記事ハ自分留守 事館ヨリ直チニ日本総領事館へ弁明ヲナシ且ツ英字新聞ニ リテ斯カル無稽ノ言ヲ弄シタルモノナラン実ハ自分桑港出 ズ目下同人ハ失職ノ境遇ニアルヲ以テ何カ為メニスル処ア モ毫モ露国領事館若クハ露国政府ト関係ヲ有スルモノニ非 地及上海ノ「スタンダード」石油会社書記タリシコトアル ルニ同総領事ハ 州シタル当地露国総領事ニツキ館員ヲ以テ聞キ糺サシメタ 立終焉ノ端緒ト信ゼラル云々ノ記事ヲ掲ゲ居候ニ付右記事 陥落セシコトハ東洋在留白人ノ悦バザル処ニシテ又支那独 タル Paul Waldemor Alexandroff ナル者今回桑港露国領 ノ正否確メノ為メ兼テ桑港方面ニ出張中ニシテ両三日前帰 添附ノ新聞切抜ヲ省略ス Paul W. Alexandroff ナルモノハ曽テ当

八八 四月二十九日 加藤外務大臣宛

在桑港露国領事館員ト称スル者ノ排日的談話

新聞掲載ニ関スル件

大正四年四月二十九日

公第一二七号

在桑港

総領事代理 沼野安太郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

写了通及回答置候御参考迄ニ此段及報告候 敬具 写了通及回答置候御参考迄ニ此段及報告候 敬具 写了通及回答置候御参考迄ニ此段及報告候 敬具 写了通及回答置候御参考迄ニ此段及報告供 敬具 写了通及回答置候御参考迄ニ此段及報告供 敬具 写了通及回答置候御参考迄ニ此段及報告供 敬具 写了通及回答置候御参考迄ニ此段及報告供 敬具

註 別紙甲号及乙号ヲ省略

本信写発送先

珍田大使

高橋領

八九 四月三十日 加藤外務大臣宛(電報)

米国ニ於ケル排日問題雑件

八九

九〇

。 大正四年十一月二日

公第五四号

領事代理副領事 大山卯次郎(印)

在ロスアンゼル

ス

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

右判決文写ハ大使館ヨリ送付可相成候トハ存候ヘトモ為御リタル趣本日発行当地タイムス華府電報欄ニ記載有之候間候処同法ハ昨一日同院ニ於テ憲法違反ニ付無効ノ旨判決ア論日取ノ義ニ付客月四日付公第二十九号ヲ以テ及御報告置論日取ノ義ニ上告中ノ「アリゾナ」州八割法ニ関スル弁

「ミシガン」州議会会期終アノ件

第一三号

(五月十九日接受)

年度会期ヲ終レリト 大使済ミ新聞ニ依レハ「ミシガン」州会ハ四月二十八日千九百十五

九〇 十一月二日 石井外務大臣宛

国大審院ニ於テ無効ノ判決アリタル件「アリゾナ」州外国人雇傭制限法ニ対シ合衆

附属書 右判決ヲ報道セル新聞記事要訳

(十一月二十六日接受)

\_\_\_

註 新聞切抜ヲ省略ス 参考右切抜並ニ其要領訳文相添此段御報告申進候 敬具

#### (附属書)

華府十一月一日(十一月二日附ロスアンゼルス、タイル米國大審院判決ヲ報道スル新聞記事要譯「アリゾナ」州外国人雇傭制限法ヲ違憲トセ

ム

ス

案ト其性質相似タル所アルトノ事由ニ依ルモ 北米合衆国 向背ヲ豫定スルニ足ルトナスガ如 ス レ共法曹界多數人士ノ意嚮ニ徴スルニ「アリゾナ」法ニ對 惹クニ至リタル ル判決ヲ支持スル判決ヲ與ヘタリ蓋シ同法カ世人ノ注視ヲ 甞テ「アリゾ ル大審院 ゾナ」法ト加州法トハ全然其ノ軌ヲ一ニス (シテ抗議シタルトニハ加州ニ於ケル外人土地所有禁止法 **一大審院** ノ判定如何 ナ」州外人勞働者排斥法ヲ惡法違反ナリ 所以ノモ 八本日 ハ直チニ以テ同院ノ加州法ニ對 1 其下級裁判所即特別巡囘 ハーニハ列强數ケ國政府 シ ト云フニ非ザ ノニシテ「ア 裁 アシュ 判 スル ŀ 所 セ ガ

ノ一般投票(initiative)ニヨリテ制定セラレタル法律ニシ但シ所謂「アリゾナ」八割法ナルモノハ「アリゾナ」州民

訴訟 ア 傭主及州 其八割以下ニ下ル ŋ ノ内容 主ガ五 = 對 八同州 人以上ノ雇 ジ同法 法ノ適用ヲ免レンコトヲ求メントスルニ「ビスビー」在留一墺国人ノ給仕人カ其 コトヲ得ストノ規定ヲ有スル 人ヲ使役スル場合ニハ合衆国市 Ŧ 1 ナル 民 ガハ

州 ベキモ 判事 玉 モ 人ヲ雇用シ得ベシト云フガ如キハ取ルニ足ラズ何 至ルベシ該法辯護ノ理由ト 法ヲ以テ該外人ヲ逐斥シ得ルガ如キ奇異 百 ハ ル 法律ノ内容ヲ語ルモ テ米国市民ヲ保護ス云云ノ文字ヲ使用セリ此ノ文字 ノ外人ガ法律上均等ノ保護ヲ享有スト云フコト セシムル權限ヲ有スルモ諸州 州 ザル所ニ生存スル能ハ 外国人モ共ニ同一法ノ適用ヲ受クベシト 個人ノ自由ニ對スル保證ト ニ於テ一旦外人雇傭率制規ノ權限ヲ保有 3 コヒ ノナリト同判事更ニ曰ク該法ハ其 リ外人ヲ驅逐スル -7. 1 ス」ハ判決ヲ宣言スル ノナル ザ ニ至ルベク從テ合衆國ハ ルニョ ガコハ合衆国憲法ガ外人ニ與 シテ該法ノ下ニモ猶 抵觸ス蓋シ外人ハ就業スル能 ~ 「アリ IJ = 「アリゾナ」法ハ畢竟 當リ · ゾ ナ ー 名稱中外 ノ顕象ヲ生スル ノ意義 日 セバ無制限 7 八米国市 法ノ如キ立 ホ 合 外人ヲ入 幾許 F 关 = ナレバ . 正 沈 国 = 解 ジ外 = 釈 其 = フ = シ ス 民

**ノ正當ナル事ヲ支持スルニ充分ナラズ 雇傭率ヲ規定シ得ベシ又公共ノ安寧ヲ理由トスル事モ該法** 

ノ禁スル所ナル事ヲ理由トシ是ニ反對セリヲ目的トスル訴訟ハ州ニ對スルモノナルニヨリ合衆国憲法判事「マクレーノード」一人ノミ該法ノ施行ヲ阻止スル事

住民 法上ノ權限カ廣汎ナルニハ相違ナキモコ 康安寧風儀又福利ヲ増進スル目的ヲ以テ立法シ其立法事項 ガ 更ニ判事 ニ相當ノ理由ヲ附 、人種異国籍タル 爲 故ニ本法ハ妥當ナル = iv ŕ 期待シタ 拒ミ得ベキコトヲ意味スル 社會ノ一般業務ニ就キテ働クノ權利ハ實ニ憲法修正 ノ理由ヲ以テ普通ノ生計手段ヲモ其適法ニ居住 憲法條文ハ畢竟空文タルニ終ランノミ セバ法律上各人ニ均等保護ヲ拒ムコト 「ヒュース」ハ日 ル個人ノ自由及機會均等 ノ理由ニヨリテ就働權利ヲ拒止シ得 シテ分類スルコト モノナリト クー州ガ其管内 モノニ非ス抑々生計 稱スルトモ思フニ斯 ハ州權行使ノ一部 ノ根原 ハ州 ニア ガ人種及国籍 ナカ ナリ N Æ ラ 唯單 1 ラ得 ク立 シ IV ス タ 1 モ ル メ ル

變通自 法ニ入国シ シ ス  $\sim$ 一旦適法ニ入国セル外人ニ對シ糊口 ニ屬スルモ 否卽外国人ノ入国ヲ拒否スルコトハ全然合衆国政府 意義ヲ擴 国ノ国權ヲ除外シ且諸 且ツ又適法ノ理由 ニ基キテ外国人ニ就働生計ノ權利ヲ拒ム テ正シキ辯明 ŀ ŀ ザルコ ŀ シ ル權利アルナリト ザヲ權利アリト 利權ト一致スル場合ニ於ケル分類法タル 外国人ニ對シ差別ヲ設クルコト 雖モ ヲ要スル セバ其實際上ノ結果ハ合衆国議會制定ノ法律ニヨリ適 IJ 立法上分類ヲ爲スコト ŀ ナラシメ得ベキコ 大シ得ベキモノニ非ザル 立法部 タル ` ノナルカ働口 ナリ外人ヲ歡迎スル州ニノミ蝟集スル E ŀ 1 モノガ十分ニ入国ニ伴フ特權ヲ享受スル能 ナラズ本法所定 ナ ハ イフコト ヲ具シテ分類スルテフコト 弊害 N イフニ同シク侗シ斯 コ 州 ŀ ブ ナクンバ普通生計シ得ザ ノ利權ト ヲ忘ル ŀ ア ハ該外人ニ入国ト住居トヲ拒絶 ル ハ幾度カ吾 所ヲ認 ハ該立法ノ目的ト ノ通リ廣 ~ コトハ疑ヲ容 支吾スル程度マデ此等ノ ハ正ニ異国民タ 力 ノ途ヲ求ムル機會ヲ與 ラズ而シテ メ據テ以テ 人 ル コ ŋ ŀ ノ覆言セ 政策ヲ認 ノ意ニシテ合衆 ハ諸州 ナル 般 レス移民認 ノ職業ニ亘 玆 一致スル ヘキナリ ル ル ル (立法ヲ ニ至ル = メ得べ ヲ以テ ラ權限 ノ事實 ノ適法 が所ナ 慮

危害アリト

ノ推定ニ基キ同法ヲ制定シタリト

ノ議論ハ決シ

ヲ使役ス

ル

コト

ハ之ラ制限

(セザルニ於テハ公共安寧

=

九一 十二月一日 石井外務大臣宛

ハ米国最高法院ニ於テ違憲ニ非ズト判決セラ紐育州労働法中外国人ノ使用ヲ禁止セル条項

レタル件

(大正五年一月四日接受)

大正四年十二月一日

公第三六五号

在紐育

総領事 中 村 巍(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

公共事業ニ外国人ノ使用ヲ禁止セル紐育州労働法第一四条

九二 十二月二日 石井外務大臣宛

憲ニ非ズトセル大審院判決ニ関シ報告ノ件紐育州労働法中外国人ノ使用禁止ノ条項ハ違

公第三三八号 (大正五年一月六日接受)

在米

特命全権大使子爵 珍 田 捨 己(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

者及財務管理者トシテ其公共事務ヲ管理シ州自身又ハ州内御承知ノコト、存候而シテ該判決ノ主旨ハ州ハ州民ノ後見法ヲ違憲ニアラズト判決セル次第ハ中村総領事ノ報告ニテ法ヲ追合衆国大審院カ紐育州ノ外国人使用禁止ニ関スル労働

ニ所謂権利ノ平等トハ身体財産ノ保護及安全ノミニ関ストーリン」対「ペンシルベニア」州事件ノ判例ニ於テ米伊条約労働法第十四条ノ規定ハ市ノ権利ヲ侵サベルハ勿論何等外ー・労働法第十四条ノ規定ハ市ノ権利ヲ侵サベルハ勿論何等外ー・フン」対「ペンシルベニア」州事件ノ判例ニ於テハ「パトーリン」対「ペンシルベニア」州事件ノ判例ニ於テ米伊条約・100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100円のでは、100

本件附帯ノ刑訴ニ関スル判決文共相添へ右玆ニ供貴覧候モ附記セラレ居候間委細ハ別紙判決文ニ付キ御承知相成度云ヘル点ヲ引用シ紐育州法カ又条約違反ニアラサルコトヲ

敬具

註 添附ノ判決文ヲ省略ス

判決文各弐部添付ス